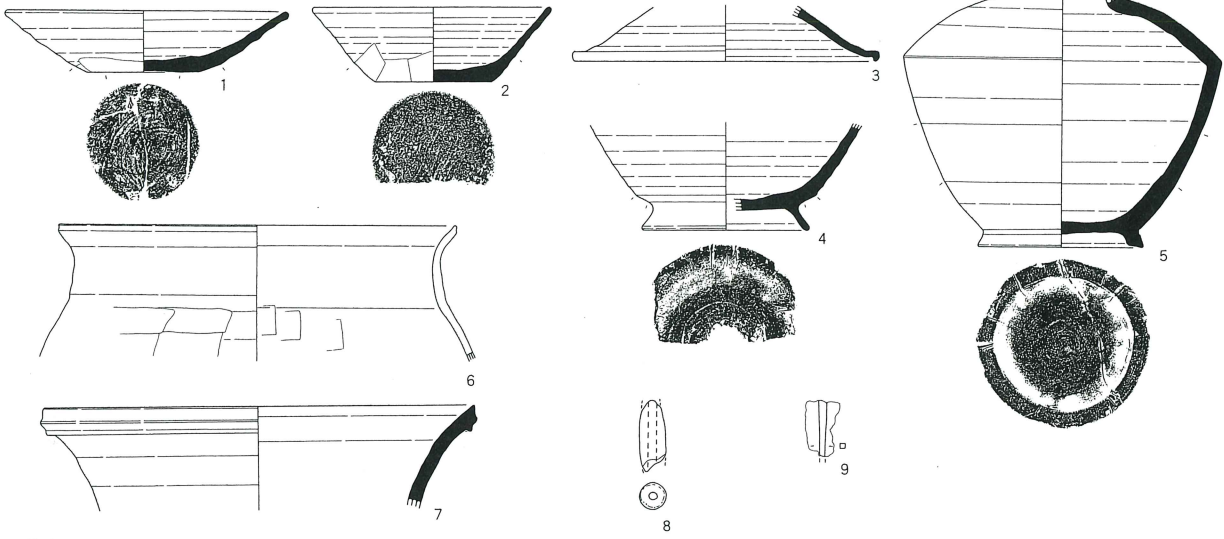
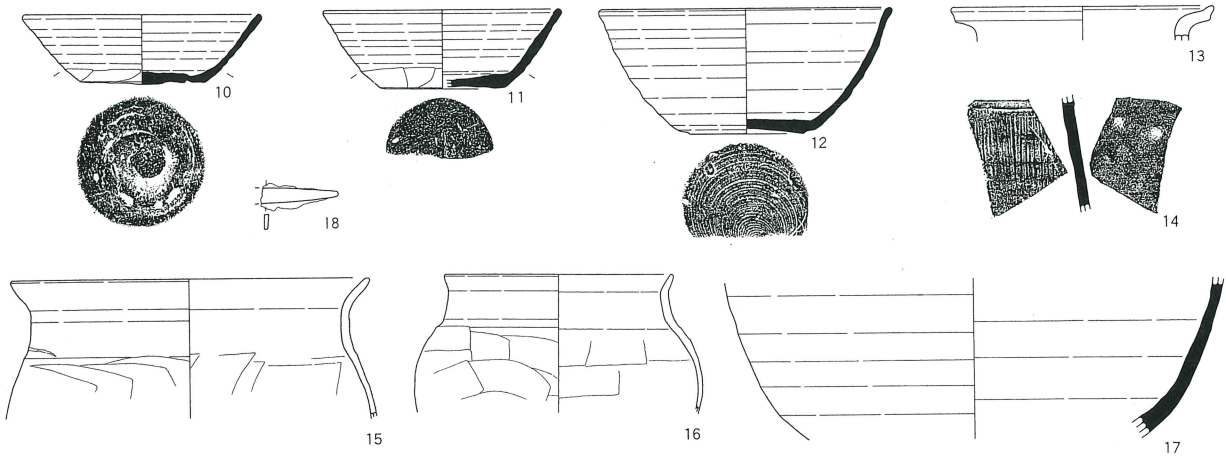


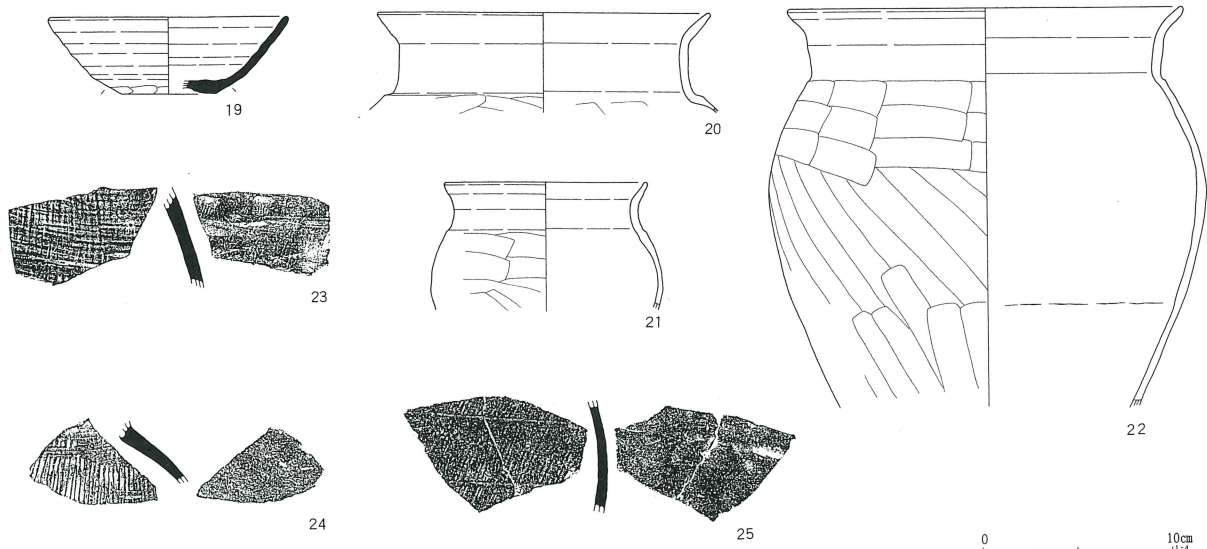
SJ36



SJ37



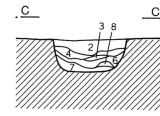
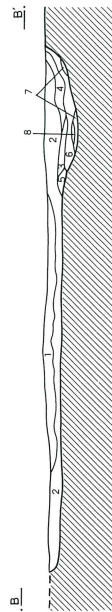
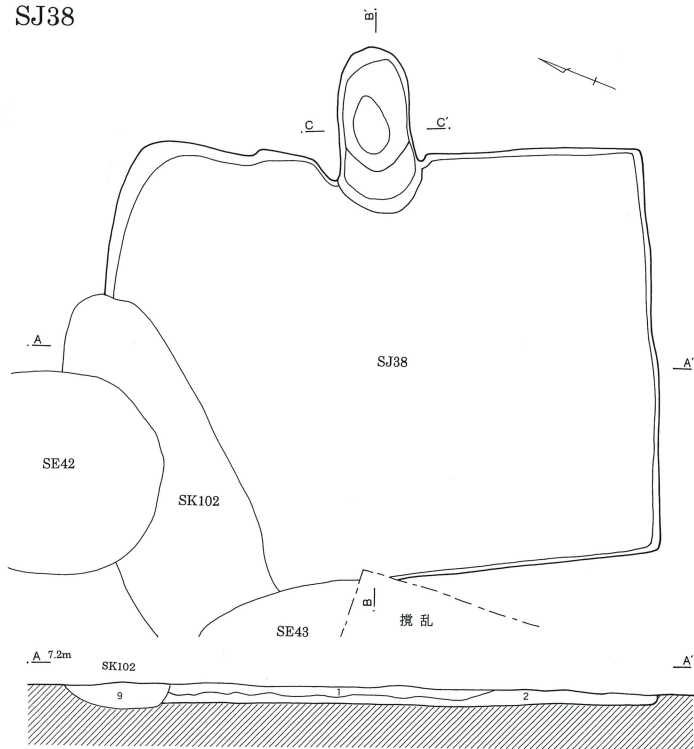
SJ38



0 10cm
1:4

第50图 第36·37·38号住居跡出土遺物

SJ38



SJ38

- 1 暗褐色土 炭化物、焼土粒子を含む
- 2 暗褐色土 灰褐色土を多量に含み、炭化物粒子を微量に含む

カマド

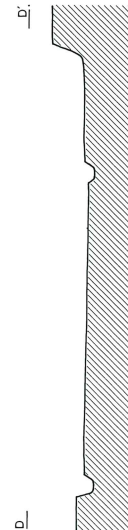
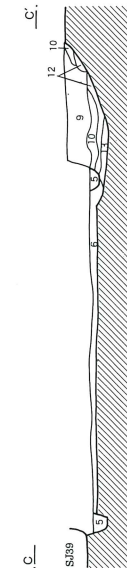
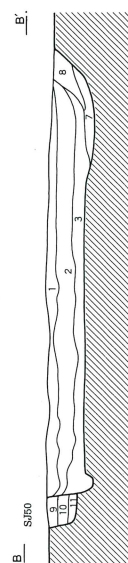
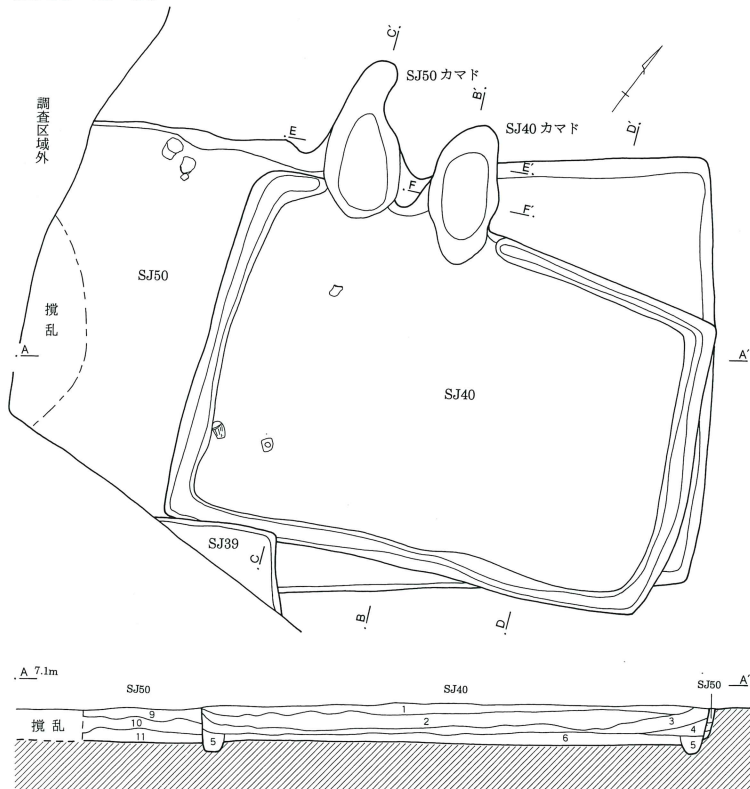
- 3 黒褐色土 炭化物層で、粘性弱く粒子粗い
- 4 赤褐色土 焼土層で、天井部崩落土
- 5 黄褐色土 固くしまった層で、細かい粒子を含み、粘性強い
- 6 暗黒色土 炭化物層で、焼土粒子を含む
- 7 黒色土 炭化物層で、粘性弱く粒子粗い
- 8 黄褐色土 粘性の強いブロック

SK102

- 9 暗褐色土 灰褐色土を多く含み、炭化物、焼土粒子を含む



SJ39・40・50



- 1 暗褐色土 炭化物、焼土混じり、粘性強く粒子粗い
- 2 明黄褐色土 粘性の大変強い粒子を含む
- 3 暗茶褐色土 粘性弱く粒子粗い
- 4 暗褐色土 粘性強く粒子細かい
- 5 暗褐色土 周溝覆土で、粘性強く粒子細かい

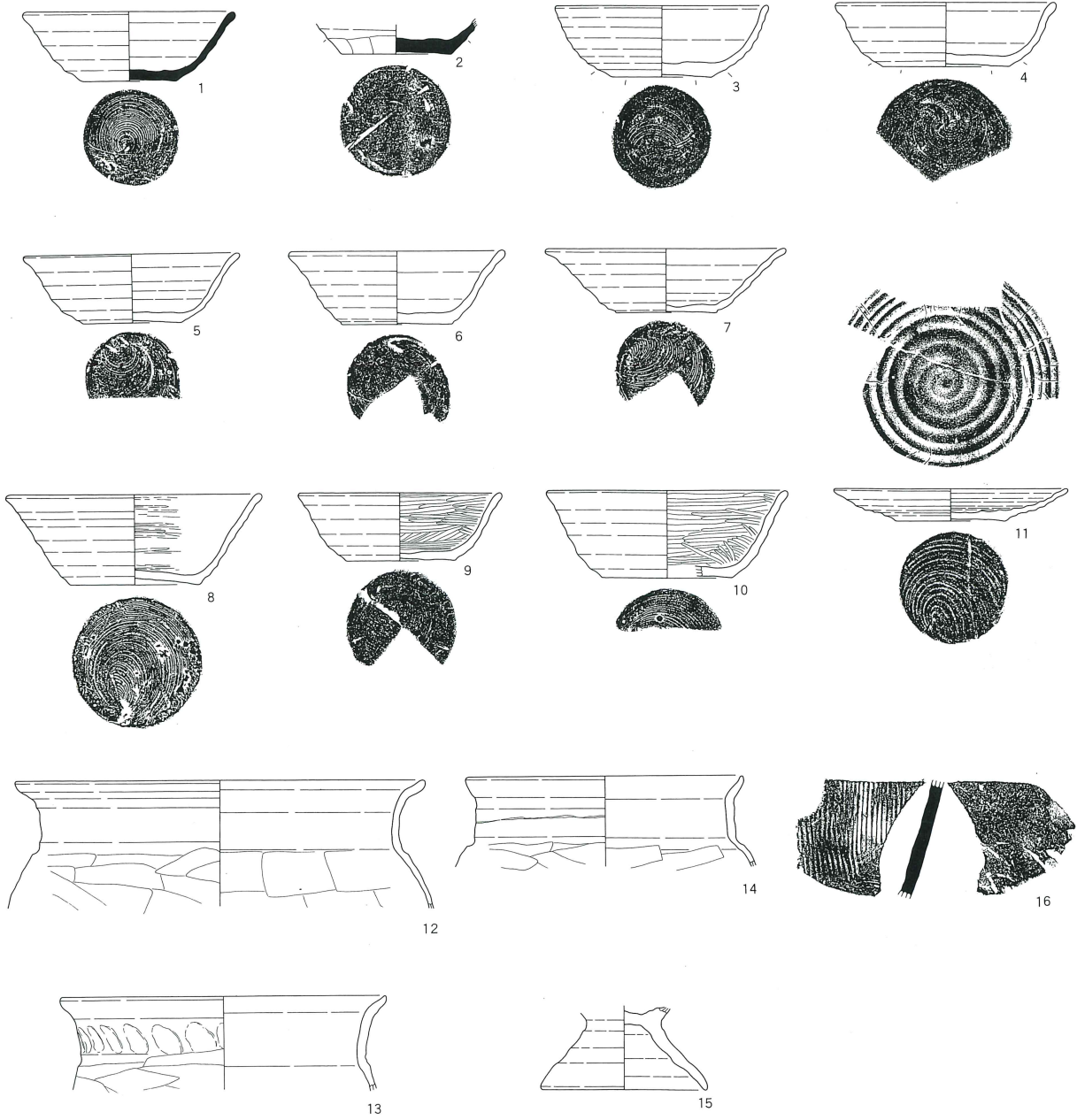
- 6 黄褐色土 貼り床
- 7 赤褐色土 焼土層で、粘性弱い
- 8 暗赤褐色土 焼土、炭化物層
- 9 暗褐色土 焼土、炭化物が混じり、粘性強く粒子細かい
- 10 暗褐色土 粒子細かく炭化物を含まない

- 11 黒褐色土 粒子が粗く炭化物を含まない
- 12 赤褐色土 焼土の崩落土
- 13 黒色土 カマド炭化物層

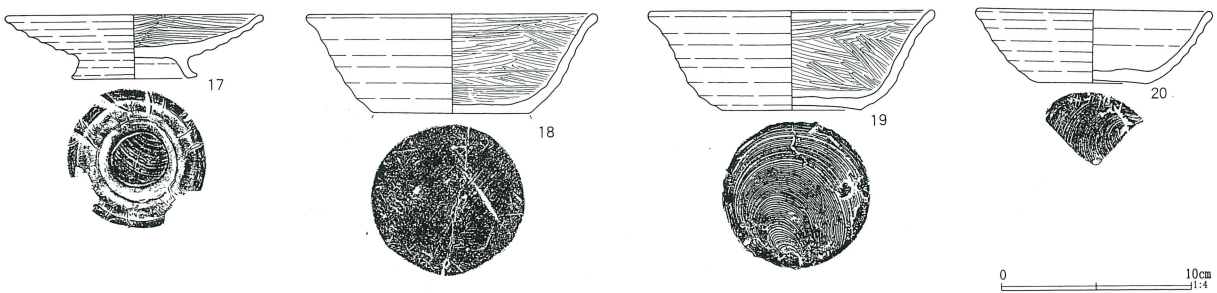


第51図 第38・39・40・50号住居跡

SJ40



SJ50



第52図 第40・50号住居跡出土遺物

第38号住居跡出土遺物観察表（第50図）

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	備考	写真図版
19	坏	(12.6)	4.1	(5.0)		普通	青灰	35	三和窯	33-5
20	甕	(17.6)	(5.3)	—	角雲	普通	褐	破片	利根川水系の土	
21	台付甕	(10.8)	(6.8)	—	角雲	不良	褐	25	利根川水系の土	
22	甕	(21.0)	(21.0)	—	角	普通	褐	30	利根川水系の土	
23	甕	—	—	—		良好	灰白	破片	下総地方	
24	甕	—	—	—	雲	普通	褐灰	破片	新治窯	
25	甗	—	—	—	雲	普通	褐灰	破片	新治窯	

第40号住居跡出土遺物観察表（第52図）

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	備考	写真図版
1	坏	(12.8)	4.3	5.6	針	普通	灰白	30	南比企窯	41-1 41-2 41-9 41-10 42-1 42-10 43-1 43-6
2	坏	—	(1.8)	6.5		普通	褐灰	90	三和窯	
3	坏	12.8	4.2	6.0	角雲	良好	褐灰	50	下総地方 SJ50と接合	
4	坏	(13.2)	3.8	(7.1)	角	普通	褐灰	30	下総地方	
5	坏	13.0	4.1	5.9	角	普通	褐灰	50	下総地方	
6	坏	13.0	4.4	6.7	角	普通	褐灰	70	下総地方	
7	坏	(14.5)	3.8	(6.0)	角	良好	明褐	30	下総地方	
8	坏	(15.0)	5.4	7.3	角	良好	褐灰	40	下総地方 内面ミガキ	
9	坏	12.2	4.1	6.5	角	普通	褐灰	90	下総地方 内黒・ミガキ	
10	坏	(14.5)	5.3	(7.8)	角	良好	褐灰	70	下総地方 内面ミガキ	
11	皿	(14.1)	1.9	6.5	角雲	普通	明褐	80	下総地方	
12	甕	(24.6)	(7.4)	—	角	普通	褐	20	利根川水系の土	
13	甕	(19.5)	(5.5)	—	角	普通	褐	30	利根川水系の土 SJ50と接合	
14	甕	(16.6)	(5.3)	—	角	普通	褐	破片	利根川水系の土	
15	台付甕	—	(5.0)	10.0	角	普通	褐	50	利根川水系の土	
16	甕	—	—	—		普通	灰白	破片	下総地方	

第50号住居跡出土遺物観察表（第52図）

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	備考	写真図版
17	高台付皿	(13.7)	3.4	5.9	角	良好	褐灰	70	下総地方 内面ミガキ	43-9
18	椀	15.5	5.3	8.4	角	良好	褐灰	90	下総地方 内黒・ミガキ	43-5
19	椀	15.2	5.3	7.3	角	良好	明褐	80	下総地方 内面ミガキ 黒色処理せず	43-2
20	坏	12.6	3.9	(5.7)		良好	褐灰	40	下総地方	42-2

主軸方位はN-68°-Eを測り、東壁のほぼ中央部にカマドが構築されている。壁溝、貯蔵穴、柱穴等は確認されなかった。

住居跡は出土遺物から、9世紀前半代の所産と思われる。遺物は須恵器坏、須恵器甕、土師器甕、土師器台付甕が出土した。

第39・40・50住居跡（第51・52図）

L-6グリッドに位置する。3軒の住居跡が重複しているが、調査時の所見では、第50号住居跡が一番古い住居跡という認識であったが、出土遺物の検

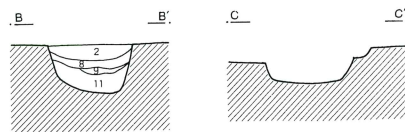
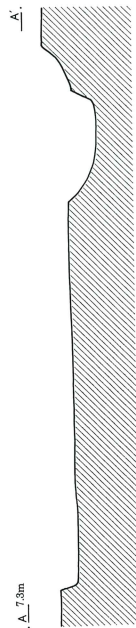
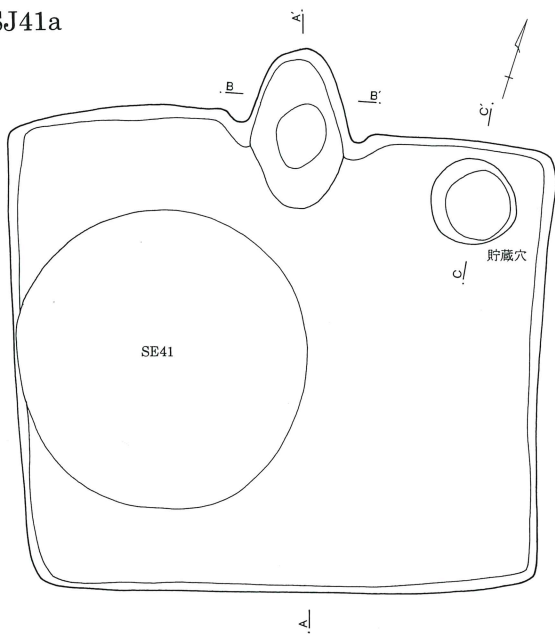
討から、第40号住居跡→第50号住居跡→第39号住居跡の順に新しくなるものと判断される。

第39号住居跡は大半が調査区外にかかっており、規模は長径0.97m、短径0.62m、深さ0.09mを測る。壁溝、貯蔵穴、柱穴等は確認されなかった。遺物が出土していないため、住居跡の年代は不明である。

第40号住居跡の平面形態は東西方向に細長い長方形で、規模は長径4.03m、短径2.86m、深さ0.30mを測る。

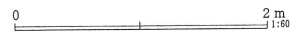
主軸方位はN-25°-Wを測り、北壁の中央部やや西よりにカマドが構築されている。壁溝は全周に

SJ41a

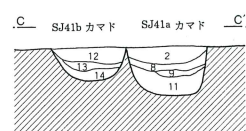
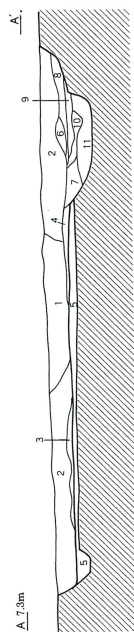
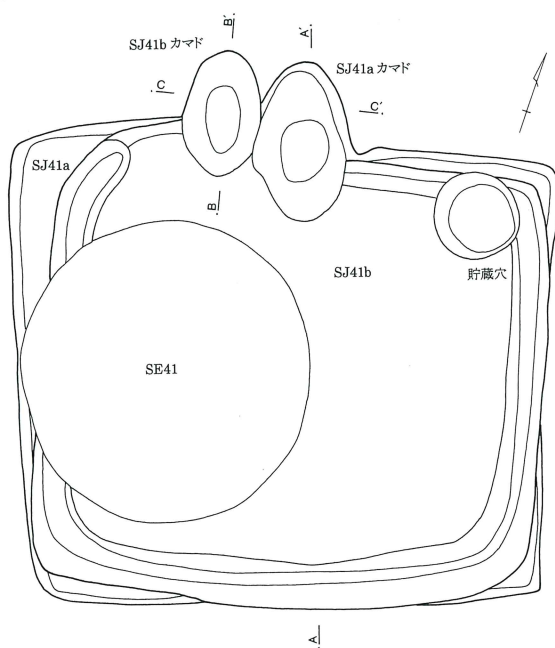


SJ41a・41b

- 1 暗褐色土 粘性強く粒子粗い
- 2 暗褐色土 炭化物、焼土を含み、粘性強く粒子粗い
- 3 黄褐色土 粘性大変強く粒子細かい
- 4 白色土 張り床で、粘性強く固くしまる
- 5 暗褐色土 焼土粒子、炭化物を少量含み、固くしまり粘性弱い



SJ41a・b



SJ41a カマド

- 6 赤褐色土 粒子の粗い焼土ブロック層
- 7 黒色土 カマドの燃焼部に堆積した炭化物層
- 8 赤色土 カマド天井部
- 9 黒色土 炭化物層
- 10 赤色土 炭化物、焼土混じりの層で粘性弱く粒子粗い
- 11 赤褐色土 焼土、炭化物層で、粘性強く固くしまる

SJ41b カマド

- 12 暗褐色土 炭化物、焼土を含み、粘性強く粒子粗い
- 13 赤色土 カマド天井部
- 14 黒色土 炭化物層



第53図 第41a・41b号住居跡

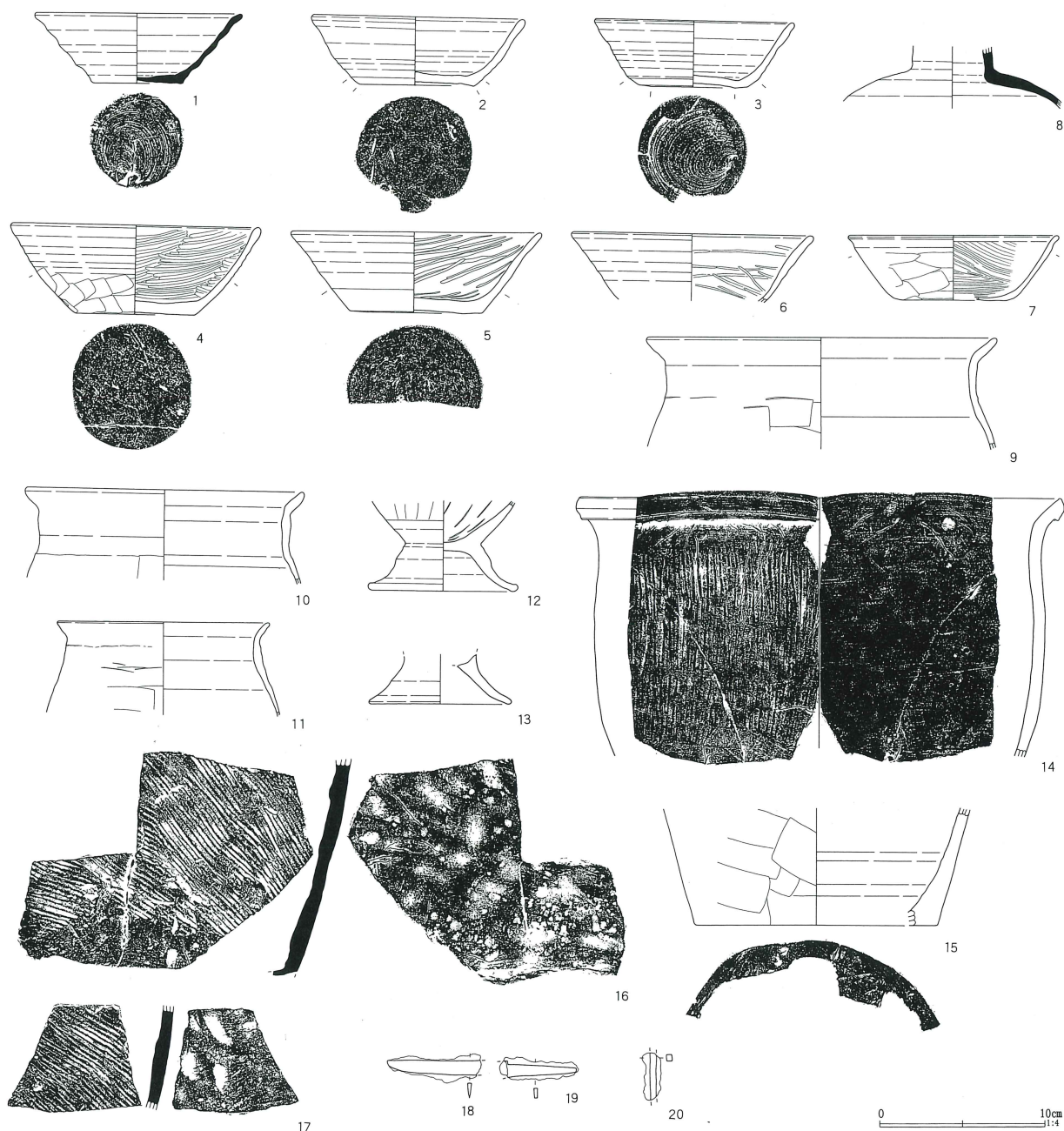
巡り、幅0.22m、深さ0.36mを測る。貯蔵穴、柱穴は確認されなかった。

住居跡は出土遺物から、9世紀前葉代の所産と思われる。遺物は須恵器坏、須恵器皿、黒色土器坏、須恵器甕、土師器甕、土師器台付甕が出土した。大半は第50号住居跡出土遺物である。

第50号住居跡の平面形態は東西方向に細長い長方

形で、規模は長径5.35m、短径3.57m、深さ0.27mを測る。主軸方位はN-33°-Wを測り、北壁のほぼ中央部にカマドが構築されている。壁溝、貯蔵穴、柱穴は確認されなかった。黒色土器坏と、第40号住居跡出土の大半の遺物が本住居跡所属であり、住居跡は9世紀末葉代所産と思われる。

SJ41



第54図 第41号住居跡出土遺物

第41a・41b号住居跡 (第53・54図)

J・K-3グリッドに位置する。中央部から西側の壁にかけて、第41号井戸跡に切られている。住居跡は2軒の重複か、1軒の建て替えて、ほぼ同軸で重複している。第41b号住居跡の上に、第41a号住居跡が乗っている。

第41a号住居跡の平面形態は東西方向にやや細長

い方形で、規模は長径4.35m、短径3.83m、深さ0.15mを測る。主軸方位はN-18°-Wを測り、北壁のほぼ中央部にカマドが構築されている。貯蔵穴は北東コーナーに付設され、ほぼ円形を呈し、長径0.69m、短径0.68m、深さ0.16mを測る。壁溝、柱穴は確認されなかった。住居跡は出土遺物から9世紀末葉の所産と思われる、遺物は須恵器坏、黒色土器

第41号住居跡出土遺物観察表（第54図）

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	備考	写真図版
1	坏	(12.6)	4.3	5.5	片	普通	青灰	40	末野窯	
2	坏	13.0	4.1	7.0	角	良好	褐灰	60	下総地方	41-6
3	坏	12.0	4.0	5.2	角	良好	褐灰	55	下総地方	41-5
4	椀	15.1	5.4	7.3	角	普通	褐	55	下総地方 内黒・ミガキ	43-3
5	坏	15.3	4.9	8.1	角雲	良好	明褐	55	下総地方 内面ミガキ 黒色処理せず	43-4
6	坏	(14.5)	(4.1)	—		良好	明褐	破片	下総地方 内面ミガキ 黒色処理せず	
7	坏	(12.8)	3.9	(6.4)	角	普通	明褐	破片	下総地方 内面ミガキ 黒色処理せず	
8	長頸瓶	—	(3.8)	—		良好	褐灰	破片	東金子窯	
9	甕	(21.3)	(6.8)	—	角	普通	褐	破片	利根川水系の土	
10	甕	(16.8)	(5.6)	—	角雲	普通	褐	破片	利根川水系の土	
11	甕	(13.0)	(5.6)	—	角雲	普通	褐	破片	利根川水系の土	
12	台付甕	—	(5.5)	9.0	角雲	普通	褐	70	利根川水系の土	
13	台付甕	—	(3.0)	(8.6)	角	普通	褐	90	利根川水系の土	
14	甕	(29.3)	(15.2)	—	雲	良好	明褐	20	下総地方	
15	甕	—	(7.1)	(14.8)	雲	良好	明褐	20	下総地方	
16	甕	—	—	—	雲	普通	褐灰	破片	新治産	
17	甕	—	—	—	雲	普通	褐灰	破片	新治産	
18	刀子	残存長5.7、刃幅0.9、背幅0.2cm							18・19同一個体か？	
19	刀子	残存長4.6、幅0.8cm								
20	鉄製不明品	残存長2.9、幅0.4cm								

坏、須恵器長頸瓶、須恵器甕、須恵器甗、土師器甕、土師器台付甕、刀子、鉄釘等が出土した。

第41b号住居跡の平面形態はほぼ方形で、規模は長径3.98m、短径3.53m、深さ0.18mを測る。

主軸方位はN-15°-Wを測り、北壁の中央部西コーナーよりにカマドが構築されている。壁溝はほぼ全周に巡り、幅0.32m、深さ0.27mを測る。柱穴は確認されなかった。

第42号住居跡（第55・56図）

J-6グリッドに位置する。第48号住居跡と重複するが、本住居跡の方が新しい。

住居跡の平面形態は南北に若干細長い方形で、規模は長径3.58m、短径3.50m、深さ0.38mを測る。

主軸方位はN-43°-Eを測り、北壁の中央部やや西寄りにカマドが構築されている。貯蔵穴はカマド東側で南東コーナーとの中間部に付設され、ほぼ円形を呈し、長径0.77m、短径0.70m、深さ0.12mを測る。壁溝、柱穴は確認されなかった。

住居跡は出土遺物から9世紀後半代の所産と思わ

れる。遺物はカマド内から、支脚として使用されていた台付甕が、倒置の状態で出土した。遺物は須恵器坏、内面磨きの黒色土器坏、土師器台付甕が出土した。

第43号住居跡（第55・56図）

K-5・6グリッドに位置する。第35・36・52号住居跡と重複するが、第35・36号住居跡より古く、第52号住居跡より新しいものと思われる。

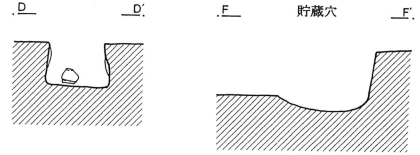
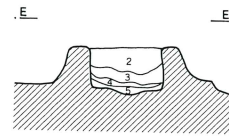
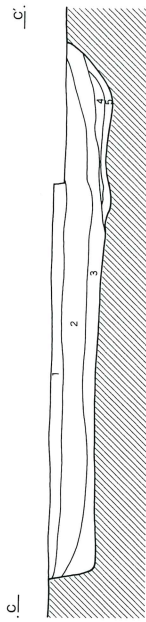
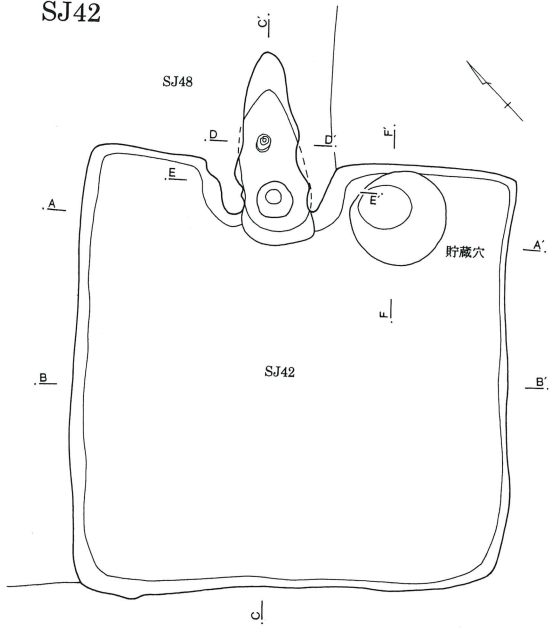
住居跡の平面形態は東西方向にやや細長い方形で、規模は長径5.16m、短径4.44m、深さ0.09mを測る。

主軸方位はN-39°-Wを測り、北壁のほぼ中央部にカマドが構築されている。壁溝、貯蔵穴、柱穴等は確認されなかった。住居跡は出土遺物から9世紀後半代の所産と思われる。遺物は須恵器坏、須恵器甕、土師器甕が出土した。

第44号住居跡（第57・58図）

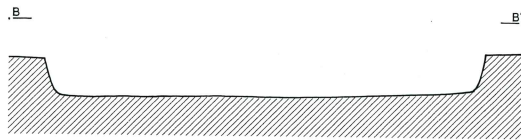
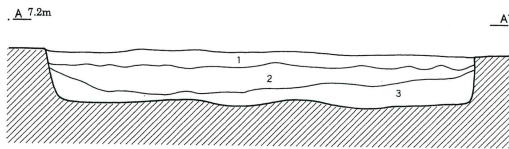
K・L-2グリッドに位置する。住居跡南壁付近で第44号井戸跡と重複するが、井戸の方が新しい。

SJ42



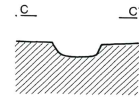
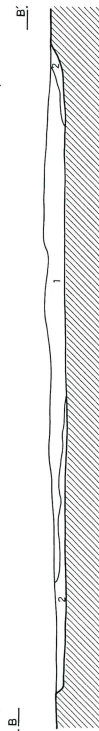
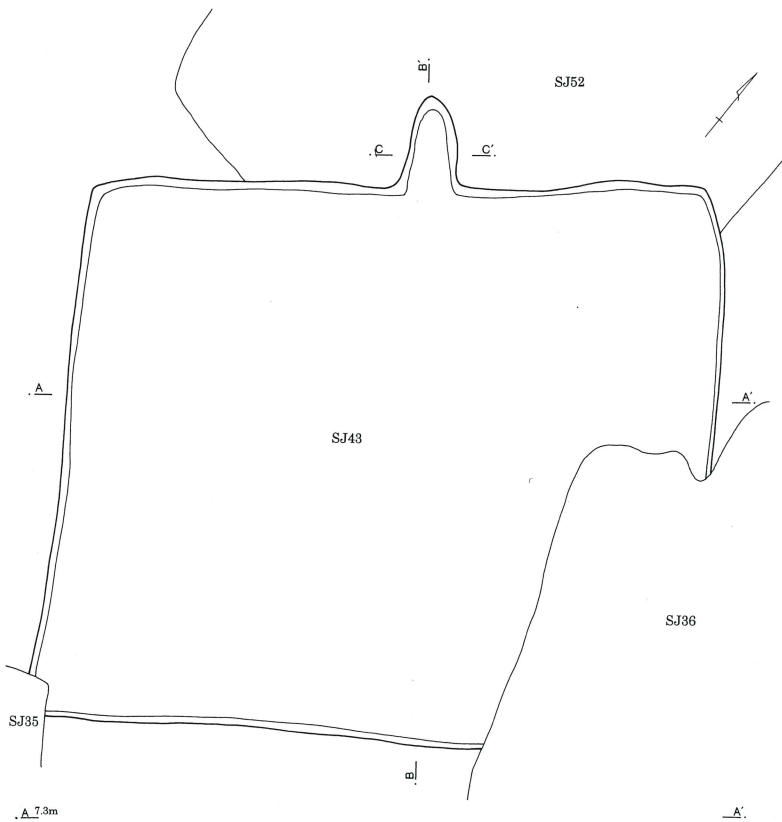
SJ42

- 1 暗褐色土 粘性強く粒子粗い
- 2 黄褐色土 粘性強く粒子細かい
- 3 暗褐色土 炭化物含み、粒子細かく粘性強い
- 4 赤褐色土 カマド天井部崩落土
- 5 黒色土 炭化物層で、粘性強く粒子非常に粗い



0 2 m 1:60

SJ43



SJ43

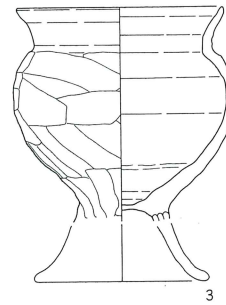
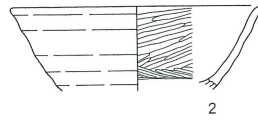
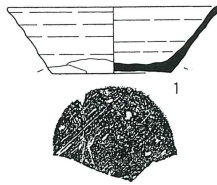
- 1 暗褐色土 粘性強く粒子粗い
- 2 暗褐色土 1層より色調が暗い



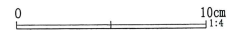
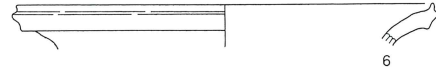
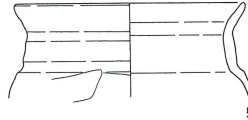
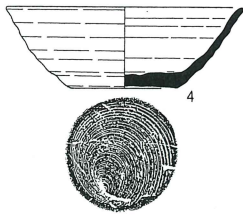
0 2 m 1:60

第55図 第42・43号住居跡

SJ42



SJ43



第56図 第42・43号住居跡出土遺物

第42号住居跡出土遺物観察表 (第56図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	備考	写真図版
1	坏	11.2	3.5	6.3	雲	普通	青灰	40	新治産	34-6
2	坏	(13.5)	(4.5)	—	角	普通	褐灰	破片	下総地方 内黒・ミガキ	
3	台付甕	11.0	(11.4)	—	角片	普通	褐	90	利根川水系の土	

第43号住居跡出土遺物観察表 (第56図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	備考	写真図版
4	坏	12.6	4.3	5.7	片	普通	褐灰	80	末野窯	39-2
5	甕	(12.2)	(5.0)	—	角	不良	褐	破片	利根川水系の土	
6	甕	(22.1)	(2.2)	—	—	普通	褐灰	破片	下総地方	

第44号住居跡出土遺物観察表 (第58図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	備考	写真図版
1	坏	12.3	3.7	5.8	—	良好	灰白	60	東金子窯	34-1
2	坏	—	(2.1)	6.0	—	良好	灰白	50	東金子窯	
3	坏	(12.0)	4.2	(5.3)	針	普通	青灰	20	南比企窯	
4	坏	(12.0)	(3.4)	—	角	普通	褐	20	下総地方	
5	甕	(13.6)	(7.7)	—	角	不良	褐	40	利根川水系の土	
6	甕	21.3	(14.0)	—	角	普通	褐	50	利根川水系の土	
7	甕	—	(8.8)	3.4	角	普通	褐	40	利根川水系の土	
8	甕	—	—	—	雲	普通	褐灰	破片	新治窯	

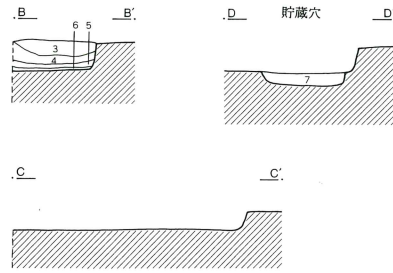
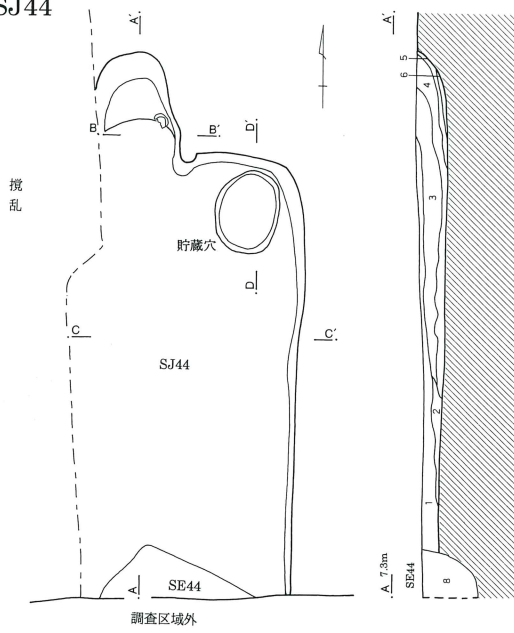
住居跡の形態は南北に細長い長方形を呈するものと思われるが、大半が攪乱を受け、また調査区外に当たるため不明である。規模は長径3.49m、短径1.89m、深さ0.14mを測る。

主軸方位はN-1°-Wを測り、北壁の北東コーナーよりカマドが構築されている。貯蔵穴は北東コーナーに付設され、楕円形を呈し、長径0.66m、

短径0.52m、深さ0.10mを測る。壁溝、柱穴は確認されなかった。

出土遺物から、住居跡は9世紀末葉代の所産と思われる。遺物は須恵器坏、須恵器甕、土師器甕が出土した。

SJ44



SJ44

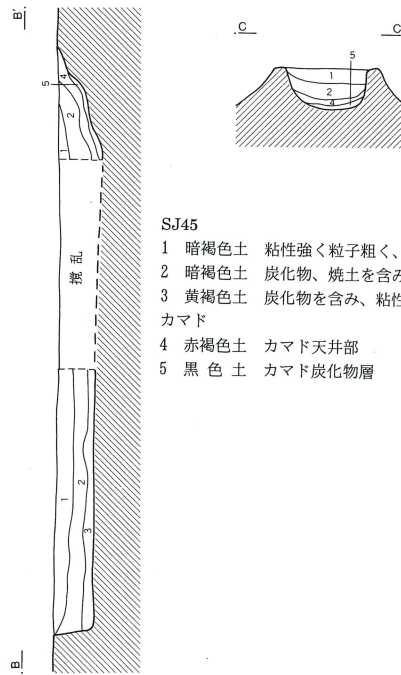
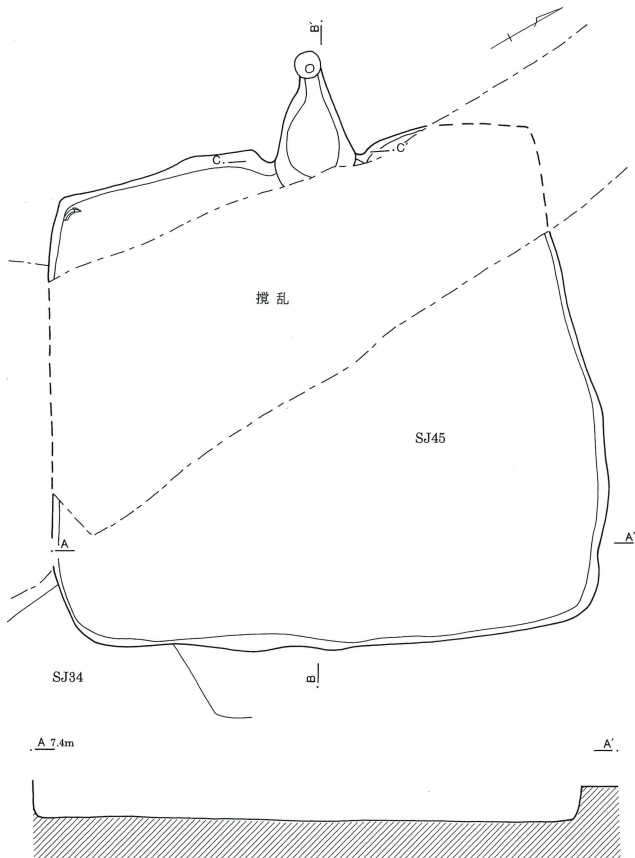
- 1 暗褐色土 炭化物、焼土粒子を含み、粘性強く粒子細かい
- 2 暗褐色土 2層より色調暗く、粒子細かく粘性強い
- 3 褐色土 炭化物、焼土粒子を含み、粘性強い
- 4 黒色土 炭化物を多量に含み、粘性強い
- カマド
- 5 赤褐色土 カマド天井部で、炭化物、焼土層
- 6 黒色土 炭化物層
- 貯蔵穴
- 7 赤褐色土 炭化物、焼土を含む

SE44

- 8 黒色土 炭化物、焼土粒子を含み、粘性強く粒子粗い



SJ45



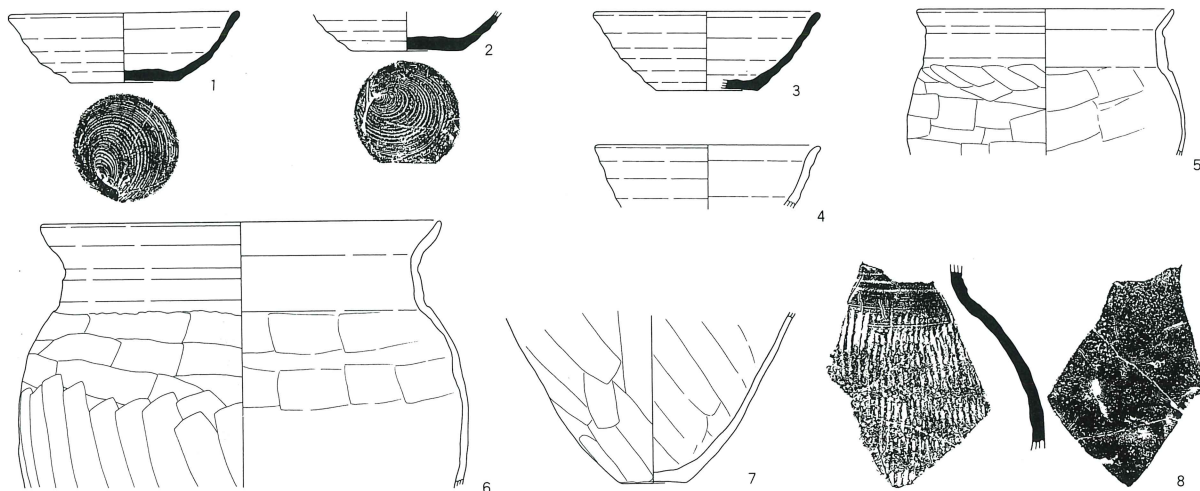
SJ45

- 1 暗褐色土 粘性強く粒子粗く、固くしまる
- 2 暗褐色土 炭化物、焼土を含み、粘性強く粒子細かい
- 3 黄褐色土 炭化物を含み、粘性大変強く粒子は細かい
- カマド
- 4 赤褐色土 カマド天井部
- 5 黒色土 カマド炭化物層

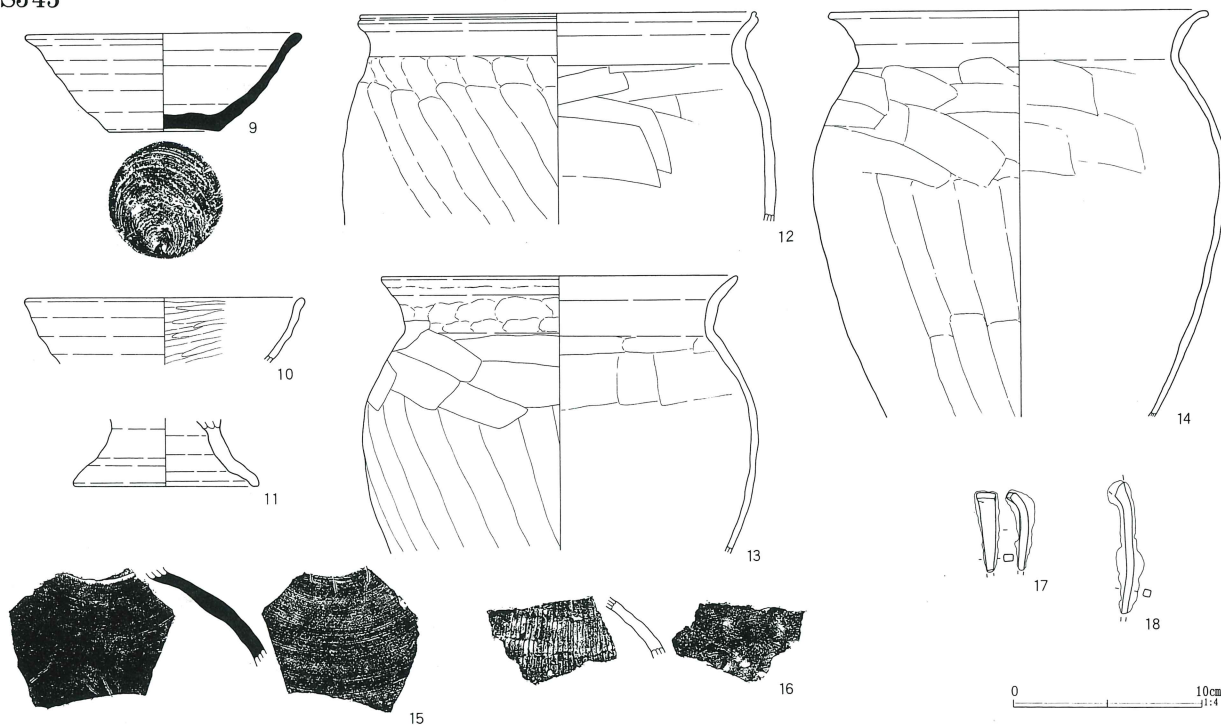


第57図 第44・45号住居跡

SJ44



SJ45

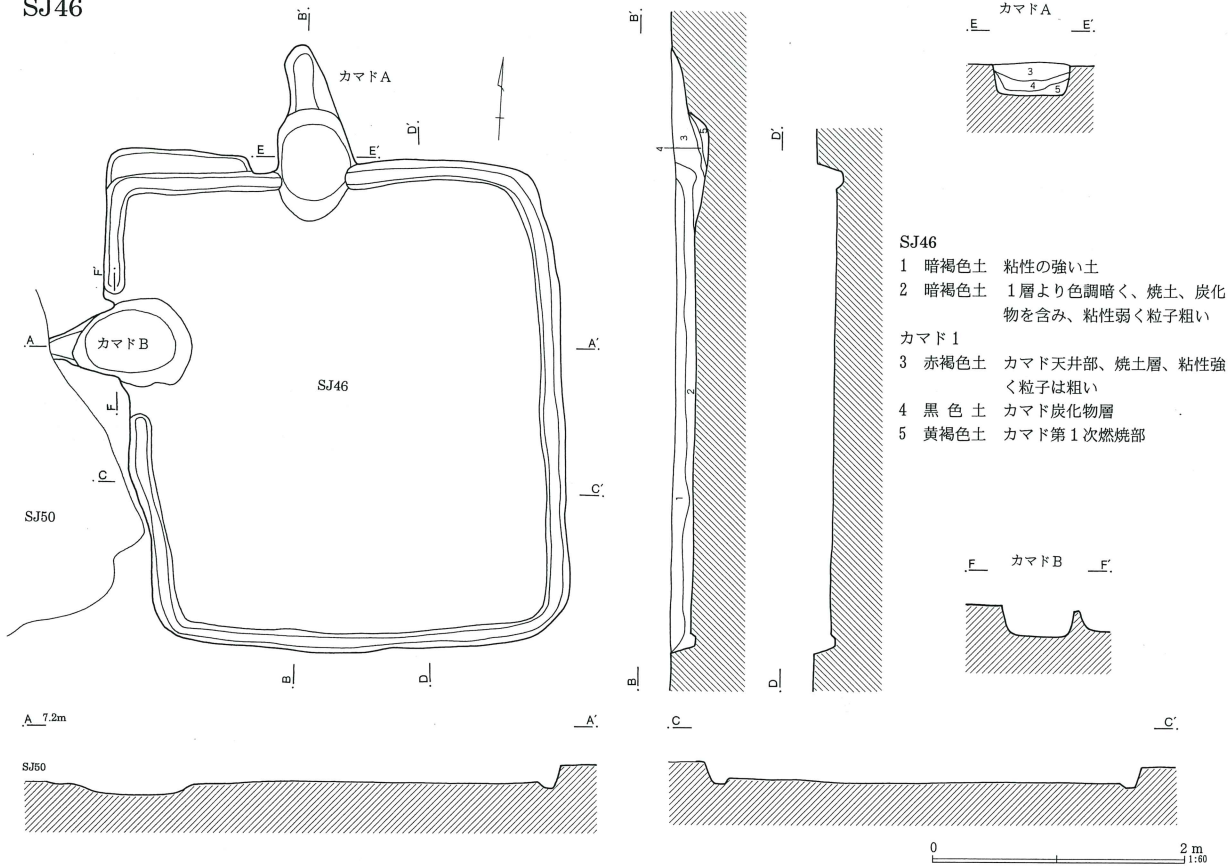


第58図 第44・45号住居跡出土遺物

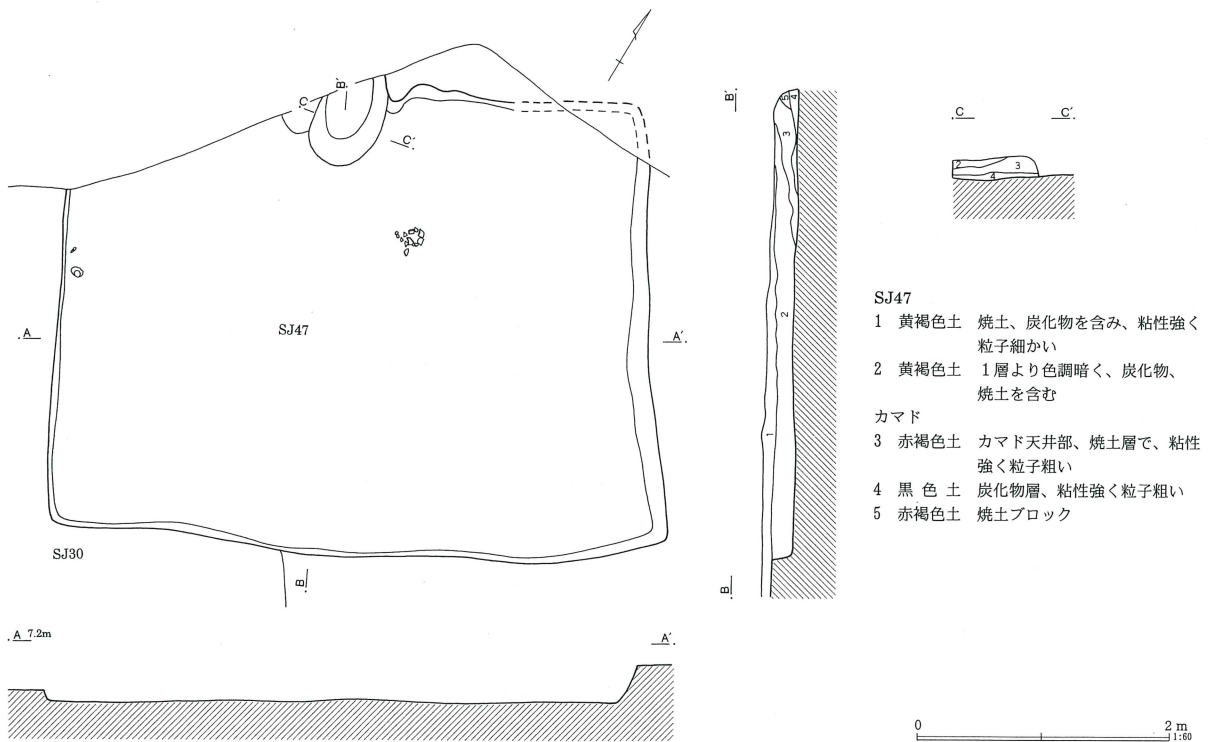
第45号住居跡出土遺物観察表 (第58図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	備考	写真図版
9	坏	14.8	5.2	5.9	片	普通	褐灰	80	末野窯	39-3
10	坏	(14.9)	(3.5)	—	角	普通	褐灰	破片	下総地方 内黒・ミガキ	
11	台付甕	—	(3.3)	10.0	角	普通	褐	20	利根川水系の土	
12	甕	(20.9)	(11.1)	—	角	普通	褐灰	30	利根川水系の土	34-4
13	甕	(18.9)	(14.5)	—	角	普通	褐	40	利根川水系の土	34-2
14	甕	(20.0)	(21.5)	—	角	普通	褐	30	利根川水系の土	34-3
15	壺	—	—	—	針	良好	青灰	破片	南比企窯	
16	甕	—	—	—	—	普通	褐灰	破片	下総地方	
17	鉄製不明品	残存長4.2、幅1.0cm								
18	鉄製不明品	残存長6.9、幅0.4cm								

SJ46

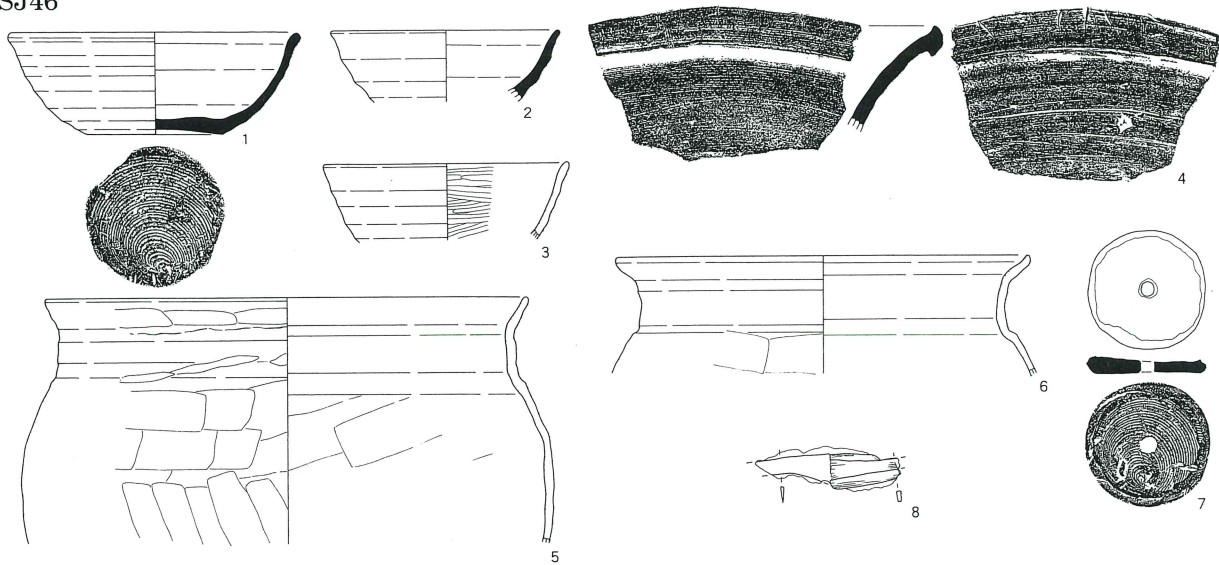


SJ47

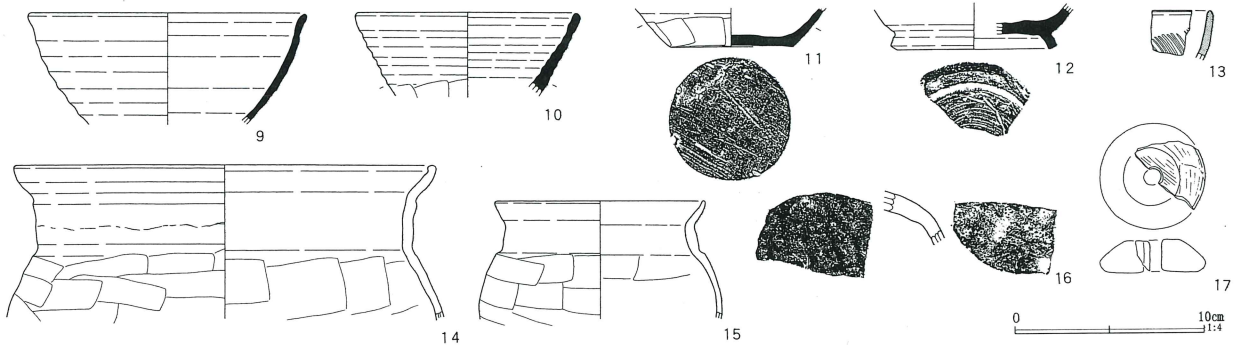


第59図 第46・47号住居跡

SJ46



SJ47



第60図 第46・47号住居跡出土遺物

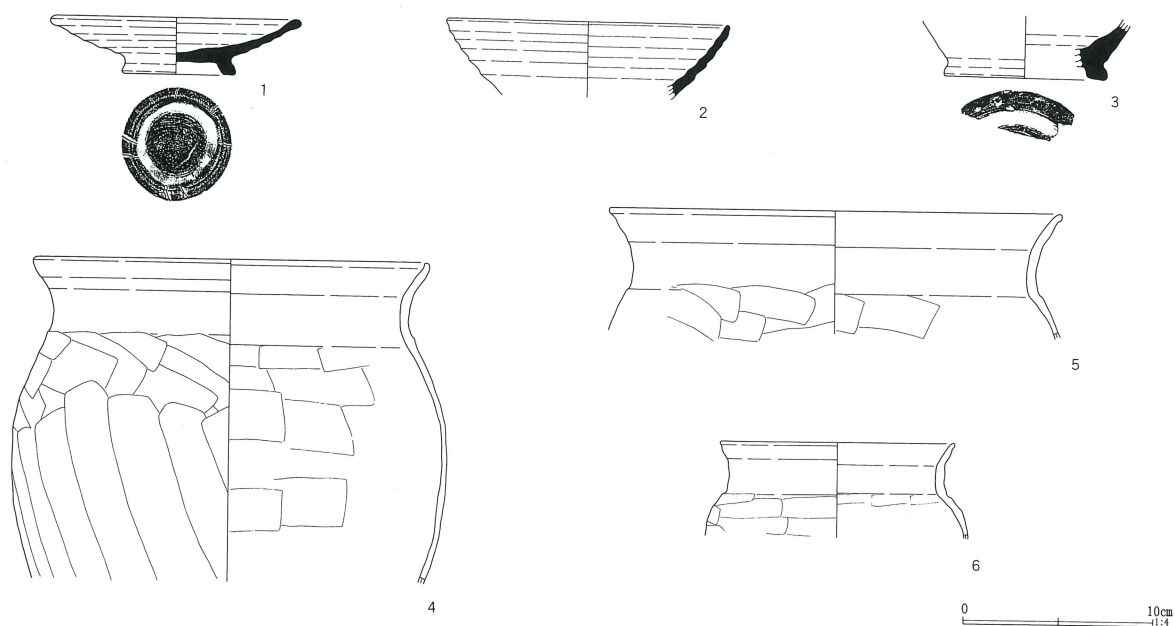
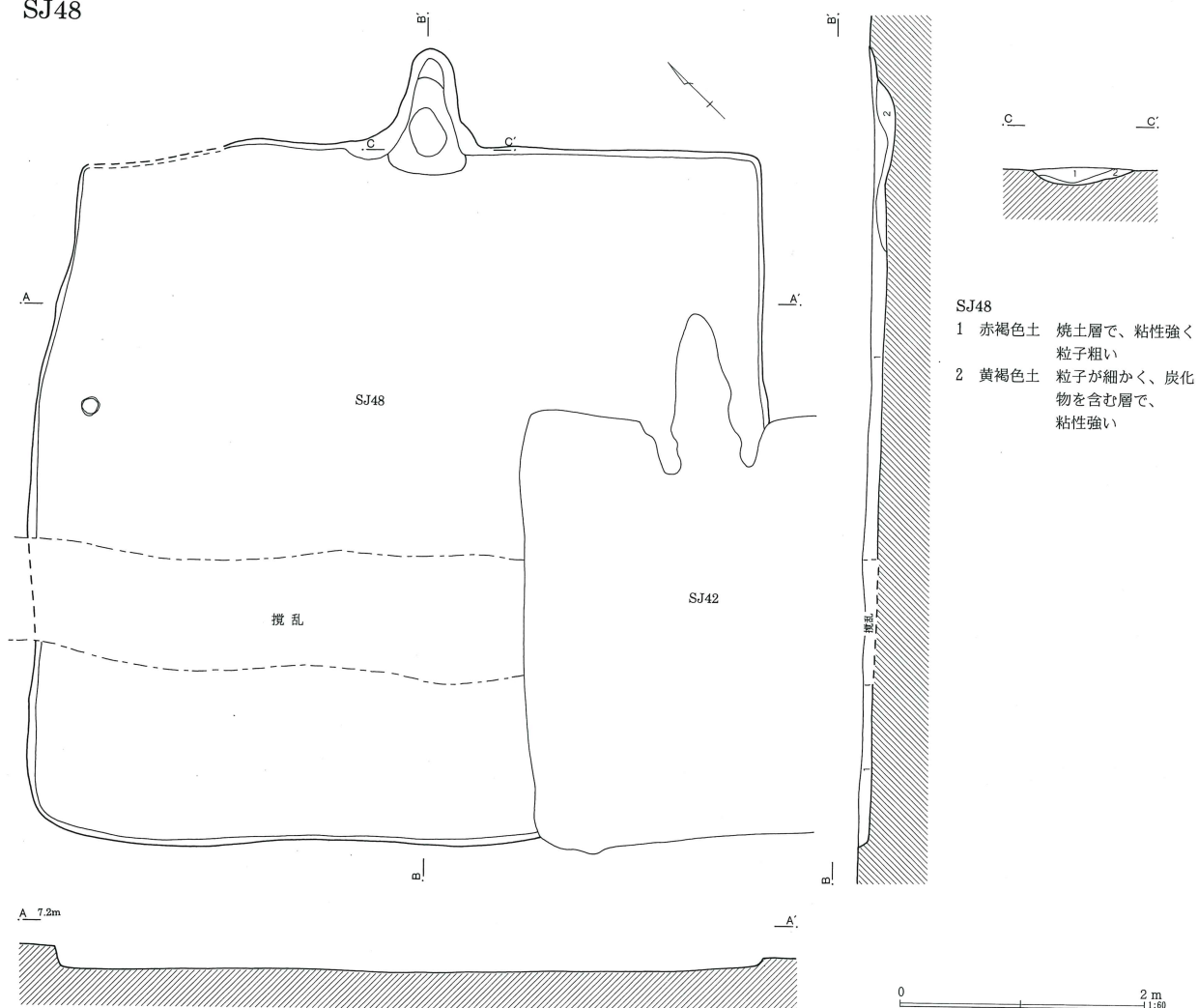
第46号住居跡出土遺物観察表 (第60図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	備考	写真図版
1	碗	(15.3)	5.4	7.2	針	普通	灰白	40	南比企窯	
2	坏	(12.1)	(3.8)	—	針	良好	灰白	破片	南比企窯	
3	坏	(13.1)	(4.0)	—	角	良好	褐灰	破片	下総地方 内黒・ミガキ	
4	甕	—	—	—	針	普通	青灰	破片	南比企窯	
5	甕	(25.7)	(13.0)	—	角	普通	褐	破片	利根川水系の土	
6	甕	(22.0)	(6.2)	—	角	不良	褐	破片	利根川水系の土	
7	紡錘車	長径6.2、孔径0.8、厚0.8cm、重さ38.34g							須恵器坏転用(南比企窯)	
8	刀子	残存長7.5、刃幅0.9、背幅0.1cm							柄木残存	

第47号住居跡出土遺物観察表 (第60図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	備考	写真図版
9	碗	(14.8)	(5.9)	—	針	普通	青灰	20	南比企窯	
10	坏	(12.0)	(4.5)	—		普通	褐灰	破片	三和窯	
11	坏	—	(2.1)	6.5		良好	青灰	80	三和窯	
12	高台付碗	—	(2.4)	8.1	片	普通	青灰	30	末野窯	
13	碗	—	—	—		良好	緑	破片	青磁	
14	甕	(22.4)	(8.1)	—	角	普通	褐灰	40	利根川水系の土	
15	甕	(11.2)	(6.2)	—	角	普通	褐灰	40	利根川水系の土	
16	壺	—	—	—		普通	褐灰	破片		
17	土製紡錘車	推定長径5.7、短径3.0、高さ1.7、孔径1.0cm、重さ16.07g								

SJ48



第61図 第48号住居跡と出土遺物

第48号住居跡出土遺物観察表（第61図）

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	備考	写真図版
1	高台付皿	13.4	3.0	6.0		普通	青灰	100	東金子窯	36-7
2	坏	(15.0)	(4.0)	—	角	普通	褐灰	破片	三和窯	
3	長頸瓶	—	(3.3)	(8.6)		良好	褐灰	30	東金子窯	
4	甕	(21.1)	(17.0)	—	角	普通	褐	40	利根川水系の土	
5	甕	(24.0)	(6.5)	—	角	普通	褐	破片	利根川水系の土	
6	甕	(12.5)	(5.0)	—	角	普通	褐	20	利根川水系の土	

第45号住居跡（第57・58図）

K-2グリッドに位置する。南西コーナーで第34号住居跡と重複し、北西コーナーから南壁にかけて帯状に攪乱を受けている。平面形態は南北方向にやや細長い方形で、規模は長径4.38m、短径3.94m、深さ0.30mを測る。

主軸方位はN-61°-Wを測り、西壁のほぼ中央部にカマドが構築されている。壁溝、貯蔵穴、柱穴は確認されなかった。

住居跡は出土遺物から、9世紀末葉代の所産と思われる。遺物は須恵器坏、黒色土器坏、須恵器壺、須恵器甕、土師器甕、土師器台付甕、鉄製品が出土した。

第46号住居跡（第59図）

L-6グリッドに位置する。平面形態は方形で、規模は南北長3.85m、東西長3.61m、深さ0.15m、カマドは2基確認され、カマドAの主軸方位は、N-2.5°-Wを測り、カマドBの主軸方位は、N-93°-Wを測る。北壁中央と西壁中央やや北寄りにカマドが設置されている。第50号住居跡に切られている。壁溝は全周に巡り、幅0.16m、深さ0.21mである。貯蔵穴、柱穴は確認されなかった。

住居跡は出土遺物から、9世紀後半代の所産と思われる。遺物は須恵器坏、黒色土器坏、須恵器甕、土師器甕、須恵器坏の底部を再利用した紡錘車、刀子が出土した。

第47号住居跡（第59図）

I・J-5・6グリッドに位置する。住居跡南西

コーナーで第30号住居跡と重複するが、本住居跡の方が古い。また、カマド煙道部、住居跡北東、北西の両コーナーに攪乱を受けている。

住居跡の平面形態は東西方向に細長い長方形で、規模は長径4.88m、短径3.72m、深さ0.28mを測る。

主軸方位はN-28°-Wを測り、北壁のほぼ中央部にカマドが構築されている。壁溝、貯蔵穴、柱穴等は確認されなかった。

住居跡は出土遺物から、9世紀後半代の所産と思われる。遺物は須恵器坏、須恵器高台付碗、須恵器壺、土師器甕、中世磁器、土製紡錘車が出土した。

第48号住居跡（第61図）

I・J-6グリッドに位置する。住居跡南西コーナーで第42号住居跡と重複するが、本住居跡の方が古い。

住居跡の平面形態は南北方向にやや細長い方形で、規模は長径6.00m、短径5.72m、深さ0.18mを測る。

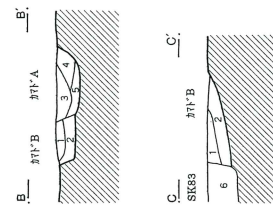
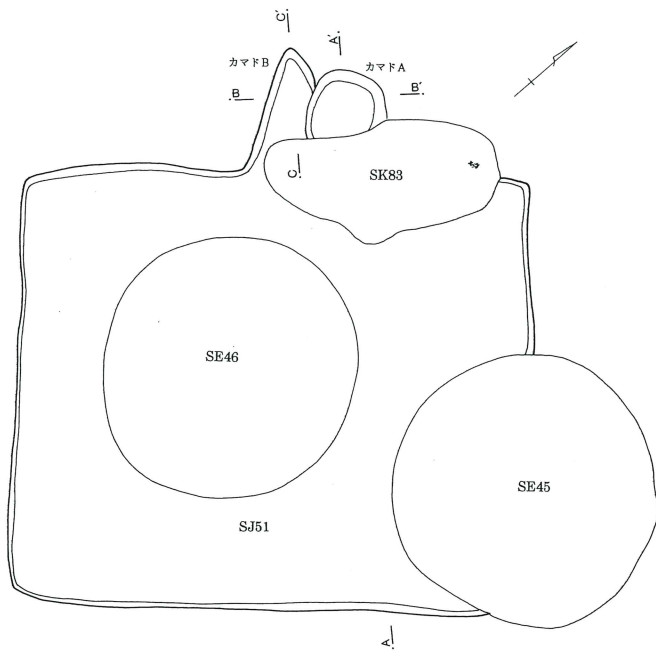
主軸方位はN-46°-Eを測り、北壁のほぼ中央部にカマドが構築されている。壁溝、貯蔵穴、柱穴等は確認されなかった。

住居跡は出土遺物から、9世紀前半代の所産と思われる。遺物は須恵器坏、須恵器高台付皿、須恵器長頸瓶、土師器甕が出土した。

第51号住居跡（第62・63図）

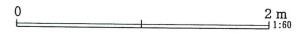
J-3・4グリッドに位置する。住居跡南東コーナーで第45号井戸と、中央部で第46号井戸と、カマド付近で第83号土壇と重複するが、いずれも住居跡の方が古い。住居跡の平面形態はほぼ方形で、規模

SJ51

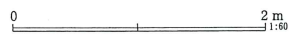
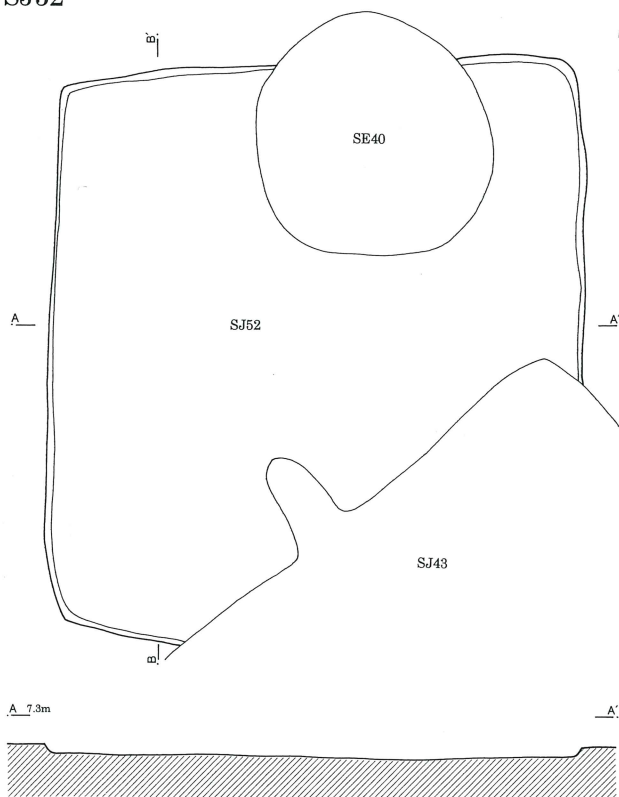


SJ51 カマド

- 1 暗褐色土 焼土、炭化物粒子を含み、灰褐色土の粒子もやや多く含む
 - 2 暗褐色土 焼土粒子、灰褐色土の粒子を含む
 - 3 黒褐色土 焼土粒子、灰褐色土粒子を少量含む
 - 4 黒褐色土 灰褐色土粒子を含む
 - 5 黒褐色土 灰褐色土粒子をやや多く含む
- SK83
- 6 黒褐色土 灰褐色土の粒子を含む

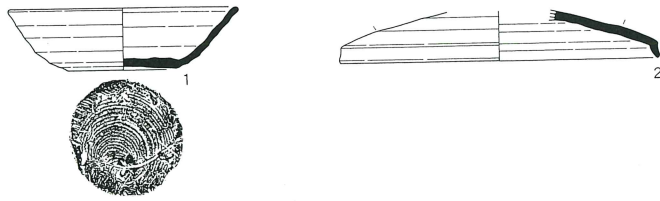


SJ52

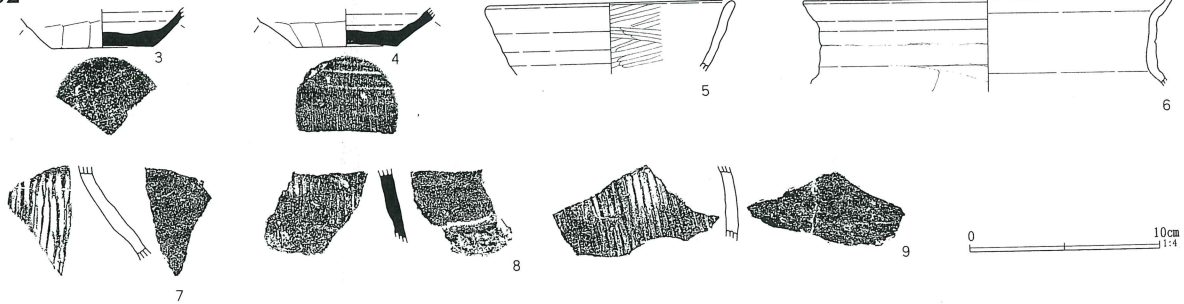


第62図 第51・52号住居跡

SJ51



SJ52



第63図 第51・52号住居跡出土遺物

第51号住居跡出土遺物観察表 (第63図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	備考	写真図版
1	坏	12.3	5.9	3.3	針	普通	青灰	80	南比企窯	37-9
2	蓋	16.8	(2.6)	—	針	普通	灰白	40	南比企窯	38-6

第52号住居跡出土遺物観察表 (第63図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	備考	写真図版
3	坏	—	(2.0)	5.4		普通	青灰	30	三和窯	
4	坏	—	(2.0)	5.4		普通	灰白	40	三和窯	
5	坏	(13.2)	(3.8)	—	角	良好	褐灰	破片	下総地方 内黒・ミガキ	
6	甕	(19.6)	(4.5)	—	角	普通	褐	100	利根川水系の土	
7	甕	—	—	—		普通	褐	破片	下総地方	
8	甕	—	—	—	雲	普通	褐	破片	新治窯	
9	甕	—	—	—	雲	普通	褐	破片	下総地方	

は長径4.08m、短径3.48m、深さ0.12mを測る。

本住居跡にはカマドが2基存在する。カマドAは北壁中央部やや東より構築され、カマドBを壊して構築されていた。しかし、第83号土壌の攪乱を受け、詳細が不明になっている。カマドBは北壁のほぼ中央部に構築されており、主軸方位はN-48.5°-Wを測る。壁溝、貯蔵穴、柱穴等は確認されなかった。

本住居跡は出土遺物が少なく、構築時期を推定することが難しいが、9世紀前半代を想定して置きたい。遺物は須恵器坏、須恵器蓋が出土した。

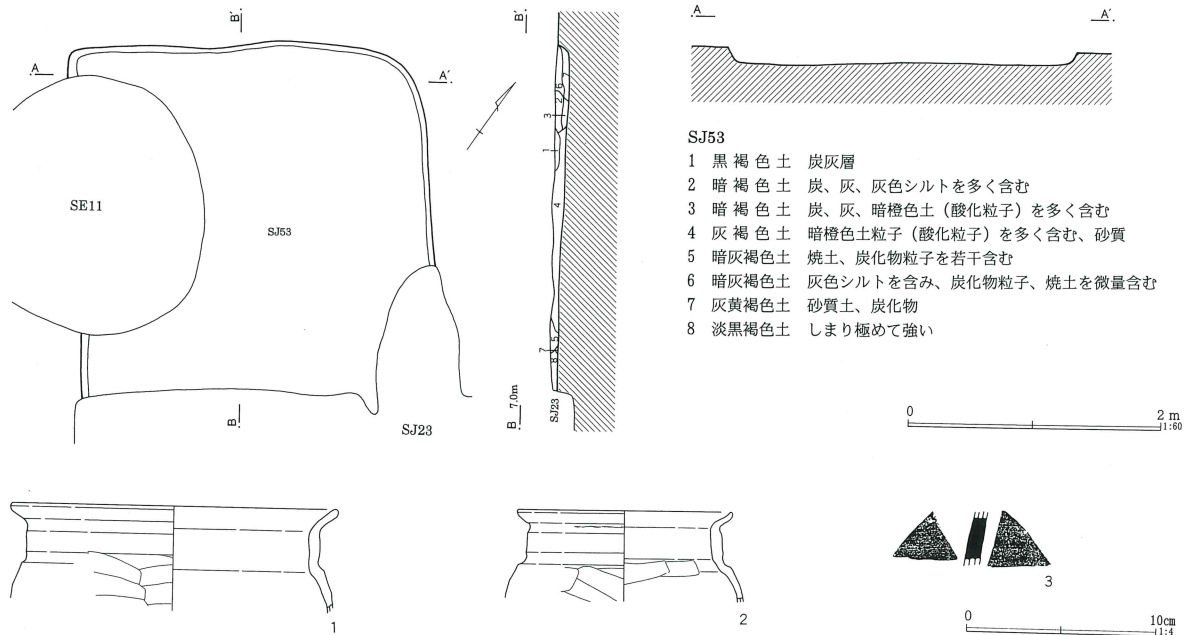
第52号住居跡 (第62図)

J・K-5・6グリッドに位置する。住居跡南東コーナーで第43号住居跡と重複するが、本住居跡の方が古い。また、北壁中央部で第40号井戸跡と重複するが、本住居跡の方が古い。

住居跡の平面形態は南北にやや細長い方形で、規模は長径4.52m、短径4.24m、深さ0.08mを測る。

カマドは検出されず、貯蔵穴、柱穴は確認されなかった。住居跡は出土遺物から、9世紀後半代と推定される。遺物は須恵器坏、黒色土器坏、須恵器甕、土師器甕が出土した。

SJ53



SJ53

- 1 黒褐色土 炭灰層
- 2 暗褐色土 炭、灰、灰色シルトを多く含む
- 3 暗褐色土 炭、灰、暗橙色土（酸化粒子）を多く含む
- 4 灰褐色土 暗橙色土粒子（酸化粒子）を多く含む、砂質
- 5 暗灰褐色土 焼土、炭化物粒子を若干含む
- 6 暗灰褐色土 灰色シルトを含み、炭化物粒子、焼土を微量含む
- 7 灰黄褐色土 砂質土、炭化物
- 8 淡黒褐色土 しまり極めて強い

第64図 第53号住居跡と出土遺物

第53号住居跡出土遺物観察表（第64図）

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	備考	写真図版
1	甕	(17.4)	(5.2)	—	角	普通	褐	破片	利根川水系の土	
2	甕	(11.4)	(4.8)	—	角	普通	褐	破片	利根川水系の土	
3	甕	—	—	—	針	良好	青灰	破片	南比企窯	

第53号住居跡（第64図）

E・F-8グリッドに位置する。南壁で第23号住居跡と重複するが、新旧関係は不明である。また、西壁で第11号井戸跡と重複するが、本住居跡の方が古い。

住居跡は平面形態は南北に細長い長方形を呈する

ものと思われ、規模は長径2.76m、短径2.76m、深さ0.07mを測る。カマドは検出されておらず、壁溝、貯蔵穴、柱穴等は確認されなかった。

住居跡の出土遺物から、9世紀前半代と想定される。遺物は土師器甕、須恵器甕が出土した。

2. 土壌

本遺跡から検出された土壌は、105基を数える。土壌の中には、深度があり、井戸と認識したものとの類似する形態のものも存在する。また、重複していると思われる土壌も存在していたため、正確な数は多少前後するものと思われる。

土壌は、住居跡と同様に、確認面からの構築深度の浅いものが多い。また、明らかに住居区域以外に構築されているものや、住居跡と重複関係にあるものも相当数存在する。従って、時代的には古代から中世に亘って構築されているものと思われ、その分布によっては、ある程度の時期推定が可能なものも含まれよう。

しかし、住居跡と重複しながら、また、その周りを取り囲むような分布状況を示すことが多いことから、大半が住居跡の構築された時期に関連するものと捉えることが可能となろう。

第1号土壌 (第65・75図)

D-11区に位置する。西側に第3号住居跡が隣接する。プランはやや歪んだ方形を呈し、長径1.35m、短径1.28m、深さ0.41mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。須恵器坏、黒色土器坏が出土した。

第2号土壌 (第65図)

F-9区に位置する。プランは円形を呈し、第22号住居跡と重複している。長径0.60m、短径0.60m、深さ0.17mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第3号土壌 (第65図)

F-8区に位置する。プランは円形を呈し、長径0.75m、短径0.71m、深さ0.12mである。底面は平坦で、壁は比較的緩く立ち上がる。遺物は出土していない。

第4号土壌 (第65図)

F-8・G-8区に位置する。グリッドピットのG-8P1と重複している。プランは円を呈し、長径0.92m、短径0.79m、深さ0.14mを測る。底面は平坦で、壁は比較的緩やかに立ち上がる。遺物は出土していない。

第5号土壌 (第65図)

F-8・G-8区に位置する。プランは楕円形を呈し、長径1.13m、短径0.90m、深さ0.10mを測る。底面はやや凹凸があり、壁は比較的緩やかに立ち上がる。遺物は出土していない。

第6号土壌 (第65図)

G-8・9区に位置する。東側には第13号溝が隣接する。プランは円形を呈し、長径0.64m、短径0.60m、深さ0.12mを測る。底面は平坦で、壁は比較的緩やかに立ち上がる。遺物は出土していない。

第7号土壌 (第65図)

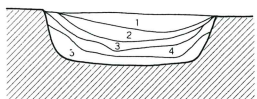
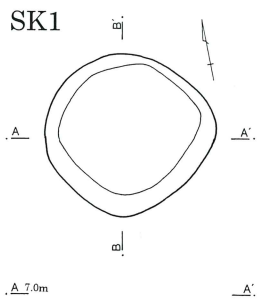
G-8・9区に位置する。プランは隅の丸い長方形を呈し、長径1.37m、短径0.87m、深さ0.10mを測る。底面は平坦で、壁は比較的緩く立ち上がる。遺物は出土していない。

第8号土壌 (第65図)

F-7区に位置する。西側には第5号井戸、東側には第4号井戸、南側には第10号井戸が隣接している。プランは円形を呈し、長径1.00m、短径0.96m、深さ0.17mを測る。底面はやや凹凸があり、壁は緩く立ち上がる。遺物は出土していない。

第9号土壌 (第65図)

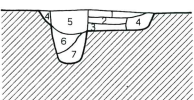
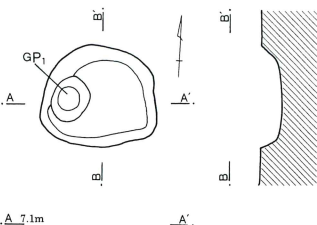
F-7区に位置する。第10号井戸跡に切られている。プランは不整円形を呈し、長径1.09m、短径0.87m、深さ0.15mを測る。底面は平坦で、壁は比



SK1

- 1 暗褐色土 砂質で、地山ブロック、焼土粒子、炭化物を少量含む
- 2 暗褐色土 砂質で、焼土ブロックを帯状に堆積する層、炭化物を少量含む
- 3 暗褐色土 砂質で、炭化物を帯状に堆積する層、焼土粒子を少量含む
- 4 暗褐色土 砂質強く、焼土粒子、炭化物を少量含む、3層より青味がある
- 5 暗褐色土 焼土粒子、炭化物を微量含む、地山ブロックを少量混入

SK4



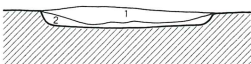
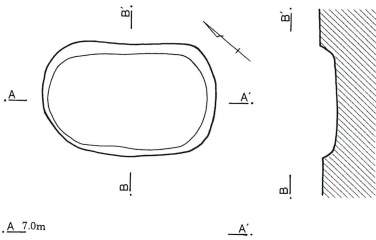
SK4

- 1 暗褐色土 焼土粒子、炭化物を微量に含む、地山ブロックを少量含む
- 2 暗褐色土 地山ブロック、炭化物、焼土ブロックを多量に含む
- 3 灰褐色土 炭化物を少量含む
- 4 灰褐色土 地山をブロック状に含む

G-8 P1

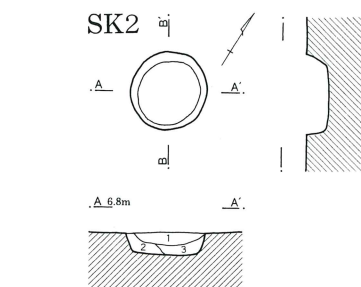
- 5 暗褐色土 焼土ブロック、炭化物を微量含む、地山ブロックを少量混入
- 6 暗褐色土 焼土ブロック、炭化物を少量含む、地山ブロックを多量に混入
- 7 暗褐色土 焼土ブロック、炭化物を少量含む、地山ブロックを多量に混入

SK7



SK7

- 1 暗褐色土 地山を粗粒状に多く密に混入、炭化物を少量含む
- 2 灰褐色土 炭化物を微量含む

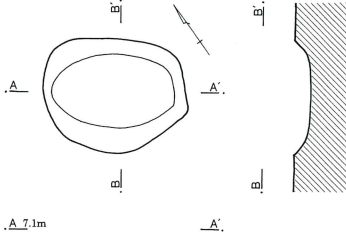


SK2

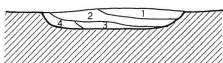
SK2

- 1 茶褐色土 砂質シルト質で、焼土、炭化物粒子をやや多く含む
- 2 灰褐色土 やや粘質で、黒色土と灰色土が混じった層、鉄マンガン斑多数
- 3 灰褐色土 砂質シルト質で、焼土、炭化物を少量含む

SK5



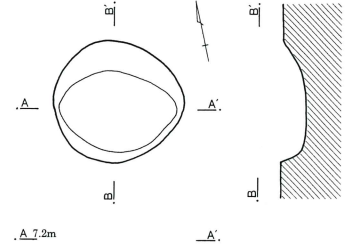
SK5



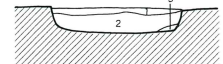
SK5

- 1 暗褐色土 地山ブロックを多量に混入、炭化物を微量含む
- 2 暗褐色土 炭化物を少量含む
- 3 暗褐色土 地山ブロックを多量に密に混入
- 4 灰褐色土 地山をブロック状に含む

SK8

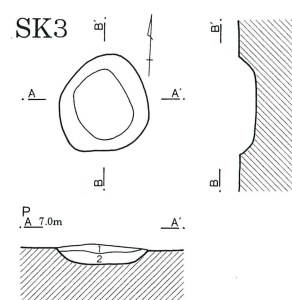


SK8



SK8

- 1 暗褐色土 灰褐色土の粒子を含む
- 2 灰褐色土 暗褐色土のブロックを含む
- 3 灰褐色土 暗褐色土のブロックを少量含む



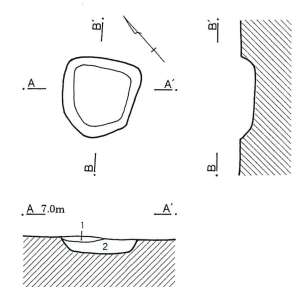
SK3

SK3

SK3

- 1 暗褐色土 炭化物を微量に含む、地山ブロックを少量含む
- 2 灰褐色土 炭化物を微量含む

SK6

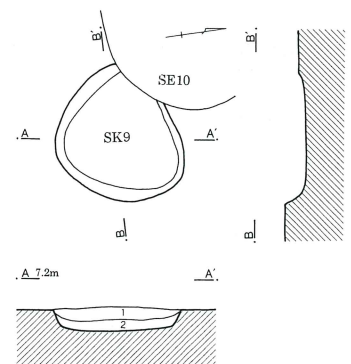


SK6

SK6

- 1 暗褐色土 炭化物を微量に含む、地山ブロックを少量含む
- 2 灰褐色土 炭化物を微量含む

SK9

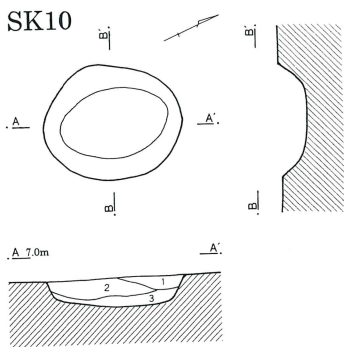


SK9

- 1 暗褐色土 灰褐色土の粒子を含む
- 2 灰褐色土 暗褐色土のブロックを含む

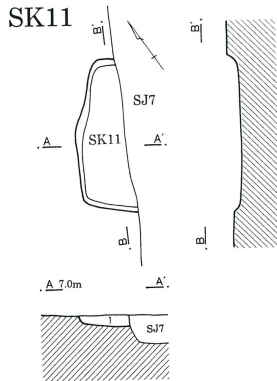


第65図 土壌 (1)



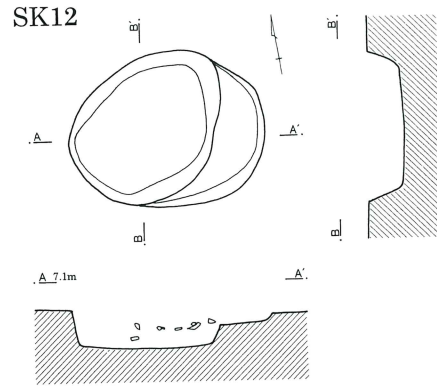
SK10

- 1 暗褐色土 灰褐色土の粒子を含む
- 2 灰褐色土 暗褐色土の粒子を少量含む
- 3 暗褐色土 灰褐色土の粒子を含む

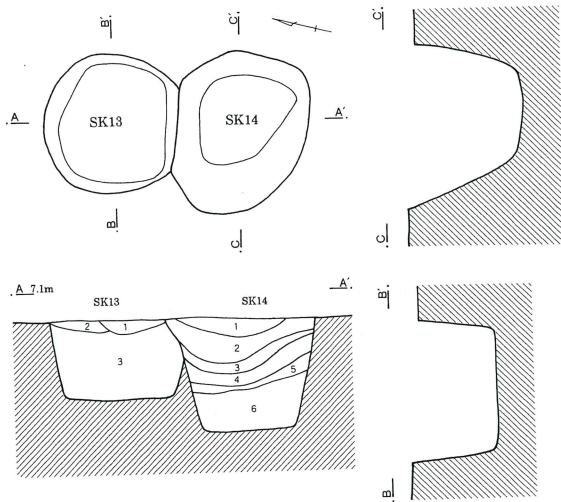


SK11

- 1 暗褐色土 灰褐色土を含む



SK13・14



SK13・14

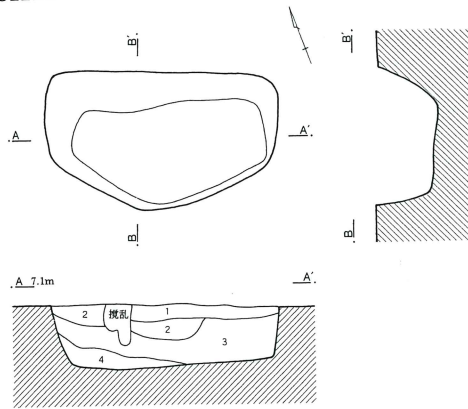
SK13

- 1 暗褐色土 炭化物、焼土粒子を含む
- 2 暗褐色土 炭化物、焼土粒子を僅かに含む
- 3 暗褐色土 炭化物、焼土粒子、灰褐色土を含む

SK14

- 1 暗褐色土 灰褐色土のブロックを含む
- 2 黒色土 炭化物粒子を極めて多く含む、焼土粒子、灰褐色土を含む
- 3 暗褐色土 灰褐色土の粒子を含む
- 4 暗褐色土 3層よりやや大きい灰褐色土を含む
- 5 灰褐色土 暗褐色土のブロックを含む
- 6 暗褐色土 灰褐色土のブロックを含む

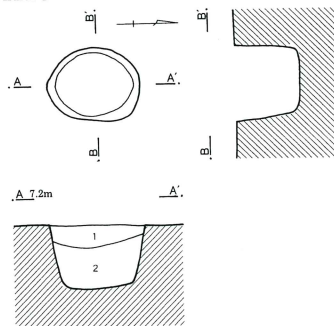
SK15



SK15

- 1 暗褐色土 灰褐色土の粒子、ブロックを含む
- 2 暗褐色土 灰褐色土のブロックを多量に含む
- 3 暗褐色土 灰褐色土粒子、焼土粒子を少量含む
- 4 暗褐色土 灰褐色土のブロックを多量に含む

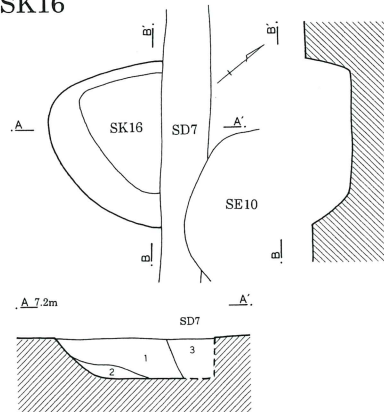
SK18



SK18

- 1 黒褐色土 灰褐色土を少量含む
- 2 暗褐色土 灰褐色土を多量に含む

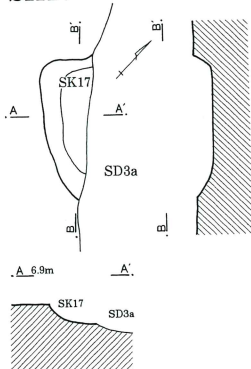
SK16



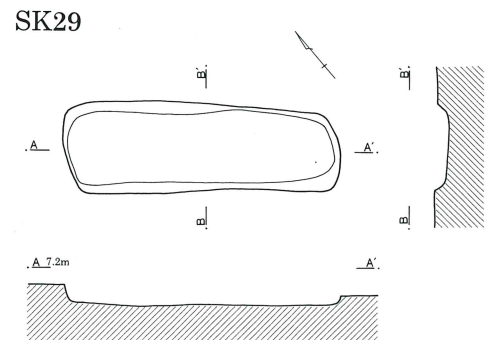
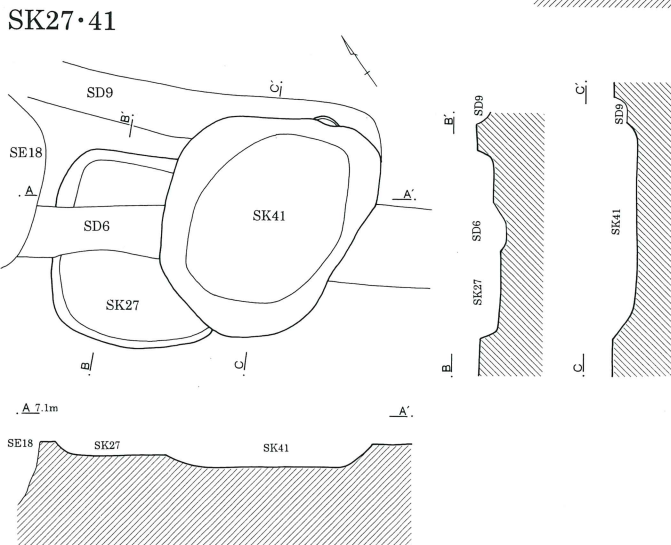
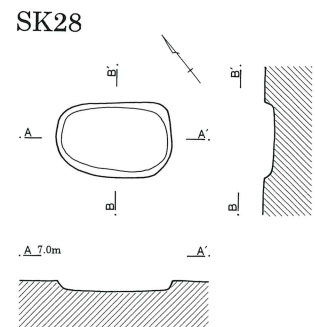
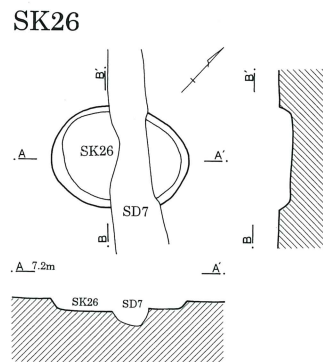
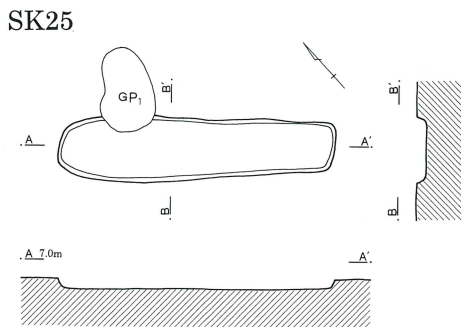
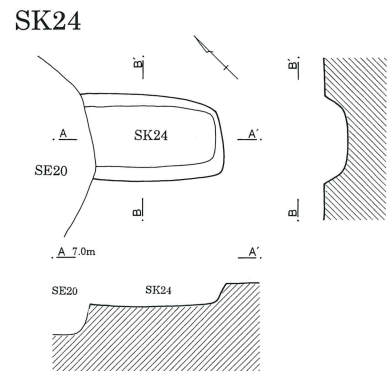
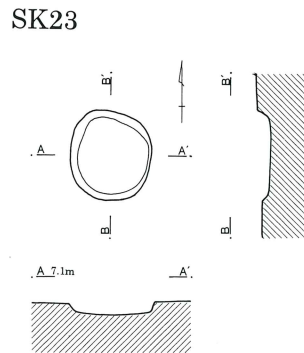
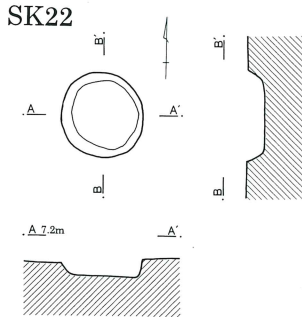
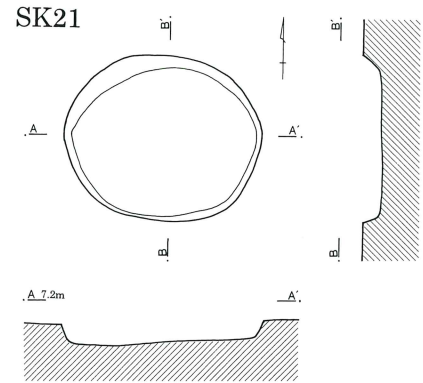
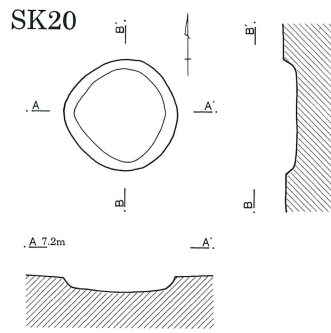
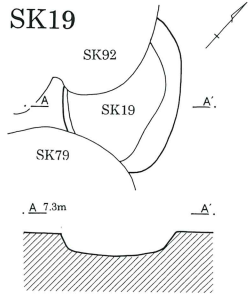
SK16

- 1 黒褐色土 灰褐色土の粒子を含む
- 2 暗褐色土 灰褐色土のブロックを多く含む
- SD7
- 3 暗褐色土 灰褐色土の粒子をごく少量含む

SK17



第66図 土壌 (2)



第67图 土壤 (3)

較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第10号土壙 (第66図)

F-8区に位置する。プランは楕円形を呈し、長径1.11m、短径0.91m、深さ0.21mを測る。底面は皿状を呈し、壁は比較的緩く立ち上がる。遺物は出土していない。

第11号土壙 (第66図)

G-8・H-8区に位置する。第7号住居跡と重複する。プランは長方形を呈し、長径1.20m、短径0.42m、深さ0.09mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第12号土壙 (第66・75図)

F-8区に位置する。プランは円形を呈し、長径1.58m、短径1.25m、深さ0.29mを測る。底面は凹凸があり、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は須恵器坏、黒色土器高台付坏、内面磨きの土師器高台付皿が出土した。

第13号土壙 (第66図)

F-7区に位置する。第14号土壙と重複するが、本土壙の方が古い。プランは円形を呈し、長径1.12m、短径1.08m、深さ0.70mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第14号土壙 (第66図)

F-7区に位置する。第13号土壙と重複するが、本土壙の方が新しい。プランは不整円形を呈し、長径1.28m、短径1.05m、深さ0.90mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第15号土壙 (第66図)

F-7区に位置する。グリッドピットのF7P4と重複する。プランは長方形に近い楕円形を呈し、長

径1.88m、短径1.11m、深さ0.48mを測る。やや凹凸があり、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第16号土壙 (第66図)

F-7区に位置する。第7号溝跡と重複している。プランは円形を呈し、長径1.32m、短径0.89m、深さ0.32mを測る。底面は皿状を呈し、壁は比較的緩やかに立ち上がる。遺物は出土していない。

第17号土壙 (第66図)

H-6区に位置する。第3号溝跡と重複している。プランは楕円形を呈し、長径1.11m、短径0.43m、深さ0.14mを測る。底面は皿状を呈し、壁は比較的緩やかに立ち上がる。遺物は出土していない。

第18号土壙 (第66図)

E-7区に位置する。東側には第13号井戸跡が隣接している。プランは円形を呈し、長径0.75m、短径0.59m、深さ0.52mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

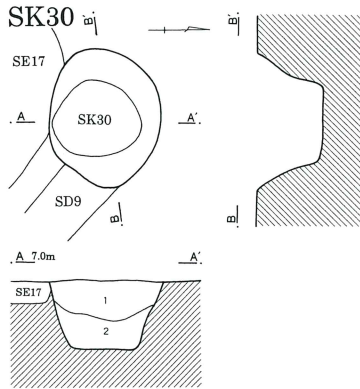
第19号土壙 (第67図)

J-3区に位置する。第79号土壙、第92号土壙と重複する。プランは楕円形を呈し、長径1.22m、短径0.91m、深さ0.17mを測る。底面は皿状を呈し、壁は比較的緩やかに立ち上がる。遺物は出土していない。

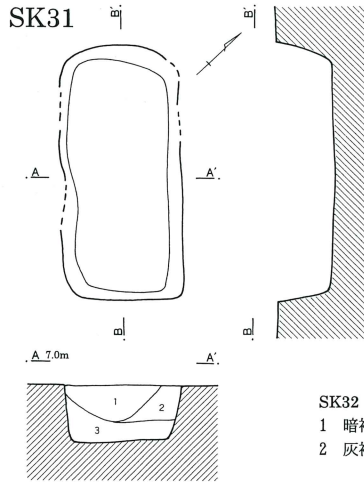
第20号土壙 (第67図)

F-7区に位置する。北側には第7号井戸跡、第8号溝跡が隣接している。プランは円形を呈し、長径0.90m、短径0.88m、深さ0.10mを測る。底面は皿状を呈し、壁は比較的緩やかに立ち上がる。遺物は出土していない。

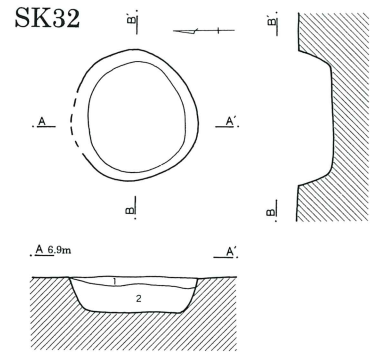
第21号土壙 (第67図)



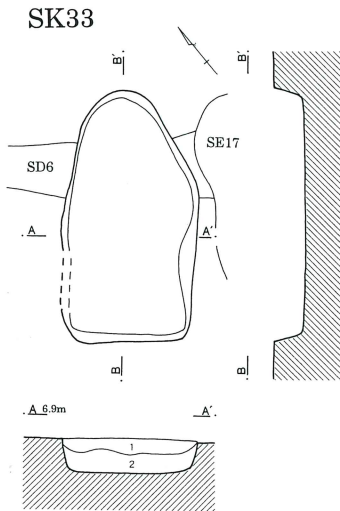
SK30
 1 暗褐色土 灰褐色土のブロックを含む
 2 暗褐色土 灰褐色土のブロック、炭化物粒子を含む



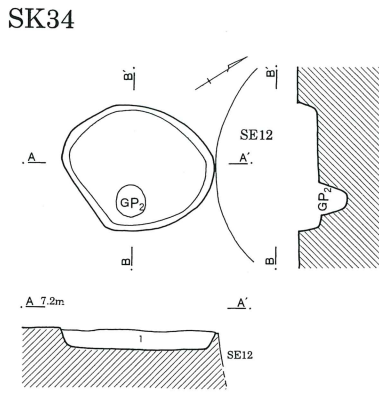
SK31
 1 暗褐色土 灰褐色土の粒子を少量含む
 2 暗褐色土 灰褐色土のブロックを含む
 3 暗褐色土 灰褐色土のブロックを多く含む



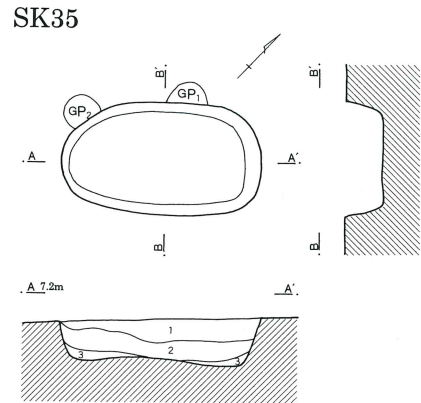
SK32
 1 暗褐色土 灰褐色土粒子を少量含む、炭化物を微量含む
 2 灰褐色土 灰褐色土ブロックを多量に含む、炭化物を微量含む



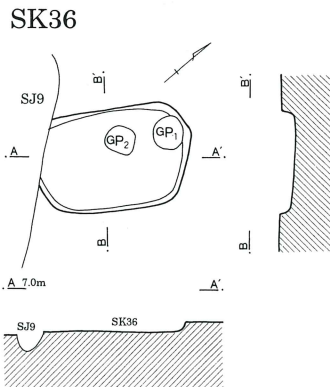
SK33
 1 暗褐色土 灰褐色土ブロックを少量含む、炭化物、焼土粒子を微量含む
 2 暗褐色土 灰褐色土ブロックを多量に含む、炭化物、焼土粒子を微量含む



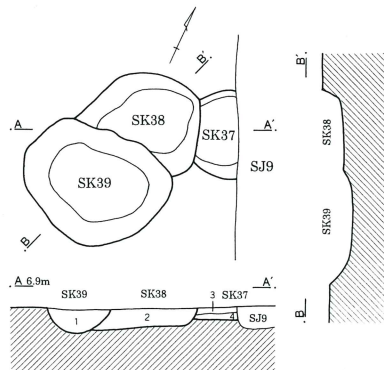
SK34
 1 暗褐色土 灰褐色土の粒子を多く含む



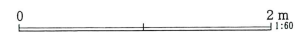
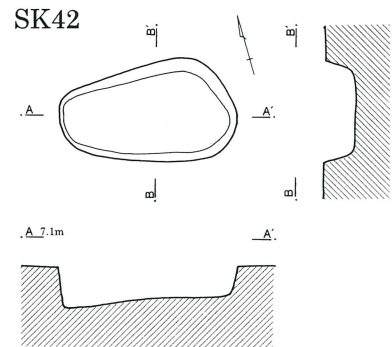
SK35
 1 暗褐色土 灰褐色土粒子を少量含む、炭化物、焼土を微量含む
 2 暗褐色土 灰褐色土ブロックを少量含む、炭化物、焼土を微量含む
 3 暗褐色土 灰褐色土ブロックを多量に含む



SK37・38・39



SK39 1 暗褐色土 灰褐色土を多く含む
SK38 2 暗褐色土 炭化物粒子、焼土粒子をごく少量含む、灰褐色土を含む
SK37 3 暗褐色土 焼土粒子、炭化物粒子を少量含む
 4 暗褐色土 灰褐色土を多く含む



第68図 土壌 (4)

E-7区に位置する。北側には第13号井戸跡、西側には第22号土壙が隣接している。プランは楕円形を呈し、長径1.58m、短径1.31m、深さ0.16mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第22号土壙（第67図）

E-7区に位置する。プランは円形を呈し、北側には第13号井戸跡、東側には第21号土壙が隣接している。プランは円形を呈し、長径0.69m、短径0.65m、深さ0.14mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第23号土壙（第67図）

E-8区に位置する。プランは円形を呈し、長径0.71m、短径0.65m、深さ0.09mを測る。底面は皿状を呈し、壁は比較的緩やかに立ち上がる。遺物は出土していない。

第24号土壙（第67図）

D-9区に位置する。第20号井戸跡と重複している。プランは長方形を呈し、長径1.05m、短径0.69m、深さ0.19mを測る。底面は皿状を呈し、壁は比較的緩やかに立ち上がる。遺物は出土していない。

第25号土壙（第67図）

D-8区に位置する。グリッドピットのD8P1と重複する。プランは長方形を呈し、長径2.18m、短径0.52m、深さ0.07mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第26号土壙（第67図）

F-7区に位置する。プランは楕円形を呈し、第7号溝跡に切られている。長径1.08m、短径0.80mで、深さ0.09mである。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第27号土壙（第67図）

E-8区に位置する。第6・9号溝跡、第41号土壙と重複する。プランは方形を呈し、長径1.50m、短径1.26m、深さ0.14mを測る。底面は皿状を呈し、壁は比較的緩やかに立ち上がる。遺物は出土していない。

第28号土壙（第67図）

D-8区に位置する。プランは長方形を呈し、長径0.90m、短径0.58m、深さ0.07mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第29号土壙（第67図）

E-8区に位置する。プランは長方形を呈し、長径2.18m、短径0.71m、深さ0.10mを測る。底面は平坦で、壁は比較的緩く立ち上がる。遺物は出土していない。

第30号土壙（第68図）

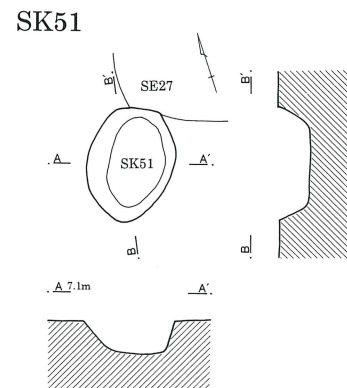
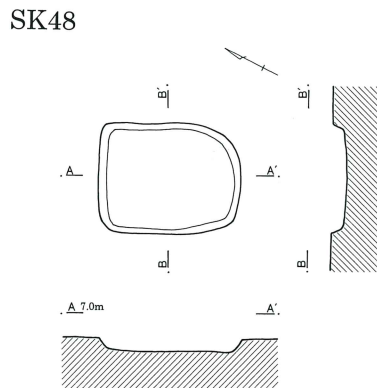
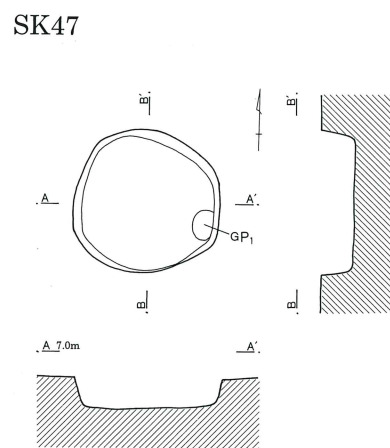
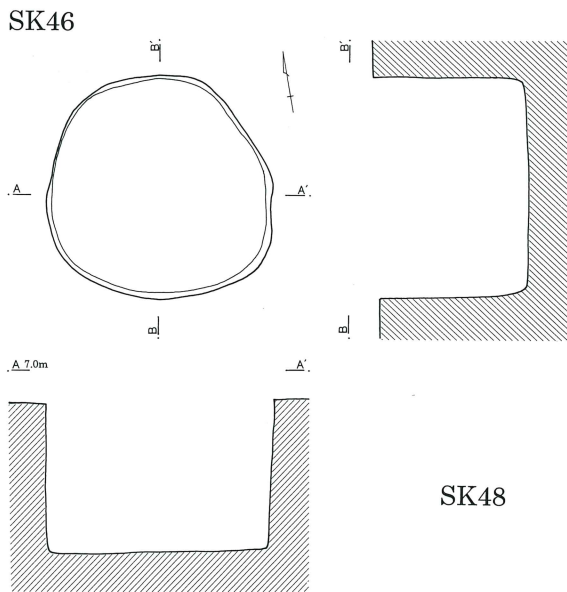
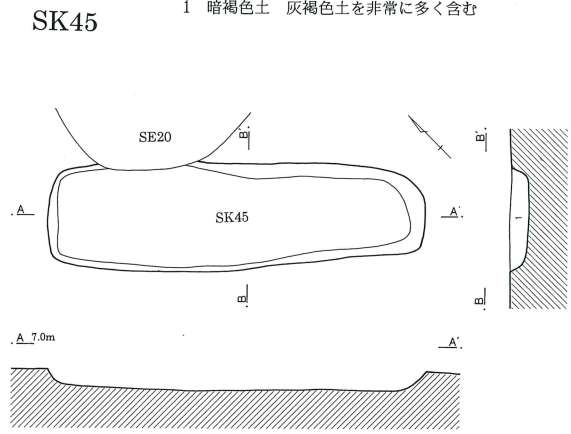
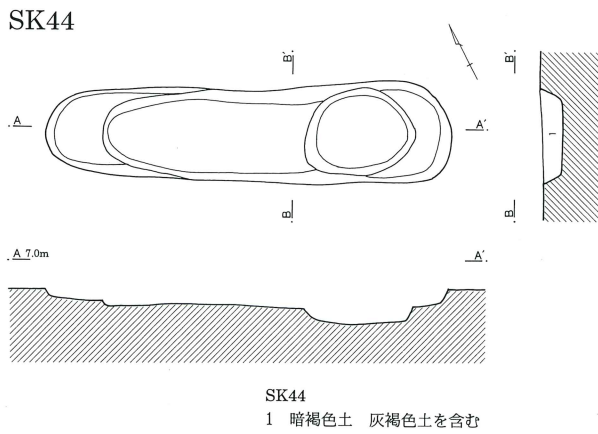
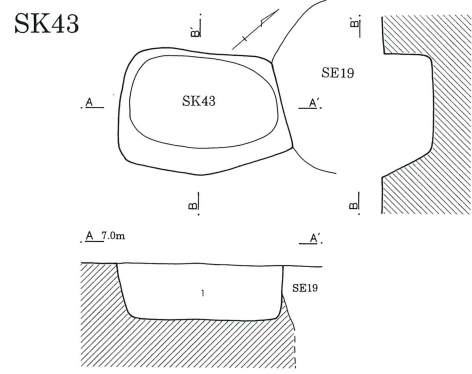
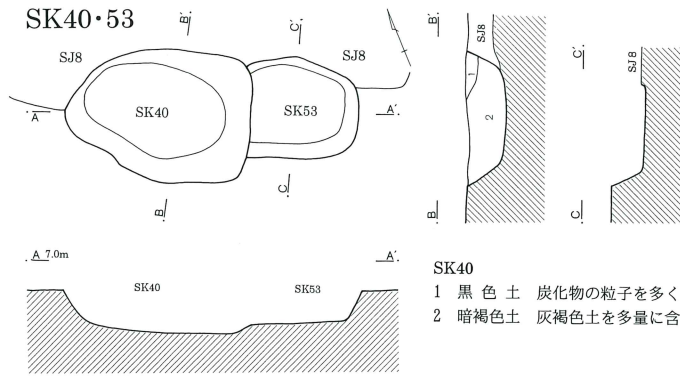
D-8区に位置する。第9号溝跡、第17号井戸跡と重複している。プランは円形を呈し、長径1.09m、短径0.89m、深さ0.54mを測る。底面は平坦で、壁は箱葉研状に開く。遺物は出土していない。

第31号土壙（第68図）

D-8区に位置する。プランは長方形を呈し、長径2.02m、短径0.97m、深さ0.45mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第32号土壙（第68図）

D-8・9区に位置する。プランは円形を呈し、長径1.04m、短径1.02m、深さ0.27mを測る。底面は平坦で、壁は比較的緩く立ち上がる。遺物は出土していない。



第69図 土壌 (5)

第33号土壙（第68図）

D-8・E-7・8区に位置する。プランは楕円形を呈し、第6号溝跡を切り、東側には第17号井戸跡が隣接している。プランは楕円形を呈し、長径1.98m、短径1.07m、深さ0.26mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第34号土壙（第68・75図）

E-7・F-7区に位置する。グリッドピットのF7P2と重複している。プランは円形を呈し、長径1.20m、短径1.99m、深さ0.14mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は須恵器坏が出土した。

第35号土壙（第68図）

E-8区に位置する。グリッドピットのE8P1、P2と重複している。プランは楕円形を呈し、長径1.59m、短径0.90m、深さ0.32mを測る。底面はやや凹凸があり、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第36号土壙（68図）

H-9・I-9区に位置する。第9号住居跡、グリッドピットのH9P1、P2と重複している。プランは楕円形を呈し、長径1.15m、短径0.81m、深さ0.10mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第37号土壙（第68図）

I-9区に位置する。第9号住居跡、第38号土壙と重複している。プランは円形を呈し、長径0.69m、短径0.34m、深さ0.13mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第38号土壙（第68図）

I-9区に位置する。第37号土壙、39号土壙と重

複している。プランは円形を呈し、長径0.90m、短径0.66m、深さ0.16mを測る。底面は平坦で、壁は比較的緩く立ち上がる。遺物は出土していない。

第39号土壙（第68図）

I-9区に位置する。第38号土壙と重複している。プランは楕円形を呈し、長径1.09m、短径0.91m、深さ0.20mを測る。底面は皿状を呈し、壁は比較的緩やかに立ち上がる。遺物は出土していない。

第40号土壙（第69図）

G-7・8区に位置する。第8号住居跡、第53号土壙と重複している。プランは楕円形を呈し、長径1.47m、短径1.04m、深さ0.30mを測る。底面は皿状を呈し、壁は比較的緩やかに立ち上がる。遺物は出土していない。

第41号土壙（第67図）

E-8区に位置する。第6・9号溝跡、第27号土壙と重複する。プランは楕円形を呈し、長径1.80m、短径1.60m、深さ0.17mを測る。底面は皿状を呈し、壁は比較的緩やかに立ち上がる。遺物は出土していない。

第42号土壙（第68・75図）

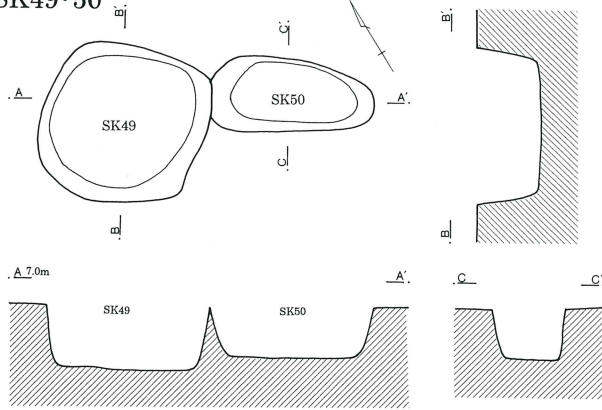
E-7区に位置する。プランは楕円形を呈し、長径1.41m、短径0.82m、深さ0.23mを測る。底面はやや凹凸があり、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は須恵器坏の底部と、甕の破片が出土した。

第43号土壙（第69図）

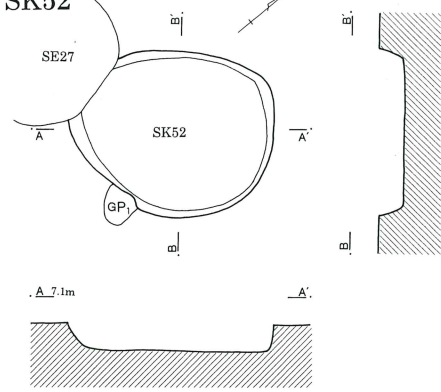
D-8区に位置する。第19号井戸跡と重複している。プランは長方形を呈し、長径1.38m、短径0.97m、深さ0.43mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第44号土壙（第69図）

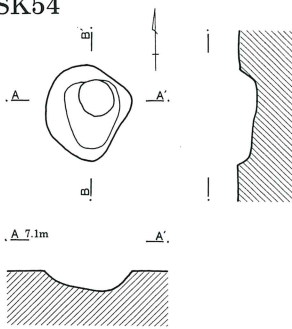
SK49・50



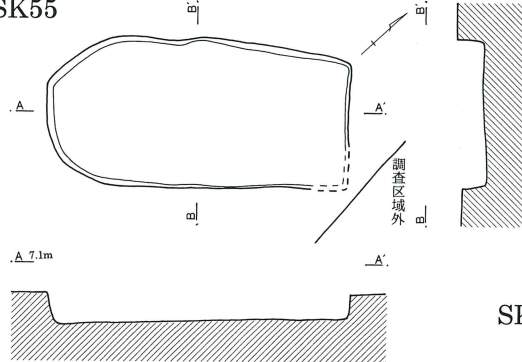
SK52



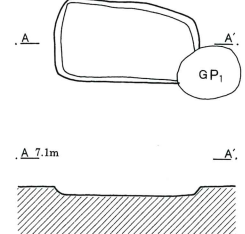
SK54



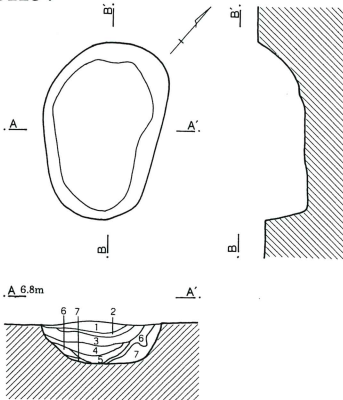
SK55



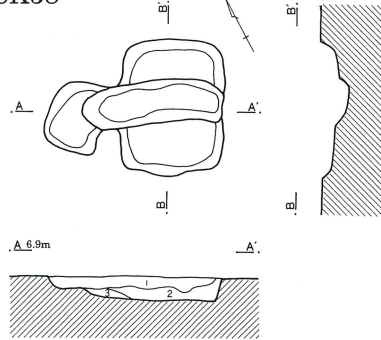
SK56



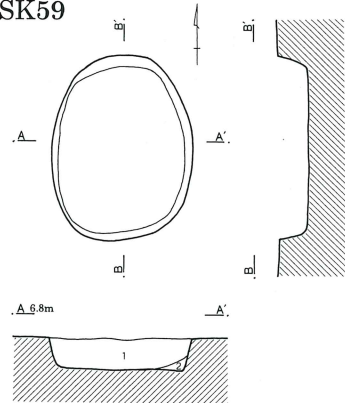
SK57



SK58



SK59



SK59

- 1 暗灰褐色土 焼土、炭化物を微量含み、粘性強く粒子細かい
- 2 灰褐色土 粘性強く粒子細かい

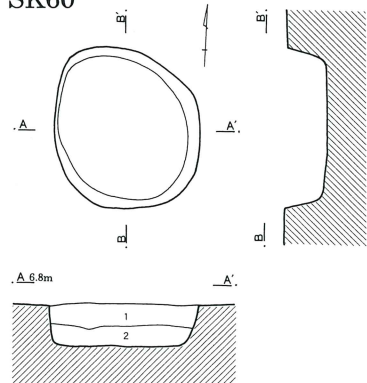
SK57

- 1 暗灰褐色土 炭化物を多く含み、粘性弱く粒子粗い
- 2 赤褐色土 焼土層で、粘性強く粒子非常に粗い
- 3 暗褐色土 炭化物層で、粘性強く粒子細かい
- 4 暗黄褐色土 黄色土のブロックを多量に含む
- 5 明赤褐色土 粒子粗く、粘性強い
- 6 黒色土 炭化物層で、粘性強く粒子粗い
- 7 暗褐色土 地山をブロック状に含む

SK58

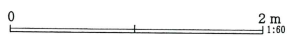
- 1 灰褐色土 焼土ブロック、炭化物粒子を微量含み、しめる
- 2 灰褐色土 炭化物を主体とし、最大5cm位の骨片と焼土ブロックを少量含む
- 3 灰褐色土 微量の炭化物、骨片、焼土ブロックを含む

SK60



SK60

- 1 暗灰褐色土 焼土、炭化物を微量含み、粘性強く粒子細かい
- 2 灰褐色土 粘性強く粒子細かい



第70図 土壌 (6)

D-8区に位置する。プランは長方形を呈し、長径3.21m、短径0.80m、深さ0.28mを測る。底面は凹凸があり、壁は比較的緩く立ち上がる。遺物は出土していない。

第45号土壙 (第69図)

D-8・9区に位置する。第20号井戸跡と重複している。プランは長方形を呈し、長径2.98m、短径0.85m、深さ0.15mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第46号土壙 (第69図)

H-7区に位置する。第10号溝跡と重複している。プランは円形を呈し、長径1.96m、短径1.78m、深さ1.20mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第47号土壙 (第69図)

G-7・H-7区に位置する。グリッドピットのG7P1と重複している。プランは円形を呈し、長径1.16m、短径1.12m、深さ0.26mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第48号土壙 (第69図)

H-8区に位置する。プランは楕円形を呈し、長径1.11m、短径0.87m、深さ0.10mを測る。底面は皿状を呈し、壁は比較的緩く立ち上がる。遺物は出土していない。

第49号土壙 (第70図)

D-8・9区に位置する。第50号土壙と重複している。プランは方形を呈し、長径1.27m、短径1.26m、深さ0.50mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第50号土壙 (第70図)

D-9区に位置する。第49号土壙と一部重複している。プランは楕円形を呈し、長径1.30m、短径0.59m、深さ0.40mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第51号土壙 (第69図)

D-7・E-7区に位置する。第27号井戸と重複している。プランは楕円形を呈し、長径0.90m、短径0.67m、深さ0.26mを測る。底面は平坦で、壁は比較的緩く立ち上がる。遺物は出土していない。

第52号土壙 (第70図)

D-7区に位置する。第27号井戸跡、グリッドピットのD7P1と重複している。プランは楕円形を呈し、長径1.62m、短径1.31m、深さ0.20mを測る。底面は平坦で、壁は比較的緩く立ち上がる。遺物は出土していない。

第53号土壙 (第69図)

G-8区に位置する。第8号住居跡、第40号土壙と重複する。プランは楕円形を呈し、長径0.87m、短径0.80m、深さ0.25mを測る。底面は平坦で、壁は比較的緩く立ち上がる。遺物は出土していない。

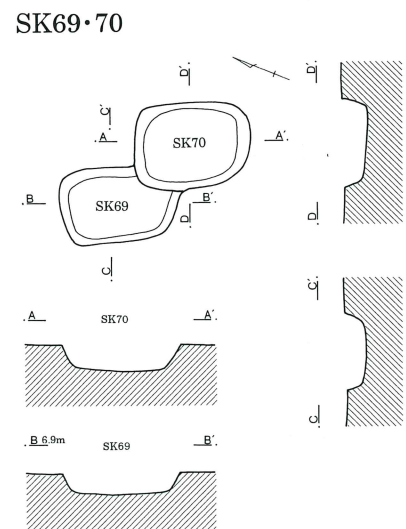
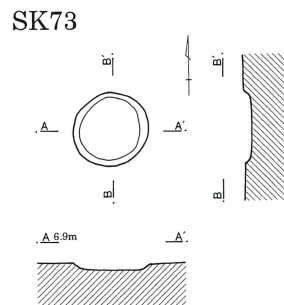
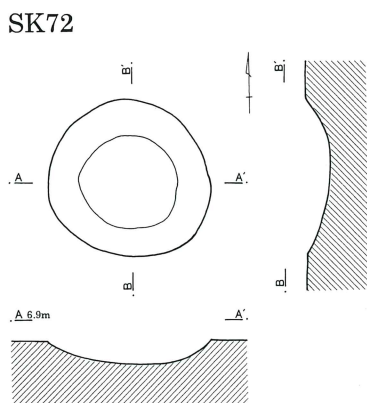
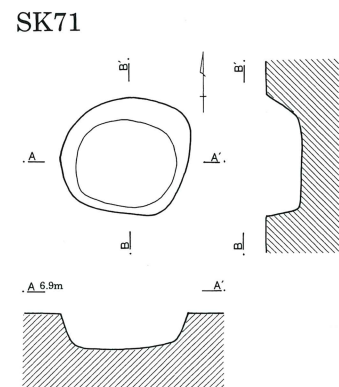
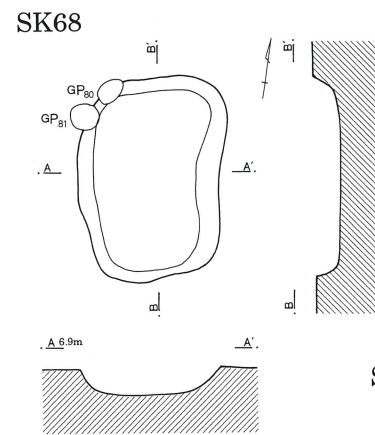
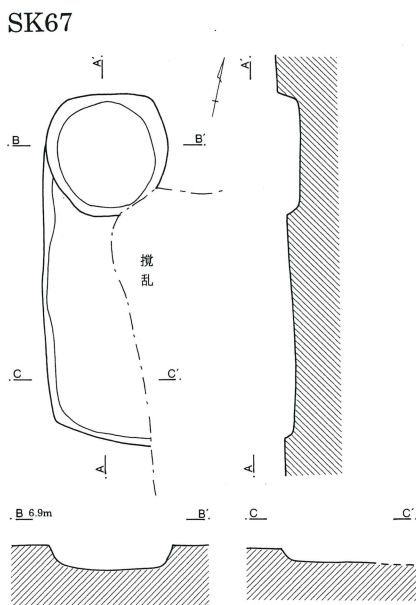
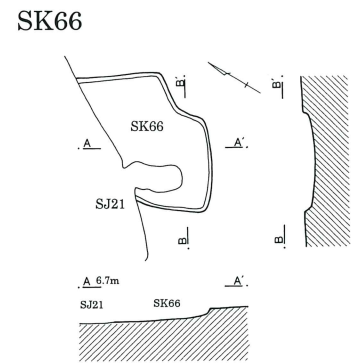
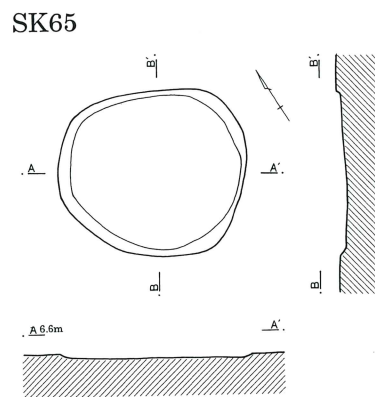
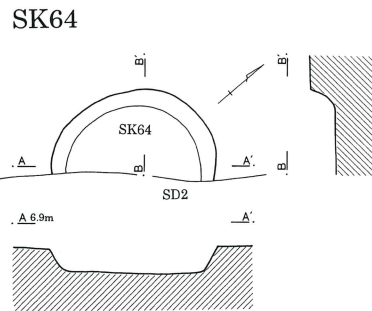
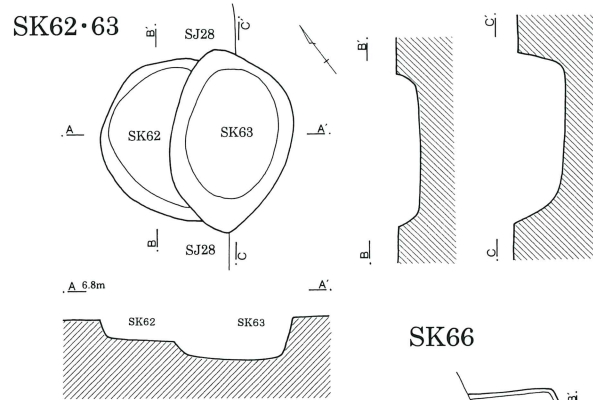
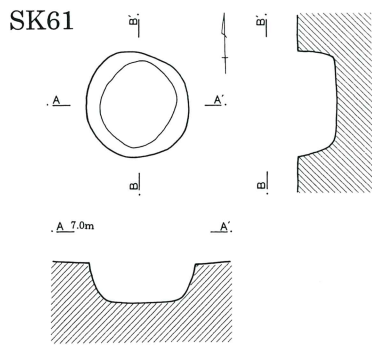
第54号土壙 (第70図)

D-7区に位置する。プランは円形を呈し、長径0.75m、短径0.67m、深さ0.14mを測る。底面は凹凸があり、壁は比較的緩やかに立ち上がる。遺物は出土していない。

第55号土壙 (第70図)

C-12区に位置する。プランは長方形を呈し、長径2.40m、短径1.16m、深さ0.23mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第56号土壙 (第70図)



第71图 土壤 (7)

C-11・12区に位置する。グリッドピットのC12 P1と重複している。プランは長方形を呈し、長径1.13m、短径0.62m、深さ0.08mを測る。底面は平坦で、壁は比較的緩やかに立ち上がる。遺物は出土していない。

第57号土壙 (第70・75図)

F-12・G-12区に位置する。プランは楕円形を呈し、長径1.38m、短径0.97m、深さ0.31mを測る。焼土、灰層を含み、火葬墓の可能性ある。底面は皿状を呈し、壁は比較的緩やかに立ち上がる。遺物は須恵器坏、土師器甕が出土した。

第58号土壙 (第70図)

I-10区に位置する。プランは不整形を呈し、長方形の土壙が縦横に重複している様である。長径1.41m、短径0.59m、深さ0.22mを測る。焼土、灰層を含み、火葬墓の可能性ある。底面は凹凸があり、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第59号土壙 (第70図)

G-12・H-12区に位置する。プランは楕円形を呈し、長径1.43m、短径1.11m、深さ0.24mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第60号土壙 (第70図)

G-12・H-12区に位置する。プランは円形を呈し、長径1.25m、短径1.16mで、深さ0.32mである。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第61号土壙 (第71図)

D-9区に位置する。第20号井戸跡と隣接する。プランは円形を呈し、長径0.84m、短径0.84m、深さ0.33mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立

ち上がる。遺物は出土していない。

第62号土壙 (第71・75図)

H-5区に位置する。第28号住居跡、第63号土壙と重複する。プランは円形を呈し、長径1.30m、短径0.58m、深さ0.16mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は土師器坏、内面磨きの土師器坏、土師器甕が出土している。

第63号土壙 (第71図)

H-5区に位置する。第28号住居跡、第62号土壙と重複している。プランは楕円形を呈し、長径1.46m、短径0.97m、深さ0.38mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第64号土壙 (第71図)

E-10・F-10区に位置する。第10号溝跡と重複している。プランは円形を呈し、長径1.34m、短径0.67m、深さ0.20mを測る。底面は平坦で、壁は比較的緩く立ち上がる。遺物は出土していない。

第65号土壙 (第71図)

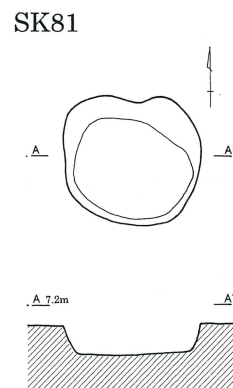
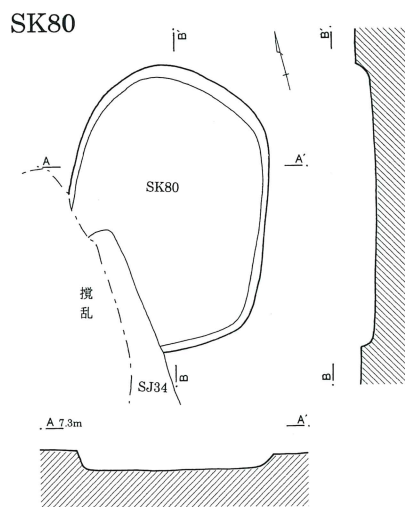
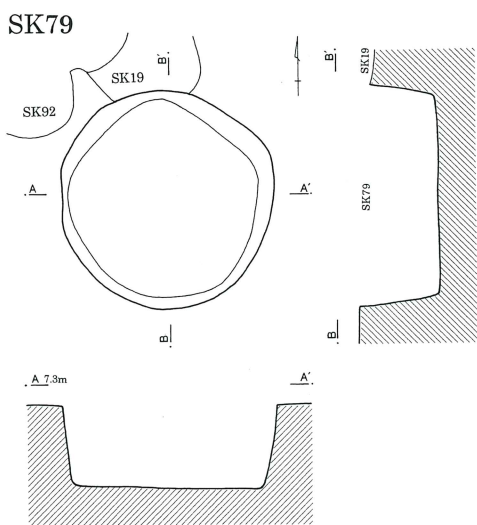
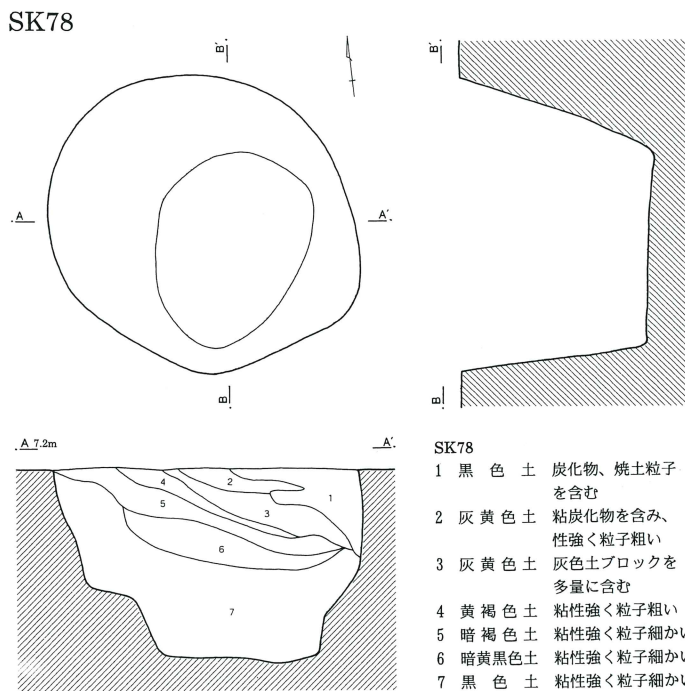
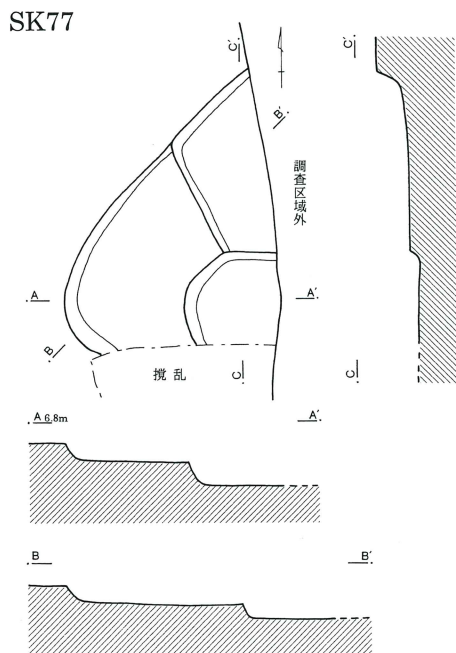
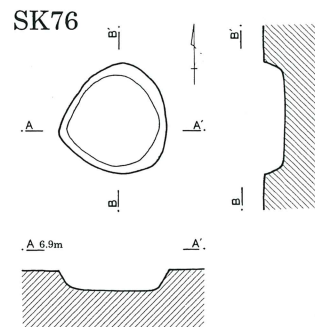
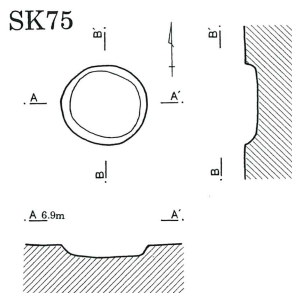
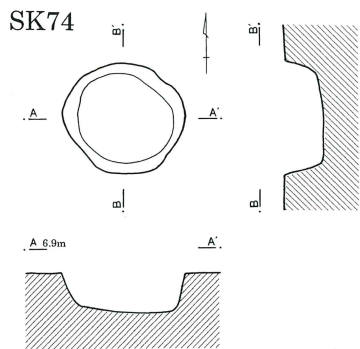
I-10・11・J-10・11区に位置する。第21号住居跡と重複している。プランは円形を呈し、長径1.52m、短径1.30m、深さ0.04mを測る。底面は皿状を呈し、壁は比較的緩やかに立ち上がる。遺物は出土していない。

第66号土壙 (第71・76図)

I-11区に位置する。第21号住居跡と重複している。プランは不整形を呈し、長径1.07m、短径0.82mで、深さ0.08mである。底面は皿状を呈し、壁は比較的緩やかに立ち上がる。遺物は土師器甕のほぼ完形品が2個体出土した。

第67号土壙 (第71図)

H-11区に位置する。攪乱を受けているがプラン



0 2 m
1:50

第72図 土壌 (8)

は長方形を呈し、長径2.80m、短径0.99m、深さ0.18mを測る。底面は凹凸が存在し、壁は比較的緩く立ち上がる。遺物は土師器甕・台付甕の口縁部破片が出土した。

第68号土壙（第71図）

I-10区に位置する。グリッドピットのI10P80・81と重複している。プランは長方形を呈し、長径1.63m、短径1.16m、深さ0.20mを測る。底面は皿状を呈し、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第69号土壙（第71・76図）

J-8区に位置する。第70号土壙と重複している。プランは長方形を呈し、長径0.96m、短径0.61m、深さ0.16mを測る。遺物は土師器甕の口縁部破片が出土した。

第70号土壙（第71図）

J-8区に位置する。プランは長方形を呈し、第69号土壙を切っている。長径0.96m、短径0.70m、深さ0.20mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第71号土壙（第71・76図）

G-10区に位置する。プランは円形を呈し、長径1.03m、短径0.95m、深さ0.28mを測る。底面は平坦で、壁は比較的緩く立ち上がる。遺物は須恵器杯の底部と、図化していないが、須恵器甕の底部破片が出土した。

第72号土壙（第71・76図）

G-10区に位置する。プランは円形を呈し、長径1.30m、短径1.25m、深さ0.17mを測る。底面は皿状を呈し、壁は緩やかに直に立ち上がる。遺物は須恵器皿が出土した。

第73号土壙（第71図）

G-10区に位置する。プランは円形を呈し、長径0.60m、短径0.59m、深さ0.05mを測る。底面は平坦で、壁は比較的緩く立ち上がる。遺物は出土していない。

第74号土壙（第72図）

G-10区に位置する。プランは円形を呈し、長径0.98m、短径0.90m、深さ0.32mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第75号土壙（第72図）

G-10区に位置する。プランは円形を呈し、長径0.68m、短径0.64m、深さ0.09mを測る。底面は平坦で、壁は比較的緩く立ち上がる。遺物は出土していない。

第76号土壙（第72図）

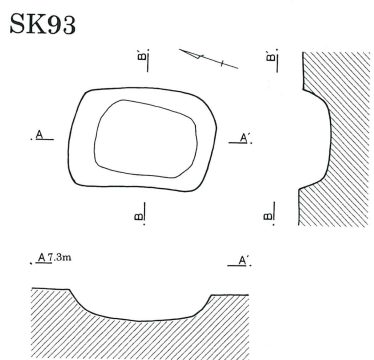
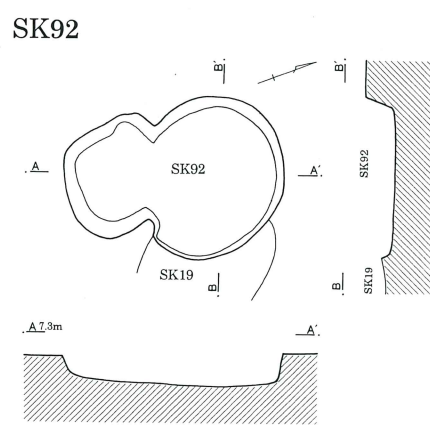
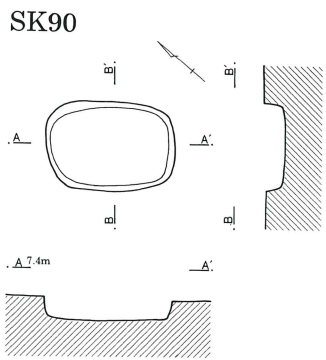
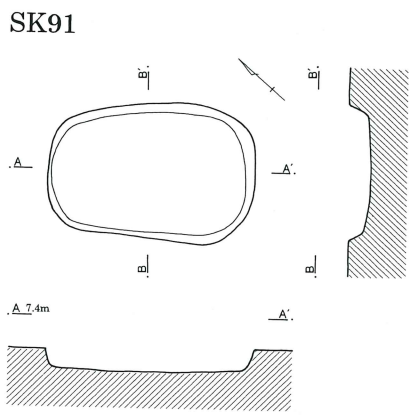
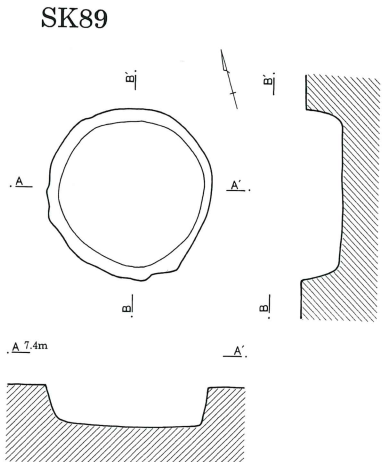
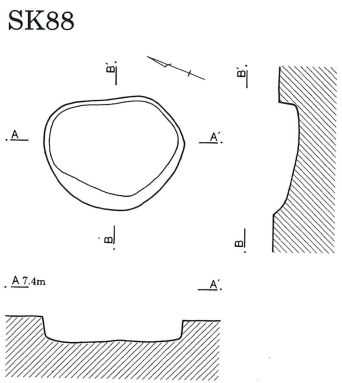
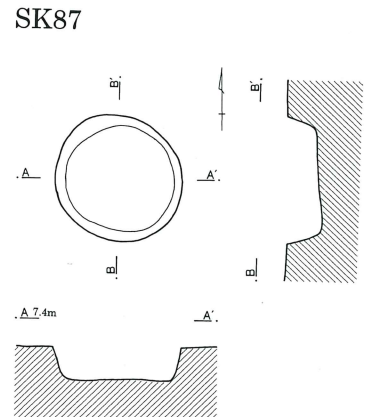
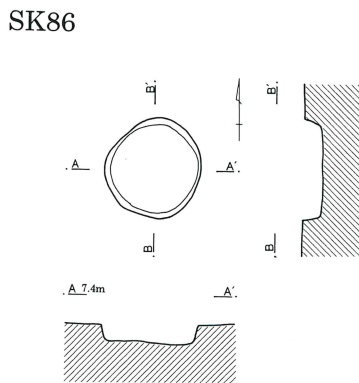
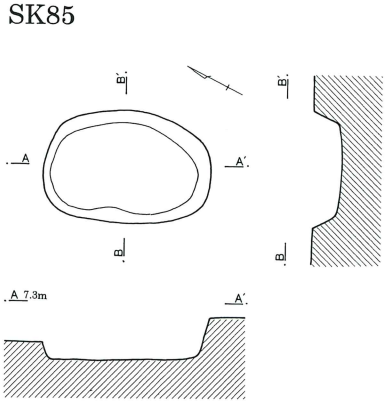
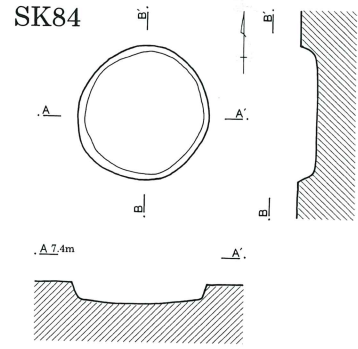
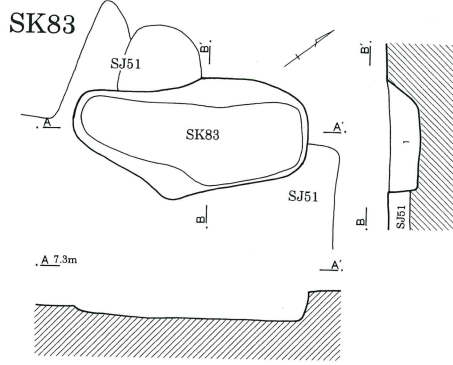
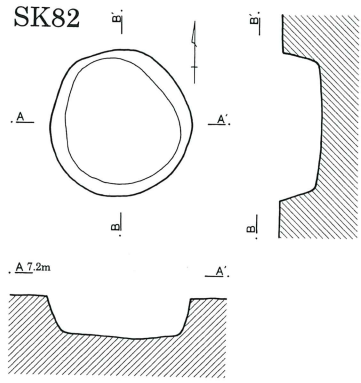
F-11区に位置する。第11号溝跡と重複している。プランは円形を呈し、長径0.89m、短径0.87m、深さ0.16mを測る。底面は平坦で、壁は比較的緩く立ち上がる。遺物は出土していない。

第77号土壙（第72・76図）

F-12区に位置する。調査区外に大半がかかり、プランは不明瞭である。長径2.20m、短径1.73m、深さ0.24mを測る。底面は凹凸を持ち、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は須恵器杯と土師器甕の口縁部破片が出土した。

第78号土壙（第72図）

J-4区に位置する。東側には第31号住居跡が隣接する。プランは円形を呈し、長径2.65m、短径2.28m、深さ1.58mを測る。底面は凹凸があり、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。



2第73図 土壙 (9)

第79号土壙（第72図）

J-3区に位置する。第19号土壙と重複し、東側には第41号住居跡が隣接する。プランは円形を呈し、長径1.77m、短径1.71m、深さ0.68mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第80号土壙（第72図）

K-2区に位置する。第34号住居跡と重複し、一部に攪乱を受けている。プランは楕円形を呈し、長径2.31m、短径1.59m、深さ0.13mを測る。底面は平坦で、壁は比較的緩く立ち上がる。遺物は出土していない。

第81号土壙（第72図）

K-4区に位置する。西側には第33号住居跡が隣接する。プランは円形を呈し、長径1.10m、短径1.03m、深さ0.23mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第82号土壙（第73図）

K-4区に位置する。西側には第33号住居跡が隣接する。プランは円形を呈し、長径1.16m、短径1.11m、深さ0.31mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第83号土壙（第73・76図）

J-3区に位置する。第51号住居跡のカマド部分と重複し、東には第45号井戸跡、南には第46号井戸跡が隣接する。プランは楕円形を呈し、長径1.83m、短径0.88m、深さ0.25mを測る。底面は平坦で、壁は比較的緩く立ち上がる。遺物は須恵器坏が出土した。

第84号土壙（第73図）

J-3区に位置する。第85号土壙と隣接する。プランは円形を呈し、長径1.05m、短径1.04m、深さ

0.14mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第85号土壙（第73図）

J-3区に位置する。第84号土壙と隣接する。プランは楕円形を呈し、長径1.31m、短径0.87m、深さ0.23mを測る。底面は平坦で、壁は比較的緩く立ち上がる。遺物は出土していない。

第86号土壙（第73図）

J-3区に位置する。プランは円形を呈し、長径0.78m、短径0.76m、深さ0.15mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第87号土壙（第73図）

J-3区に位置する。プランは円形を呈し、長径0.98m、短径0.98m、深さ0.26mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第88号土壙（第73図）

J-3区に位置する。プランは円形を呈し、長径1.09m、短径0.87m、深さ0.18mを測る。底面は凹凸があり、壁は比較的緩く立ち上がる。遺物は出土していない。

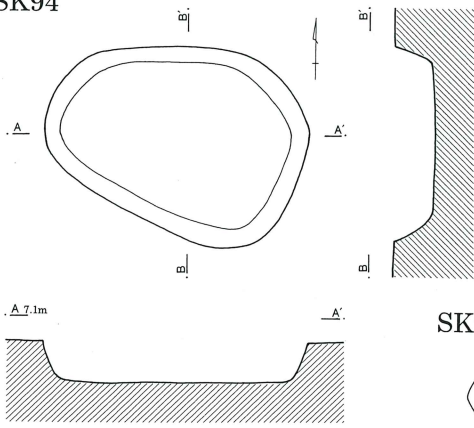
第89号土壙（第73図）

J-2区に位置する。プランは円形を呈し、長径1.33m、短径1.28m、深さ0.30mを測る。遺物は出土していない。

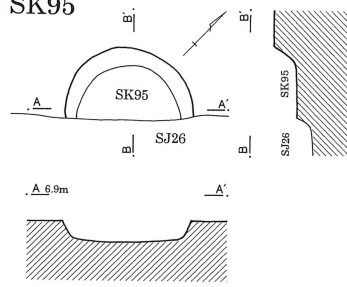
第90号土壙（第73図）

J-2区に位置する。プランは長方形を呈し、長径0.99m、短径0.68m、深さ0.16mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

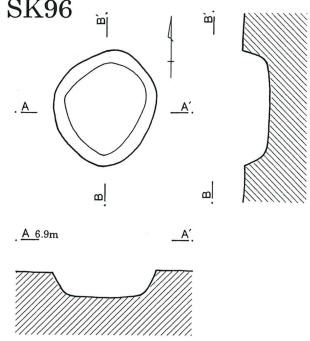
SK94



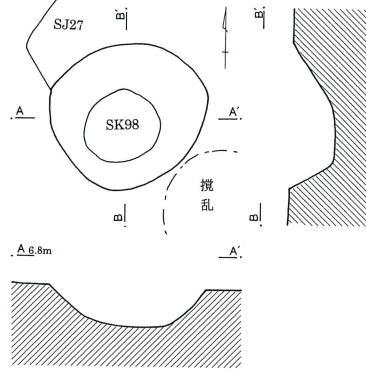
SK95



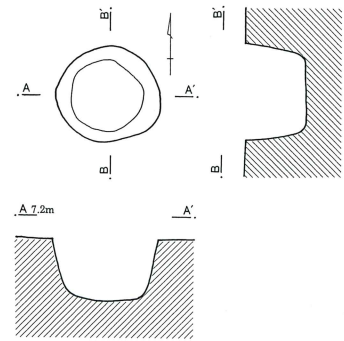
SK96



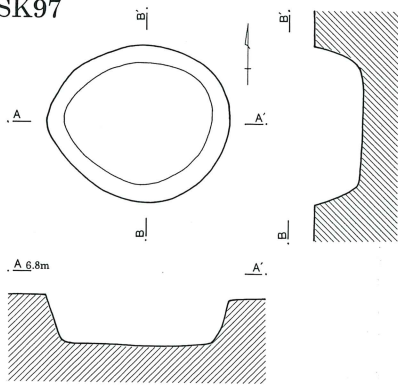
SK98



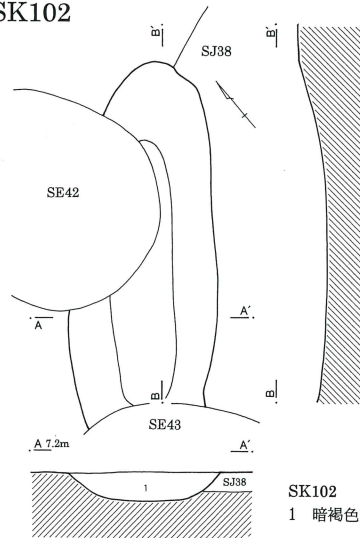
SK100



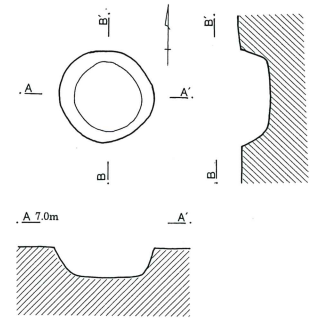
SK97



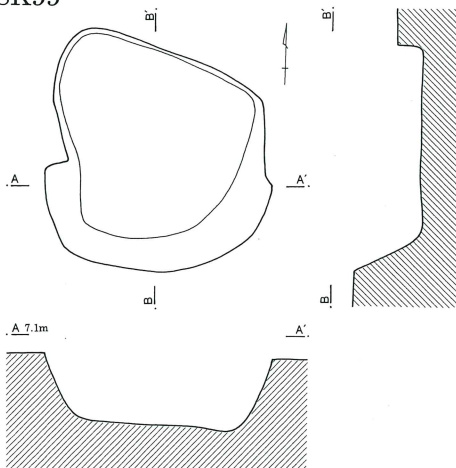
SK102



SK103



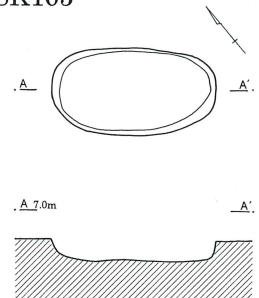
SK99



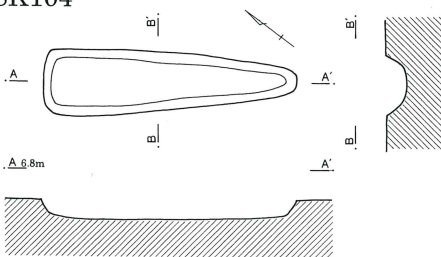
SK102

1 暗褐色土 灰褐色土を多く含み、炭化物、焼土粒子を含む

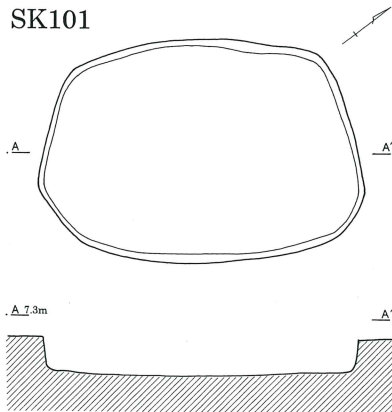
SK105



SK104



SK101



第74図 土壌 (10)

第91号土壙（第73図）

J-2区に位置する。プランは長方形を呈し、長径1.64m、短径1.08m、深さ0.17mを測る。底面は平坦で、壁は比較的緩く立ち上がる。遺物は出土していない。

第92号土壙（第73図）

J-3区に位置する。第19号土壙と重複している。プランは不整形を呈し、長径1.73m、短径0.95m、深さ0.23mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第93号土壙（第73図）

J-3・K-3区に位置する。プランは長方形を呈し、長径1.12m、短径0.77m、深さ0.23mを測る。底面は皿状を呈し、壁は比較的緩く立ち上がる。遺物は出土していない。

第94号土壙（第74・76図）

E-5・F-5区に位置する。プランは楕円形を呈し、長径2.11m、短径1.57m、深さ0.32mを測る。底面は平坦で、壁は比較的緩く立ち上がる。遺物は瓦質の鉢が出土した。中世の所産と思われる。

第95号土壙（第74図）

G-6区に位置する。第26号住居跡と重複している。プランは円形を呈し、長径1.02m、短径0.57m、深さ0.17mを測る。底面は平坦で、壁は比較的緩く立ち上がる。遺物は出土していない。

第96号土壙（第74図）

H-5区に位置する。第28号住居跡が隣接している。プランは円形を呈し、長径0.92m、短径0.82m、深さ0.20mを測る。底面は平坦で、壁は比較的緩く立ち上がる。遺物は出土していない。

第97号土壙（第74図）

H-5区に位置する。プランは円形を呈し、長径1.45m、短径1.25m、深さ0.38mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第98号土壙（第74図）

H-5・6区に位置する。プランは円形を呈し、第27号住居跡を切っている。長径1.22m、短径1.10mで、深さ0.34mである。遺物は出土していない。

第99号土壙（第74・76図）

I-6区に位置する。西側には第47号住居跡、南側には第48号住居跡が隣接している。プランは不整形を呈し、長径1.87m、短径1.81m、深さ0.57mを測る。やや凹凸があり、壁は比較的緩く立ち上がる。遺物は須恵器坏、須恵器高台付付盤、須恵器甕、須恵器甗が出土した。

第100号土壙（第74図）

K-4区に位置する。プランは円形を呈し、長径0.84m、短径0.66m、深さ0.48mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第101号土壙（第74図）

J-2・K-2区に位置する。南側には第45号住居跡が隣接している。プランは楕円形を呈し、長径2.60m、短径1.77m、深さ0.40mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

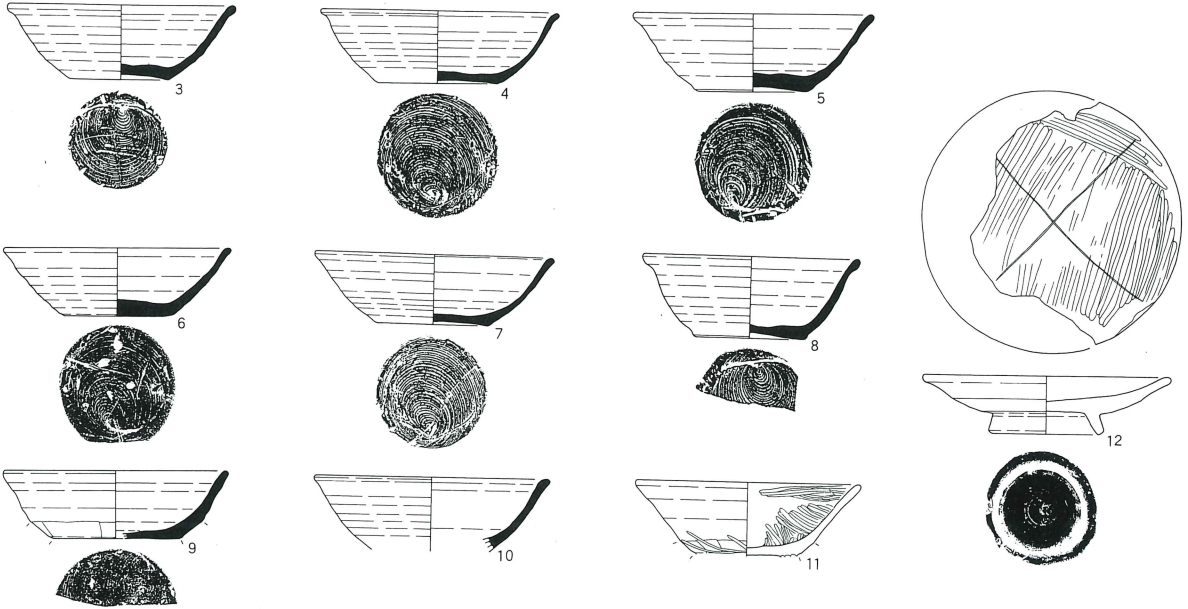
第102号土壙（第74図）

K-3区に位置する。第38号住居跡、第42号井戸跡、第43号井戸跡と重複している。プランは楕円形を呈し、長径2.70m、短径1.18m、深さ0.22mを測る。底面は皿状を呈し、壁は比較的緩く立ち上がる。遺物は出土していない。

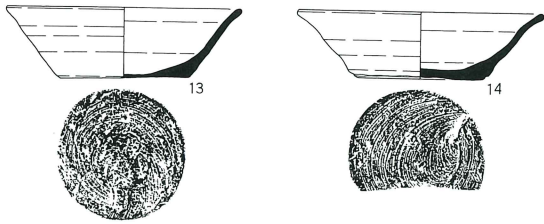
SK1



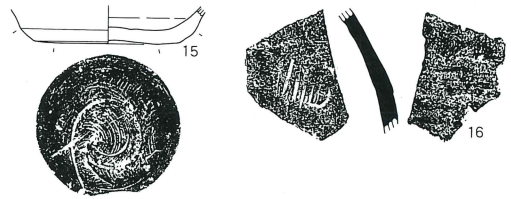
SK12



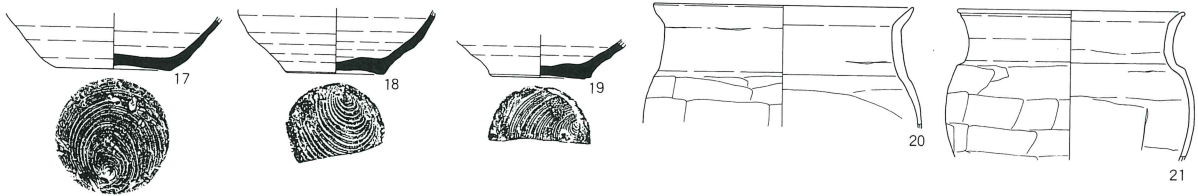
SK34



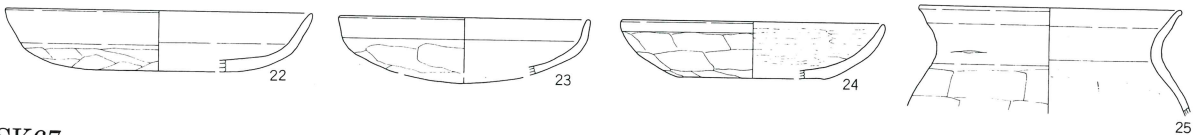
SK42



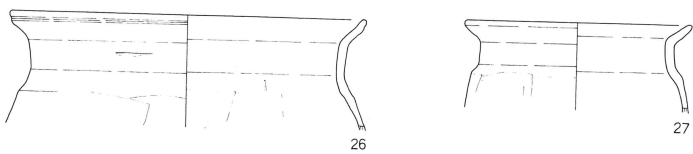
SK57



SK62

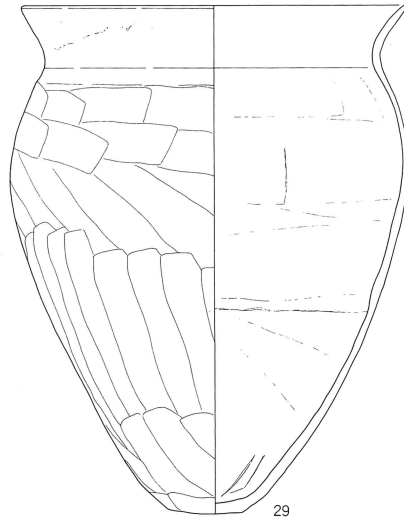
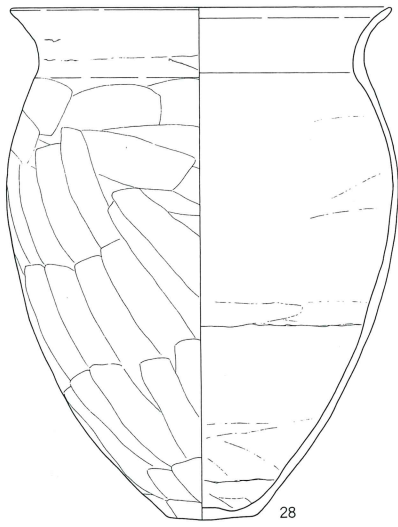


SK67

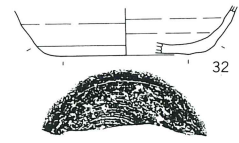


第75図 土壙出土遺物 (1)

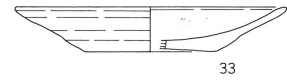
SK66



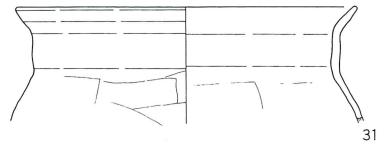
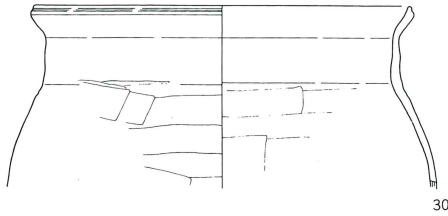
SK71



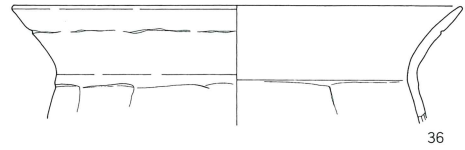
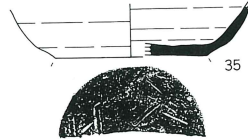
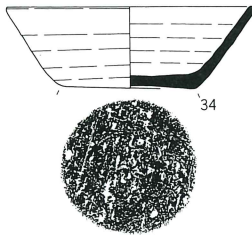
SK72



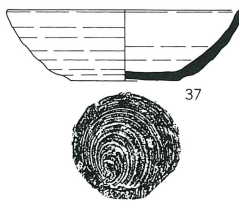
SK69



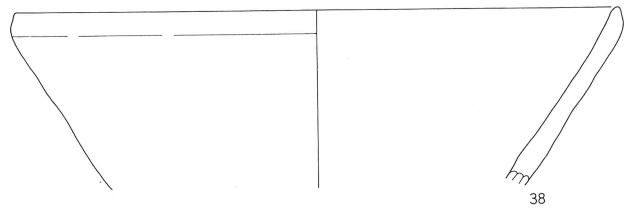
SK77



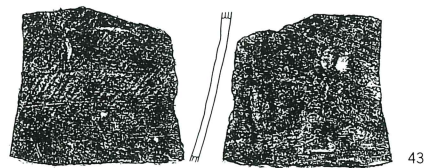
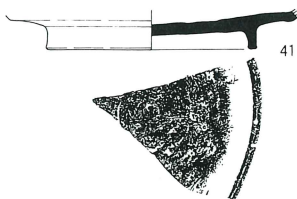
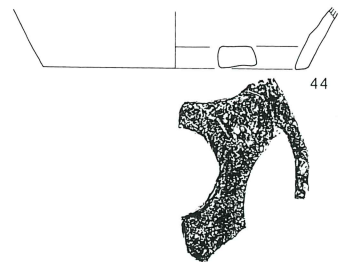
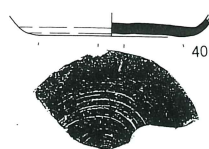
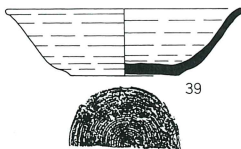
SK83



SK94



SK99



第76図 土壙出土遺物(2)

土壌出土遺物観察表 (第75図・第76図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	備考	写真図版
S K 1										
1	皿	(13.3)	(1.7)	—	針	普通	灰白	20	南比企窯	
2	椀	(16.0)	(5.0)	—		良好	褐灰	20	下総地方 内黒・ミガキ	
S K 12										
3	坏	(12.3)	4.0	5.3		良好	青灰	40	東金子窯	36-9
4	坏	12.9	3.8	6.5	針	普通	褐灰	85	南比企窯	38-1
5	坏	(13.0)	4.1	6.0		良好	灰白	40	東金子窯	40-9
6	坏	(12.3)	3.6	5.8	針	普通	灰白	40	南比企窯	38-3
7	坏	(13.0)	3.7	6.0	針	普通	褐灰	35	南比企窯	38-2
8	坏	(11.7)	4.3	6.0	針	良好	青灰	20	南比企窯	
9	坏	(12.1)	3.7	(6.9)		普通	灰白	30	常陸産	36-10
10	坏	(12.7)	(4.0)	—	片	普通	青灰	25	末野窯	
11	高台付坏	(12.1)	(4.0)	—	角雲	良好	褐灰	40	下総地方 内黒・ミガキ 高台部欠損	42-7
12	高台付皿	13.4	3.1	6.2	雲	良好	褐灰	75	下総地方 内面ミガキ ヘラ記号「×」	43-10
S K 34										
13	坏	12.7	3.7	7.0	片	普通	青灰	100	末野窯	38-9
14	坏	(13.3)	3.6	6.8	片	普通	青灰	40	末野窯 口縁部歪みが大きい	38-10
S K 42										
15	坏	—	(2.1)	7.9	雲	普通	褐灰	90	下総地方	
16	甕	—	—	—	片	普通	褐灰	破片	末野窯	
S K 57										
17	坏	—	(3.0)	6.1	針	普通	灰白	70	南比企窯	
18	坏	—	(3.5)	5.3		不良	灰白	40	東金子窯	
19	坏	—	(2.3)	5.4		普通	灰白	50	東金子窯	
20	甕	(14.0)	(6.5)	—	角	普通	褐	25	利根川水系の土	
21	甕	(12.2)	(8.0)	—	角	普通	褐	75	利根川水系の土	
S K 62										
22	坏	(16.6)	(3.2)	—	角	普通	明褐	20	利根川水系の土	
23	坏	(13.6)	(3.0)	—	角	普通	明褐	25	利根川水系の土	
24	坏	(14.2)	3.0	(7.7)	角	不良	明褐	25	利根川水系の土 内面ミガキ	
25	甕	(14.2)	(5.7)	—	角	不良	褐	破片	利根川水系の土	
S K 67										
26	甕	(19.2)	(6.0)	—	角雲	普通	褐	破片	利根川水系の土	
27	台付甕	(12.2)	(4.7)	—	角	不良	褐	破片	利根川水系の土	
S K 66										
28	甕	20.2	27.1	4.6	角	普通	明褐	95	利根川水系の土	31-5
29	甕	20.4	26.9	3.9	角	普通	褐	70	利根川水系の土	31-6
S K 69										
30	甕	(20.2)	(9.7)	—	角雲	普通	褐	破片	利根川水系の土	
31	甕	(18.1)	(6.2)	—	角雲	不良	褐	破片	利根川水系の土	
S K 71										
32	坏	—	(2.5)	(6.7)	角	普通	褐灰	45	下総地方	
S K 72										
33	皿	(14.4)	2.4	(7.0)	角	普通	明褐	35	下総地方	
S K 77										
34	坏	13.2	4.2	7.2	雲	普通	褐灰	70	新治窯	39-6
35	坏	—	(2.8)	(8.0)		普通	灰白	40	常陸産	
36	甕	(23.8)	(6.3)	—	角	普通	褐	破片	利根川水系の土	

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	備考	写真図版
S K 83										
37	坏	(12.6)	3.7	5.7	針	普通	灰白	40	南比企窯	38-4
S K 94 坏										
38	鉢	(32.1)	(9.4)	—	雲	不良	褐灰	破片		
S K 99 坏										
39	坏	(12.6)	3.5	5.7	針	普通	灰白	45	南比企窯	38-5
40	坏	—	(1.2)	(7.7)		普通	灰白	35	常陸産	
41	高台付盤	—	(2.1)	(11.2)		普通	青灰	25	三和窯	
42	甕	—	—	—	針	良好	褐灰	破片	南比企窯	
43	甕	—	—	—	角	普通	褐灰	破片	下総地方	
44	甌	—	(3.0)	(14.0)	角	良好	褐灰	25	下総地方	

ピット出土遺物観察表 (第85図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	備考	写真図版
J 5・P 9										
43	短刀	残存長31.5、刃幅2.5、背幅0.5cm						木もしくは竹製の目釘及び柄木残存		46-1

第103号土壇 (第74図)

J-3区に位置する。第41号住居跡、第41号井戸跡、第79・93号土壇が隣接している。プランは円形を呈し、長径0.78m、短径0.75m、深さ0.22mを測る。遺物は出土していない。

第104号土壇 (第74図)

I-6区に位置する。プランは不整形を呈し、長径2.03m、短径0.55m、深さ0.16mを測る。底面は

皿状を呈し、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

第105号土壇 (第74図)

J-10区に位置する。プランは楕円形を呈し、長径1.30m、短径0.69m、深さ0.16mを測る。底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。遺物は出土していない。

3. 井戸跡

本遺跡から検出された井戸跡は、55基を数える。重複関係及び遺物の伴出から、大半は古代ではなく、中世以降の所産と把握される。古代の遺物が出土した井戸は、古代所産の可能性も高いが、古代の住居跡と重複している場合も多く、遺物の混入と捉えられる可能性もある。

また、これ等の井戸跡は、分布に特徴が見られる。最も多く分布する地域は、大きく見ると第1号溝、第2号溝、第3号溝に囲まれた方形の区画内である。また、第3号溝より南西側においても、住居跡と混在しながらも、小さなまとまりが見られる。さらに、第2号溝と第3号溝に囲まれた、調査区南東区画内では、攪乱も受けて不明な点も多いが、井戸跡は1基のみしか確認されていない。

井戸跡を土壙として認識している可能性もあるが、地区による偏りも見られ、溝区画との関係も強いものと思われる。

第1号井戸（第77図）

F-7区に位置する。グリッドピットのF-7P3と重複している。北東側に第7号溝が隣接する。プランは円形を呈し、断面形は開口部がやや開くロート状を呈する。長径1.80m、短径1.60mで、深さは1.66mまでを調査した。遺物は出土していない。

第2号井戸（第78図）

G-9区に位置する。第10・13号溝と一部重複している。プランは円形を呈し、断面形は開口部の開く逆台形状を呈する。長径1.62m、短径1.53mで、深さは1.18mまでを調査した。井戸としては深度が浅いものの、この深さで湧水があり、天水の溜水用としての機能も想定される。もしくは、底部を未掘の可能性もある。遺物は出土していない。

第3号井戸（第77図）

F-8区に位置する。グリッドピットのF8P3と

重複し、北側に第23号住居跡が、南側に第12号土壙が隣接する。プランは円形を呈し、断面形は開口部の開く逆台形状を呈する。長径1.34m、短径1.29mで、深さは0.95mを測る。井戸としては深度が浅いものの、この深さで湧水があり、天水の溜水用としての機能も想定される。もしくは、底部を未掘の可能性もある。遺物は出土していない。

第4号井戸（第77図）

F-7区に位置する。北側に第34号土壙、東側に第13・14号土壙が隣接する。プランは円形を呈し、断面形は開口部がやや開くが、ほぼ円筒状を呈する。長径2.10m、短径1.34mで、深さは1.87mまでを調査した。遺物は出土していない。

第5号井戸（第77図）

F-7区に位置する。第8号溝と重複しており、溝の方が古い。プランは円形を呈し、断面形は開口部が緩く開くロート状を呈する。長径1.32m、短径1.21mで、深さは1.60mまでを調査した。遺物は出土していない。

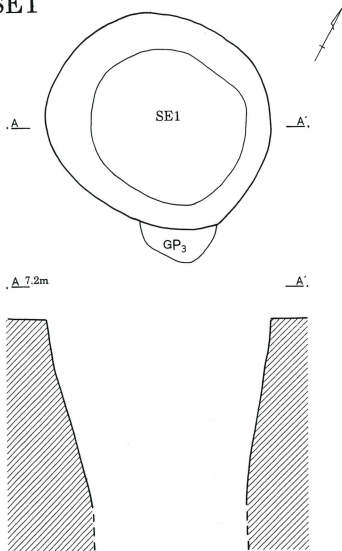
第6号井戸（第77図）

F-8・G-8区に位置する。第7号溝と重複するが、本井戸の方が新しい。プランは楕円形を呈し、断面形は円筒状を呈する。土層の観察から、井戸の掘り直し、もしくは重複であることが判明した。長径2.67m、短径1.72mで、深さは1.35mまでを調査した。遺物は出土していない。

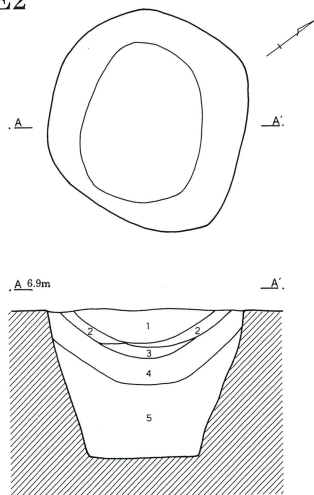
第7号井戸（第78図）

F-6・7区に位置する。第8号溝と重複するが、本井戸の方が新しい。北側に第53号井戸、南側に第20号土壙が隣接する。プランは円形で、断面形は開口部がやや開くロート状を呈する。長径1.93m、短径1.75mで、深さは1.42mまでを調査した。遺物は

SE1

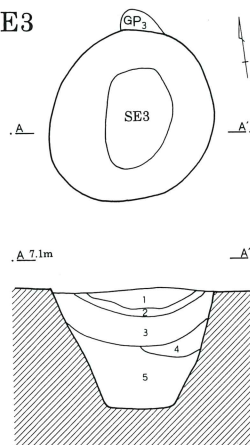


SE2



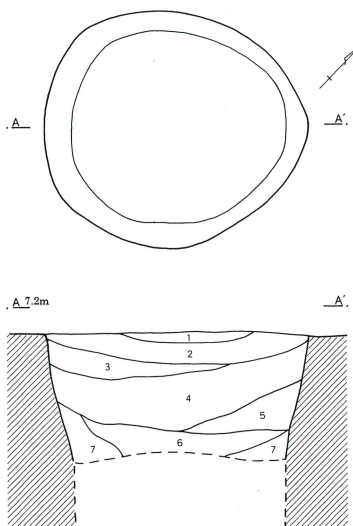
- SE2
- 1 暗褐色土 灰褐色土を含む
 - 2 黒褐色土 灰褐色土粒子をごく少量含む
 - 3 暗褐色土 灰褐色土ブロックを多量に含む
 - 4 暗褐色土 2層よりやや暗い色調
 - 5 黒褐色土 灰褐色土ブロックを含む

SE3



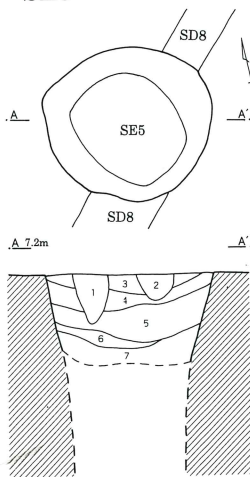
- SE3
- 1 暗褐色土 灰褐色土粒子を少量含む
 - 2 暗褐色土 灰褐色土ブロックを多量に含む
 - 3 暗褐色土 灰褐色土ブロックを少量含む
 - 4 暗褐色土 8cm前後の大形の灰褐色土を含む
 - 5 暗褐色土 灰褐色土ブロックを含む

SE4



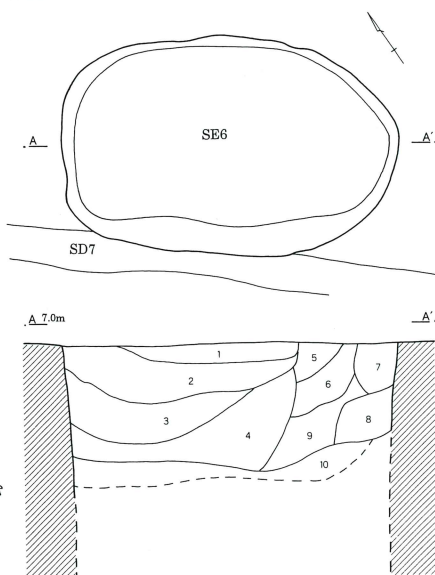
- SE4
- 1 暗褐色土 灰褐色土ブロックを含む
 - 2 暗褐色土 灰褐色土粒子をごく少量含む
 - 3 暗褐色土 灰褐色土ブロックを多く含む
 - 4 暗褐色土 灰褐色土ブロックを少量含む
 - 5 灰褐色土 暗褐色土ブロックを含む
 - 6 暗褐色土 10cm前後の大形の灰褐色土のブロックを含む
 - 7 灰褐色土 暗褐色土ブロックを含む

SE5



- SE5
- 1 黒褐色土 灰褐色土粒子を殆ど含まない
 - 2 暗褐色土 灰褐色土粒子を少量含む
 - 3 暗褐色土 灰褐色土粒子を含む
 - 4 暗褐色土 灰褐色土粒子、ブロックを少量含む
 - 5 暗褐色土 灰褐色土ブロックを多量に含み、焼土粒子を含む
 - 6 黒褐色土 灰褐色土粒子を含む
 - 7 暗褐色土 灰褐色土ブロックを含む

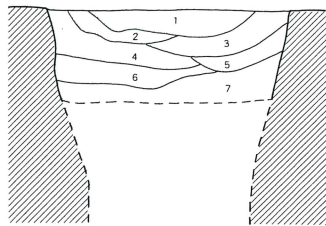
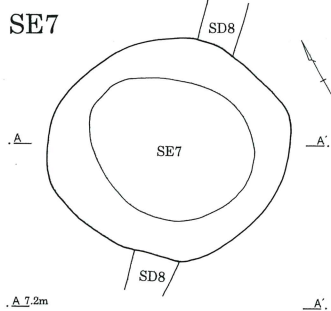
SE6



- SE6
- 1 暗褐色土 灰褐色土粒子を少量含む
 - 2 暗褐色土 灰褐色土ブロックを多く含み、焼土粒子を少量含む
 - 3 暗褐色土 灰褐色土粒子を含む
 - 4 暗褐色土 灰褐色土粒子を少量含む
 - 5 黒褐色土 灰褐色土粒子を縞状に含む
 - 6 黒褐色土 灰褐色土ブロックを含む
 - 7 灰褐色土 焼土粒子、暗褐色土をごく少量含む
 - 8 暗褐色土 暗褐色土を少量含む
 - 9 暗褐色土 灰褐色土ブロックを多く含む
 - 10 黒褐色土 灰褐色土ブロックを含む

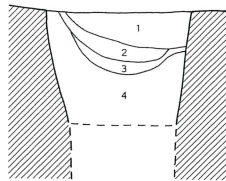
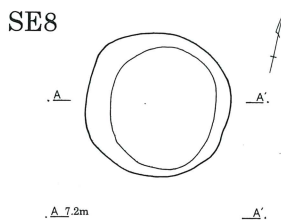
0 2m
1:50

第77図 井戸(1)



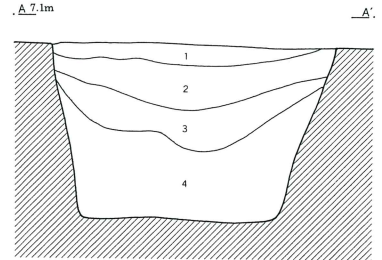
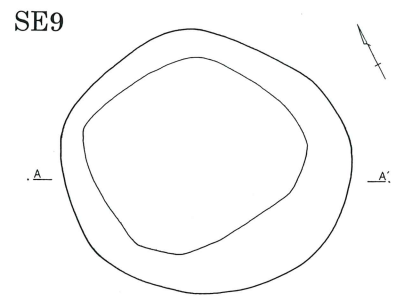
SE7

- 1 暗褐色土 焼土粒子を少量含み、灰褐色土ブロックを多量に含む
- 2 黒色土 炭化物粒子を多量に含み、焼土粒子、灰褐色土粒子を少量含む
- 3 黒色土 炭化物粒子を多量に含み、焼土粒子、灰褐色土ブロックを含む
- 4 暗褐色土 灰褐色土ブロックを多量に含み、炭化物粒子を含む
- 5 暗褐色土 灰褐色土ブロックを多量に含み、炭化物粒子を少量含む
- 6 黒色土 炭化物粒子、灰褐色土ブロックを含む
- 7 暗褐色土 灰褐色土ブロックを多量に含む



SE8

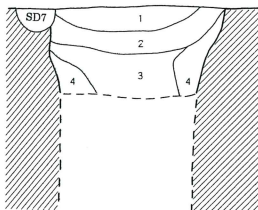
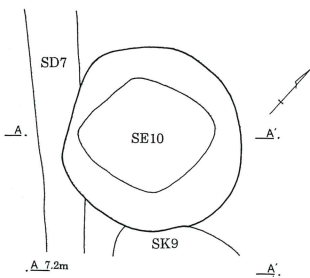
- 1 暗褐色土 灰褐色土粒子を少量含む
- 2 暗褐色土 灰褐色土ブロックを多量に含む
- 3 黒褐色土 灰褐色土粒子を少量含む
- 4 暗褐色土 灰褐色土ブロックを含む



SE9

- 1 黒褐色土 灰褐色土粒子を少量含む
- 2 暗褐色土 灰褐色土ブロックを多く含む
- 3 黒褐色土 灰褐色土粒子を含む
- 4 暗褐色土 灰褐色土ブロックを多量に含む

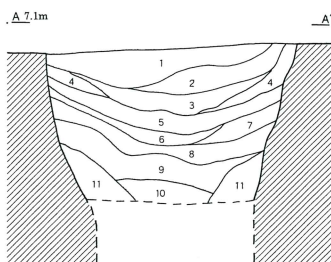
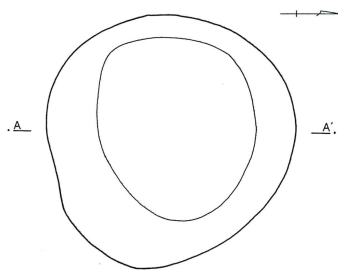
SE10



SE10

- 1 暗褐色土 灰褐色土粒子を少量含む
- 2 暗褐色土 灰褐色土粒子、ブロックを含む
- 3 黒褐色土 炭化物粒子、灰褐色土を少量含む
- 4 暗褐色土 灰褐色土ブロックを多量に含み、炭化物ブロックを含む

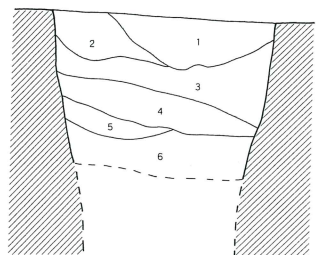
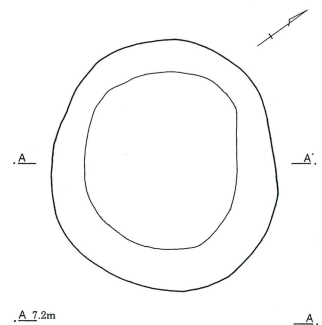
SE11



SE11

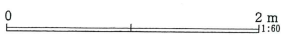
- 1 黒褐色土 灰褐色土、焼土粒子を少量含む
- 2 暗褐色土 灰褐色土、焼土粒子、炭化物粒子を含む
- 3 暗褐色土 灰褐色土ブロックを多量に含む
- 4 暗褐色土 灰褐色土粒子を含む
- 5 暗褐色土 灰褐色土ブロックを少量含む
- 6 黒褐色土 炭化物粒子、焼土粒子を含む
- 7 暗褐色土 灰褐色土大形ブロックを多量に含む
- 8 暗褐色土 焼土、灰褐色土ブロックを少量含む
- 9 暗褐色土 灰褐色土ブロックを8層よりやや多く含む
- 10 黒色土 炭化物粒子を多く含み、灰褐色土を少量含む
- 11 暗褐色土 灰褐色土ブロックを多量に含む

SE12



SE12

- 1 暗褐色土 灰褐色土ブロック、粒子を含む
- 2 暗褐色土 やや灰褐色色がかった色調を呈す、灰褐色土粒子を含む
- 3 暗褐色土 灰褐色土ブロックを少量含む
- 4 暗褐色土 灰褐色土大形のブロックを含む
- 5 暗褐色土 灰褐色土粒子を少量含む
- 6 黒褐色土 灰褐色土粒子を殆ど含まない



第78図 井戸(2)

出土していない。

第8号井戸（第78図）

F-7・G-7区に位置する。やや離れて西側に第54号井戸が存在する。プランは円形を呈し、断面形は円筒状を呈する。長径1.14m、短径1.14mで、深さは1.03mまでを調査した。遺物は出土しなかった。

第9号井戸（第78図）

F-8区に位置する。第23号住居跡と一部重複し、北側に第11号井戸が隣接する。プランは円形を呈し、断面形は開口部の広い逆台形状を呈する。長径2.30m、短径2.09mで、深さは1.36mを測る。井戸としては深度が浅いものの、この深さで湧水があり、天水の溜水用としての機能も想定される。もしくは、底部を未掘の可能性もある。遺物は出土していない。

第10号井戸（第78・84図）

F-7区に位置する。第7号溝跡と重複するが、溝の方が新しい。また、第9号土壇と一部重複している。プランは円形を呈し、断面形は開口部がやや開くが、円筒状を呈する。長径1.43m、短径1.41mで、深さは1.36mまでを調査した。遺物は中世播鉢、甕の破片、砥石が出土した。

第11号井戸（第78図）

E-8・F-8区に位置する。第53号住居跡と重複するが、本井戸の方が新しい。また、南側に第9号井戸が隣接する。プランは円形を呈し、断面形は開口部がやや開くロート状を呈する。長径1.99m、短径1.99mで、深さは1.40mまでを調査した。遺物は出土していない。

第12号井戸（第78図）

E-7区に位置する。第34号土壇が南側に隣接する。プランは円形を呈し、断面形は開口部がやや開

く円状を呈する。長径1.99m、短径1.78mを測り、深さは1.57mまでを調査した。遺物は出土していない。

第13号井戸（第79図）

E-7区に位置する。西側に第18号土壇、南側に第21・22号土壇が隣接する。プランは楕円形を呈し、断面形は開口部が大きく開くロート状を呈する。長径3.00m、短径2.36mで、深さは1.27mまでを調査した。遺物は出土していない。

第14号井戸（第79図）

G-9区に位置する。第10号溝跡、第13号溝跡と重複している。プランは円形を呈し、断面形は口縁部が緩く開くロート状を呈する。長径1.53m、短径1.38mで、深さは1.33mまでを調査した。遺物は出土していない。

第15号井戸（第79図）

F-8区に位置する。第23・25号住居跡と重複しているが、本井戸の方が新しい。プランは円形を呈し、断面形は円筒状を呈する。長径1.92m、短径1.56mで、深さは1.20mまでを調査した。遺物は出土していない。

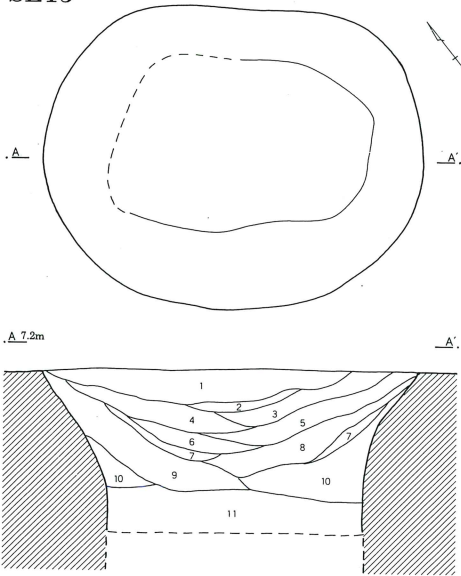
第16号井戸（第79図）

F-9区に位置する。第25号住居跡と重複しているが、本井戸の方が新しい。また、北側に第21号井戸が隣接する。プランは円形を呈し、断面形は円筒状を呈する。長径2.23m、短径2.04mで、深さは1.10mまでを調査した。遺物は鉄製鎌が出土した。

第17号井戸（第79・84図）

D-8・E-8区に位置する。第6号溝、第18号井戸と重複しているが、第6号溝より新しく、第18号井戸より古い。プランは円形を呈し、断面形は円筒状を呈する。長径2.17m、短径1.90mで、深さは

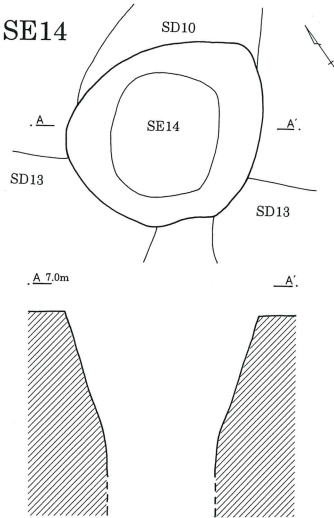
SE13



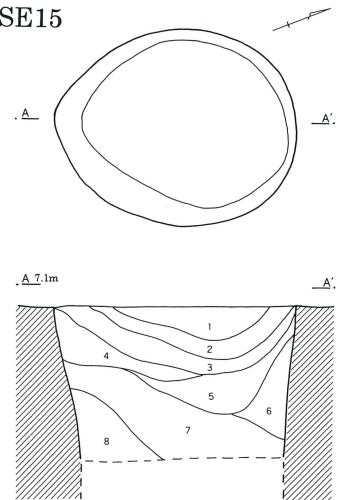
SE13

- 1 暗褐色土 焼土、炭化物粒子を僅かに含む
- 2 暗褐色土 灰褐色土ブロックを多く含む
- 3 暗褐色土 灰褐色土をごく少量含む
- 4 暗褐色土 炭化物粒子を多量に含み、焼土粒子を少量含む
- 5 暗褐色土 灰褐色土ブロックを少量含む
- 6 暗褐色土 灰褐色土ブロックを多量に含む
- 7 黒色土 炭化物粒子を多量に含む
- 8 暗褐色土 炭化物、焼土粒子を少量含み、灰褐色土を含む
- 9 暗褐色土 炭化物、焼土粒子を少量含む
- 10 暗褐色土 炭化物、灰褐色土粒子を含む
- 11 暗褐色土 灰褐色土ブロックを多く含む

SE14



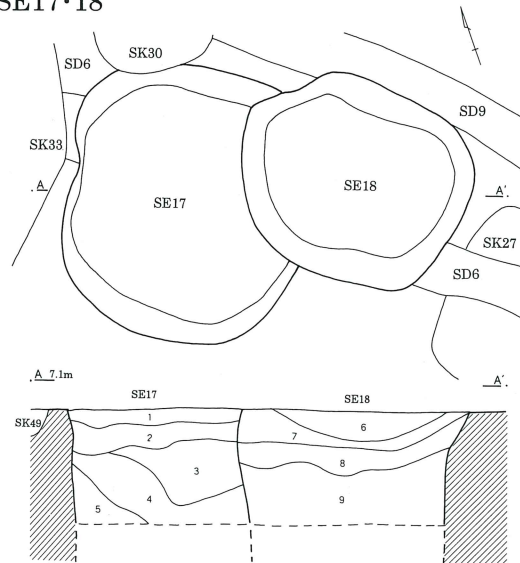
SE15



SE15

- 1 暗褐色土 灰褐色土粒子を少量含む
- 2 暗褐色土 灰褐色土ブロックを多量に含む
- 3 暗褐色土 炭化物粒子を多量に含み、焼土粒子を含む
- 4 暗褐色土 灰褐色土を少量含む
- 5 暗褐色土 炭化物粒子を多量に含み、焼土粒子を含む
- 6 暗褐色土 灰褐色土を多量に含む
- 7 暗褐色土 灰褐色土を多量に含み、炭化物粒子を含む
- 8 暗褐色土 灰褐色土ブロックを少量含む

SE17・18



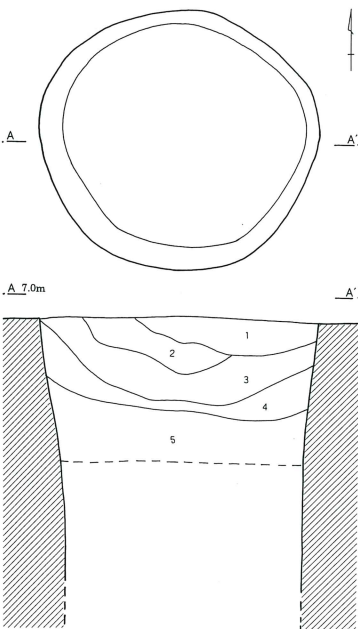
SE17

- 1 暗褐色土 灰褐色土を霜降り状に含み、焼土粒子を少量含む
- 2 暗褐色土 灰褐色土ブロックを多量に含む
- 3 暗褐色土 灰褐色土をごく少量含む
- 4 暗褐色土 灰褐色土大形ブロックを極めて多く含む
- 5 灰褐色土 灰褐色土からなる

SE18

- 6 暗褐色土 灰褐色土粒子を霜降り状に含み、炭化物、焼土粒子を含む
- 7 暗褐色土 焼土粒子、灰褐色土粒子を少量含む
- 8 暗褐色土 2cm前後の灰褐色土ブロック、炭化物粒子を含む
- 9 暗褐色土 灰褐色土ブロックを多量に含む

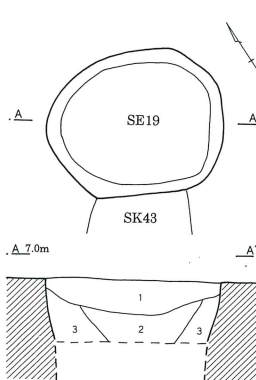
SE16



SE16

- 1 暗褐色土 灰褐色土粒子を多く含み、焼土粒子、炭化物粒子を含む
- 2 暗褐色土 灰褐色土ブロックを多量に含む
- 3 暗褐色土 灰褐色土ブロックを少量含む
- 4 暗褐色土 灰褐色土ブロックを含む
- 5 暗褐色土 灰褐色土ブロック、シルトを多量に含む

SE19



SE19

- 1 暗褐色土 焼土粒子、灰褐色土粒子を少量含む
- 2 暗褐色土 灰褐色土粒子を含む
- 3 暗褐色土 灰褐色土ブロックを非常に多く含む



第79図 井戸(3)

0.88mまでを調査した。遺物は中世陶器甕の胴部破片が出土した。

第18号井戸（第79図）

E-8区に位置する。第6・9号溝、第17号井戸と重複するが、本井戸はいずれよりも新しい。プランは円形を呈し、断面形は円筒形状を呈する。長径1.88m、短径1.57mで、深さは0.88mまでを調査した。遺物は出土していない。

第19号井戸（第79図）

D-8区に位置する。第43・44号土壙と一部重複している。プランは円形を呈し、断面形は円筒状を呈する。長径1.39m、短径1.13mで、深さは0.50mまでを調査した。遺物は出土しなかった。

第20号井戸（第80図）

D-8・9区に位置する。第24・45号土壙と一部重複している。プランは楕円形を呈し、断面形は開口部が大きく開くロート状を呈する。長径2.51m、短径1.67mで、深さは0.41mまでを調査した。遺物は出土していない。

第21号井戸（第80・84図）

E-9・F-9区に位置する。第25号住居跡と重複するが、本井戸の方が新しい。また、南側に第16号井戸が隣接する。プランは円形を呈し、断面形は円筒状を呈する。長径2.08m、短径1.98mで、深さは2.21mまでを調査した。遺物は須恵器坏、内面磨きの土師器坏、須恵器甕の破片が出土した。

第22号井戸（第80図）

D-7区に位置する。北側に第24・30号井戸、東側に第32号井戸が隣接する。プランは円形を呈し、断面形は開口部がやや開くロート状を呈する。長径2.61m、短径2.53mで、深さは1.40mまでを調査した。遺物は出土していない。

第23号井戸（第80・84図）

C-7・D-7区に位置する。東側に第24号井戸、南側に第6号溝が隣接する。プランは円形を呈し、断面形は開口部が緩く開くロート状を呈する。長径2.95m、短径2.67mで、深さは1.30mまでを調査した。遺物は中世の青磁椀、陶器鉢、瓦質の土鍋が出土した。

第24号井戸（第80図）

C-7区に位置する。西側に23号井戸が隣接する。プランは円形を呈し、断面形は開口部がやや開くロート状を呈する。長径2.68m、短径2.55mで、深さは1.70mまでを調査した。遺物は出土していない。

第25号井戸（第80図）

C-8・D-8区に位置する。南側に第49号土壙、西側に第32号井戸がやや離れて存在する。プランは円形を呈し、開口部が緩く開くロート状を呈する。長径1.41m、短径1.38mで、深さは1.00mまでを調査した。遺物は出土していない。

第26号井戸（第80図）

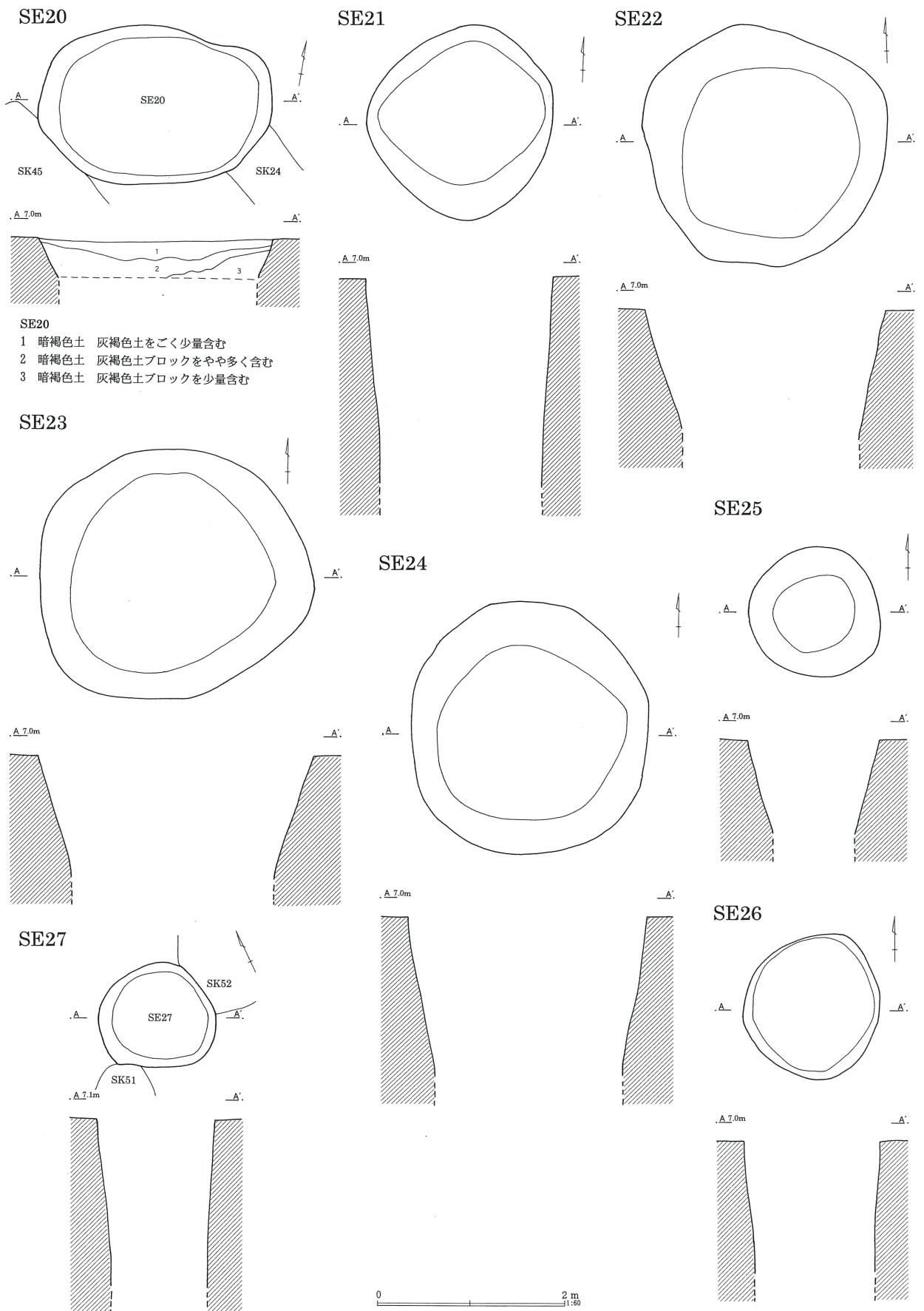
D-8区に位置する。東側に第20号井戸、南側に第28号土壙が隣接する。プランは円形を呈し、断面形は円筒状を呈する。長径1.56m、短径1.44mで、深さは1.40mまでを調査した。遺物は出土していない。

第27号井戸（第80図）

D-7区に位置する。第51・52号土壙と一部重複している。プランは円形を呈し、断面形は円筒状を呈する。長径1.25m、短径1.12mで、深さは1.80mまでを調査した。遺物は出土していない。

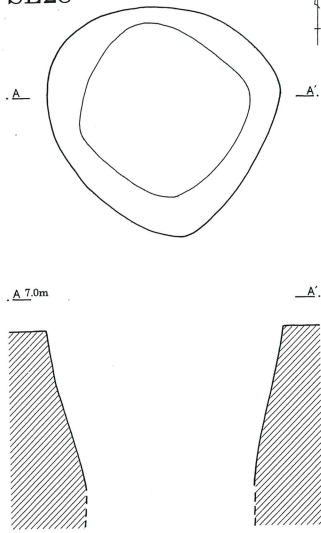
第28号井戸（第81図）

F-8・9区に位置する。第22・25号住居跡と重複するが、本井戸の方が新しい。プランは円形を呈

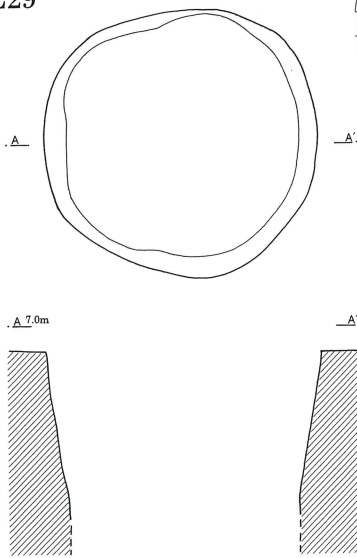


第80図 井戸(4)

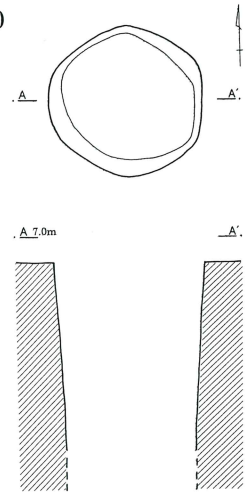
SE28



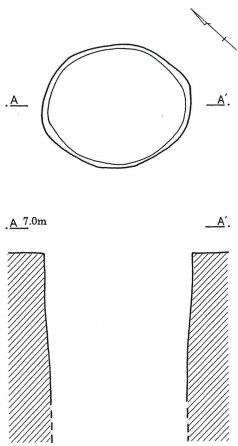
SE29



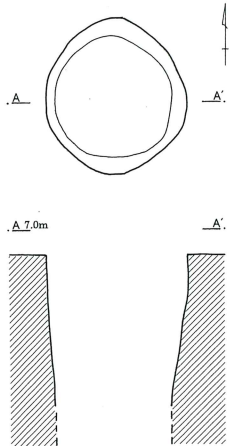
SE30



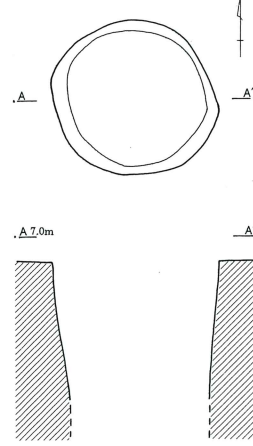
SE31



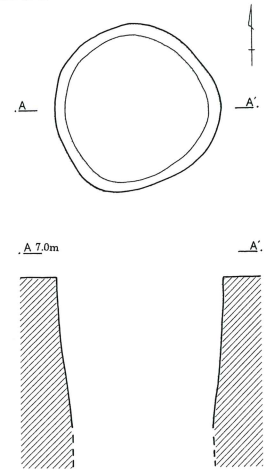
SE32



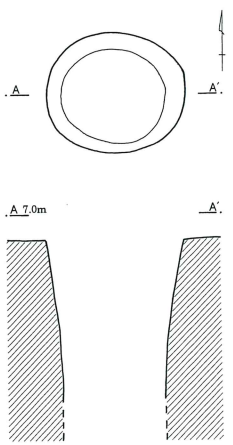
SE33



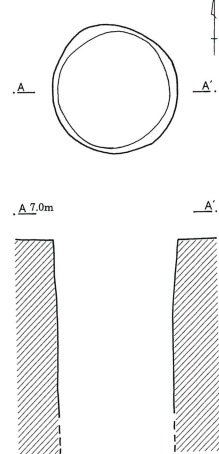
SE34



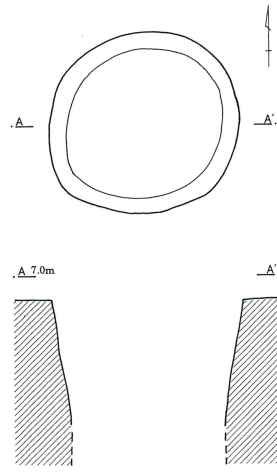
SE35



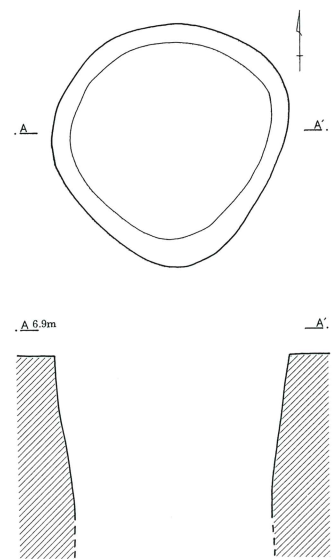
SE36



SE37

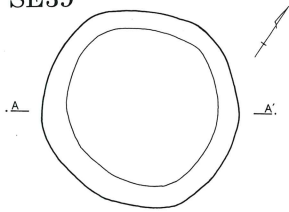


SE38

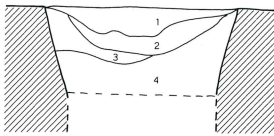


第81図 井戸 (5)

SE39



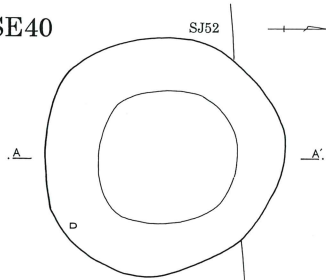
A 5.9m



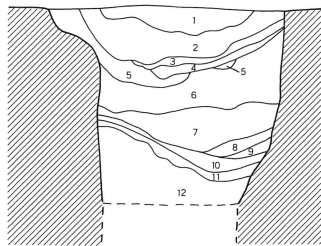
SE39

- 1 暗褐色土 焼土ブロック、炭化物粒子を少量含む
- 2 灰褐色土 焼土粒子を微量含み、鉄分状塊を少量含む
- 3 黄褐色土 灰褐色土ブロック、炭化物ブロックを少量含む
- 4 灰色土 焼土ブロックを微量含み、鉄分状塊を少量含む

SE40



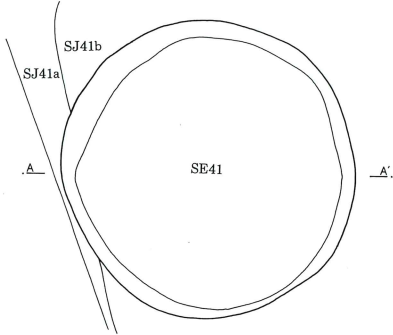
A 7.3m



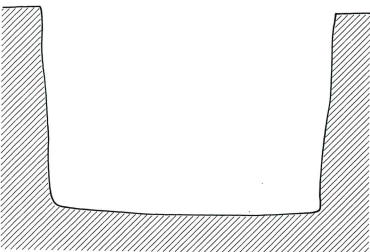
SE40

- 1 黒褐色土 3mm程度の焼土粒子を少量含む
- 2 黒色土 細粒～3cm前後の焼土ブロックを含む
- 3 暗褐色土 焼土粒子を少量含む
- 4 黒色土 細粒～1cm程度の焼土ブロックを含む
- 5 暗褐色土 焼土粒子、炭化物粒子を少量含む
- 6 暗褐色土 焼土粒子、炭化物粒子をごく少量含み、灰褐色土粒子を含む
- 7 暗褐色土 灰褐色土粒子をごく少量含む
- 8 暗褐色土 灰褐色土粒子をやや多く含む
- 9 暗褐色土 灰褐色土粒子を含む
- 10 暗褐色土 灰褐色土粒子を多く含む
- 11 黒色土 炭化物粒子を多く含み、灰褐色土を含む
- 12 暗褐色土 灰褐色土ブロックをごく少量含む

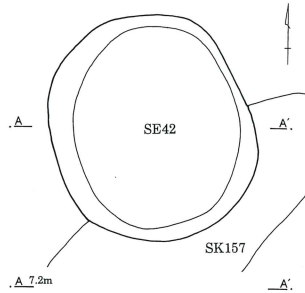
SE41



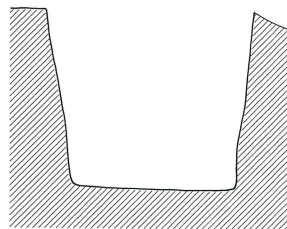
A 7.3m



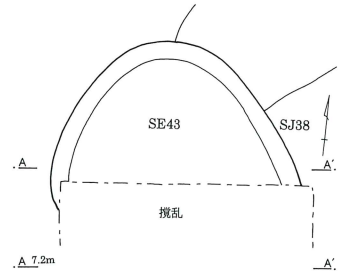
SE42



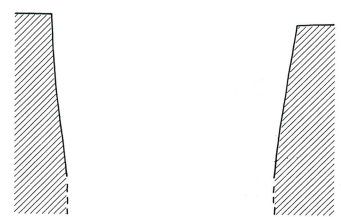
A 7.2m



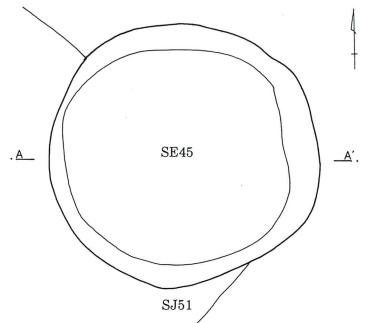
SE43



A 7.2m



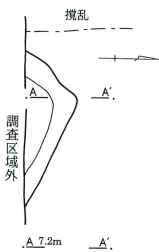
SE45



A 7.2m



SE44



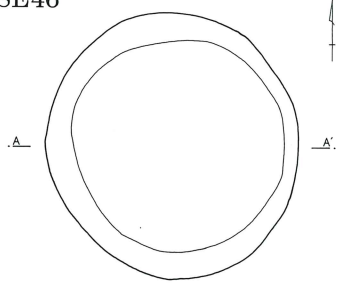
A 7.2m



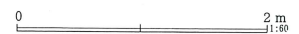
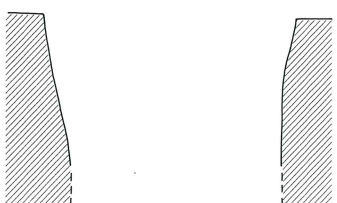
SE44

- 1 黒色土 炭化物、焼土粒子を含み、粘性強く、粒子粗い

SE46



A 7.2m



第82図 井戸(6)

し、断面形は開口部がやや開くロート状を呈する。長径1.78m、短径1.71mで、深さは1.23mまでを調査した。遺物は出土していない。

第29号井戸（第81図）

C-7区に位置する。今回の調査区の最北西端に位置し、東側に第14号住居跡、南側に第24号井戸が離れて存在する。プランは円形を呈し、断面形は円筒状を呈する。長径2.18m、短径2.12mで、深さは1.30mまでを調査した。遺物は出土していない。

第30号井戸（第81図）

C-7・8区に位置する。東側に第31号井戸、南側に第32号井戸、西側に第24号井戸が隣接する。プランは円形を呈し、断面形は円筒状を呈する。長径1.20m、短径1.18mで、深さは1.50mまでを調査した。遺物は出土していない。

第31号井戸（第81・84図）

C-8区に位置する。西側に第30号井戸が隣接する。プランは円形を呈し、断面形は円筒状を呈する。長径1.15m、短径0.97mで、深さは1.20mまでを調査した。遺物は中世の青磁椀、陶器甕の胴部、底部破片、土錘が出土した。

第32号井戸（第81図）

D-8区に位置する。西側に第22・30号井戸が隣接する。プランは円形を呈し、断面形は円筒状を呈する。長径1.24m、短径1.12mで、深さは1.20mまでを調査した。遺物は出土していない。

第33号井戸（第81図）

C-8区に位置する。北側に第14号住居跡がやや離れて存在する。プランは円形を呈し、断面形は開口部がやや開く円筒状を呈する。長径1.31m、短径1.21mで、深さは1.10mまでを調査した。遺物は出土していない。

第34号井戸（第81図）

C-9・10区に位置する。北西側にやや離れて第1号溝が存在する。プランは円形を呈し、断面形は開口部がやや開く円筒状を呈する。長径1.32m、短径1.31mで、深さは1.20mまでを調査した。遺物は出土していない。

第35号井戸（第81図）

D-9区に位置する。南西側に第36号井戸が、南東側に第61号土壇がやや離れて存在する。プランは円形を呈し、開口部がやや開く円筒状を呈する。長径1.10m、短径0.95mで、深さは1.30mまでを調査した。遺物は出土していない。

第36号井戸（第81・85図）

D-9区に位置する。北西側に第35号井戸が、東側に第3号住居跡がやや離れて存在する。プランは円形を呈し、断面形は円筒状を呈する。長径1.02m、短径1.00mで、深さは1.40mまでを調査した。遺物は中世の青磁椀、瓦の破片が出土した。

第37号井戸（第81図）

F-9区に位置する。北側に第32号住居跡、西側に第25号住居跡、第16号井戸が隣接する。プランは円形を呈し、断面形は開口部の緩く開くロート状を呈する。長径1.50m、短径1.43mで、深さは1.00mまでを調査した。遺物は出土していない。

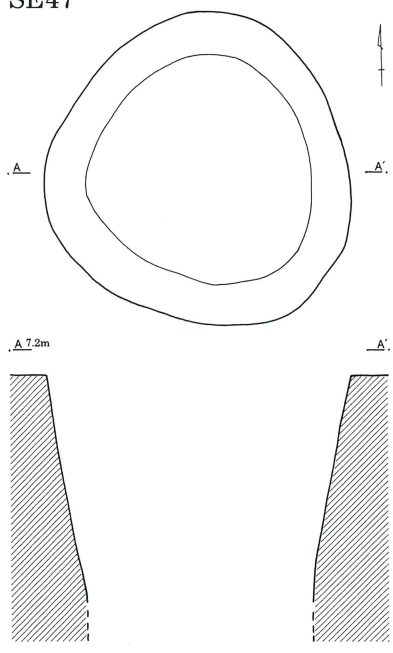
第38号井戸（第81図）

E-10区に位置する。南側に第64号土壇、第10号溝が隣接する。プランは円形を呈し、断面形は開口部が緩く開くロート状を呈する。長径1.90m、短径1.86mで、深さは1.30mまでを調査した。遺物は出土していない。

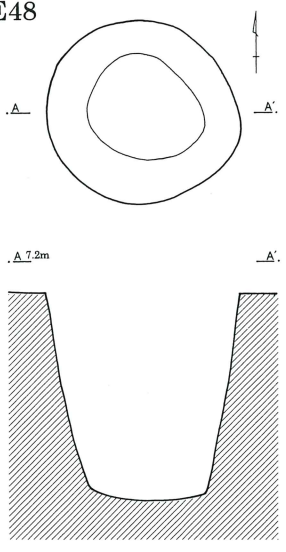
第39号井戸（第82図）

J-9区に位置する。南側に第3号溝が隣接する。

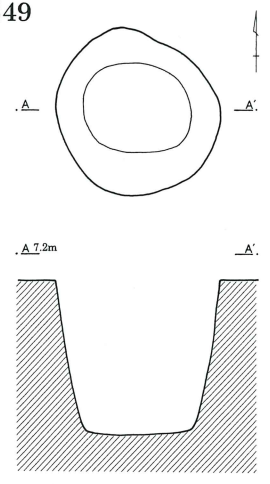
SE47



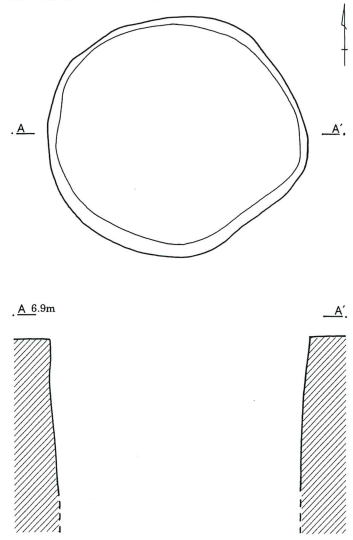
SE48



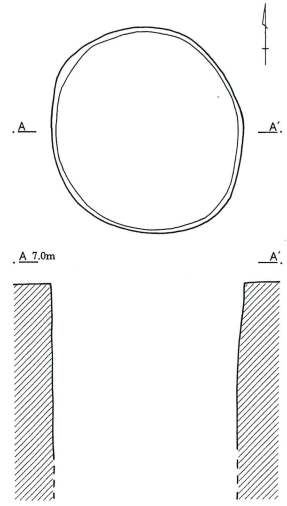
SE49



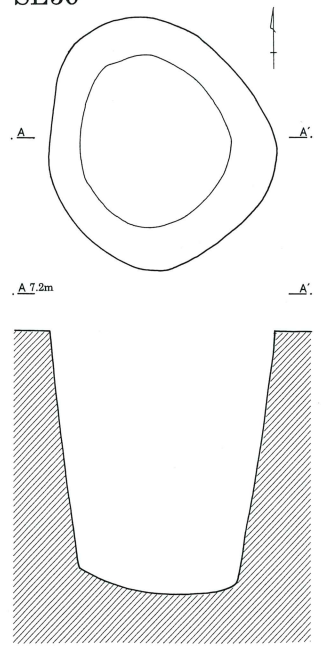
SE51



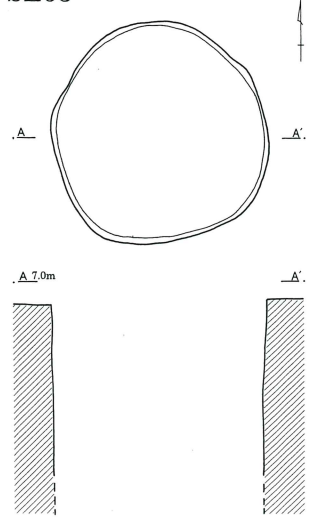
SE52



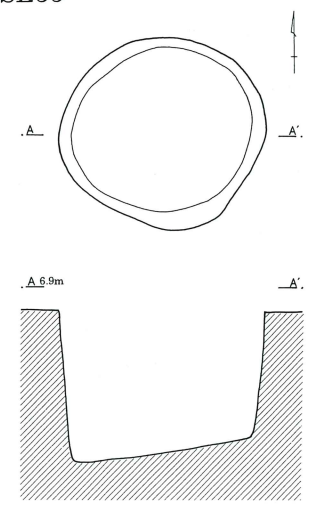
SE50



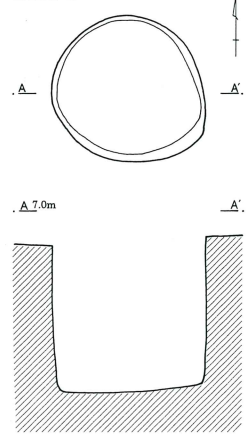
SE53



SE55



SE54



第83図 井戸 (7)

プランは円形を呈し、断面形は開口部がやや開くロート状を呈する。長径1.58m、短径1.56mで、深さは0.70mまでを調査した。遺物は出土していない。

第40号井戸（第82図）

J-6区に位置する。第52号住居跡と重複するが、本井戸の方が新しい。また、北側には第37号住居跡、第47号井戸が隣接する。プランは円形を呈し、断面形は開口部がやや開くロート状を呈するものと思われるが、開口部の崩落が見られ、不詳である。長径1.91m、短径1.88mで、深さは1.56mまでを調査した。遺物は出土していない。

第41号井戸（第82図）

J-3・K-3区に位置する。第41号住居跡と重複しているが、本井戸の方が新しい。プランは円形を呈し、断面形は円筒状を呈する。長径2.37m、短径2.36mで、深さは1.62mを測る。井戸としては深度が浅いものの、この深さで湧水があり、天水の溜水用としての機能も想定される。もしくは、底部を未掘の可能性もある。遺物は出土していない。

第42号井戸（第82・85図）

K-3区に位置する。第38号住居跡、第102号土壇と重複するが、本井戸の方が新しい。プランは円形を呈し、断面形は円筒状を呈する。長径1.80m、短径1.65mで、深さは1.43mを測る。井戸としては深度が浅いものの、この深さで湧水があり、天水の溜水用としての機能も想定される。もしくは、底部を未掘の可能性もある。遺物は須恵器環、須恵器甕の破片が出土している。

第43号井戸（第82図）

K-3区に位置する。第38号住居跡、第102号土壇と重複しているが、本井戸の方が新しい。プランは円形を呈し、断面形は開口部のやや開いた円筒状を呈する。長径1.99m、短径1.13mで、深さは1.30

mまでを調査した。遺物は出土していない。

第44号井戸（第82図）

L-2区に位置する。大半が調査区外に当たり、第44号住居跡と重複しているが、本井戸の方が新しい。プランは円形を呈し、断面形は開口部が開くロート状を呈するものと推定される。長径1.20m、短径0.41mで、深さは0.42mまでを調査した。遺物は出土していない。

第45号井戸（第82図）

J-3・4区に位置する。第51号住居跡と重複するが、本井戸の方が新しい。また、西側に第46号井戸が隣接する。プランは円形を呈し、断面形は開口部がやや開くロート状を呈する。長径2.17m、短径2.11mで、深さは1.16mまでを調査した。遺物は出土していない。

第46号井戸（第82・85図）

J-3区に位置する。第51号住居跡と重複するが、本井戸の方が新しい。また、東側に第45号井戸が隣接する。プランは円形を呈し、断面形は開口部がやや緩く開くロート状を呈する。長径2.14m、短径2.02mで、深さは1.20mまでを調査した。遺物は中世の青磁破片、陶器甕の大形破片が出土した。

第47号井戸（第83図）

J-5・6区に位置する。第37号住居跡と重複しているが、本井戸の方が新しい。また、南側に第52号住居跡、第40号井戸が隣接する。プランは円形を呈し、断面形は開口部の緩く開くロート状を呈する。長径2.47m、短径2.41mで、深さは1.80mまでを調査した。遺物は出土していない。

第48号井戸（第83図）

K-5・L-5区に位置する。東側に第49・50号井戸が隣接する。プランは円形を呈し、断面形は開

口部がやや開いた逆台形状を呈する。長径1.54m、短径1.43mで、深さは1.64mを測る。井戸としては深度が浅いものの、この深さで湧水があり、天水の溜水用としての機能も想定される。もしくは、底部を未掘の可能性もある。遺物は出土していない。

第49号井戸 (第83図)

K-5区に位置する。南側に第48・50号井戸が隣接する。プランは円形を呈し、断面形は開口部がやや開く逆台形状を呈する。長径1.31m、短径1.28mで、深さは1.21mを測る。井戸としては深度が浅いものの、この深さで湧水があり、天水の溜水用としての機能も想定される。もしくは、底部を未掘の可能性もある。遺物は出土していない。

第50号井戸 (第83図)

K-5・L-5区に位置する。北側に第49号井戸、西側に第48号井戸が隣接する。プランは円形を呈し、断面形は開口部がやや開く逆台形状を呈する。長径2.00m、短径1.78mで、深さは2.17mを測る。井戸としては深度が浅いものの、この深さで湧水があり、天水の溜水用としての機能も想定される。もしくは、底部を未掘の可能性もある。遺物は瓦質の鉢と陶器甕の底部破片が出土した。

第51号井戸 (第83図)

F-6区に位置する。南側に第10号溝が隣接する。プランは円形を呈し、断面形は円筒状を呈する。長径2.04m、短径1.90mで、深さは1.23mまでを調査した。遺物は出土していない。

第52号井戸 (第83図)

F-6区に位置する。東側には第53号井戸が隣接する。プランは円形を呈し、断面形は円筒状を呈する。長径1.60m、短径1.52mで、深さは1.38mまでを調査した。遺物は出土していない。

第53号井戸 (第83・85図)

F-6・7区に位置する。東側には第7号溝、南側には第7号井戸、西側には第52号井戸が隣接する。プランは円形を呈し、断面形は円筒状を呈する。長径1.73m、短径1.71mで、深さは1.36mまでを調査した。遺物は陶器鉢の口縁部が出土した。

第54号井戸 (第83図)

G-6区に位置する。東側に第8号井戸、西側に第10号溝がやや離れて存在する。プランは円形を呈し、円筒状を呈する。長径1.21m、短径1.13mで、深さは1.20mを測る。井戸としては深度が浅いものの、この深さで湧水があり、天水の溜水用としての機能も想定される。もしくは、底部を未掘の可能性もある。遺物は出土していない。

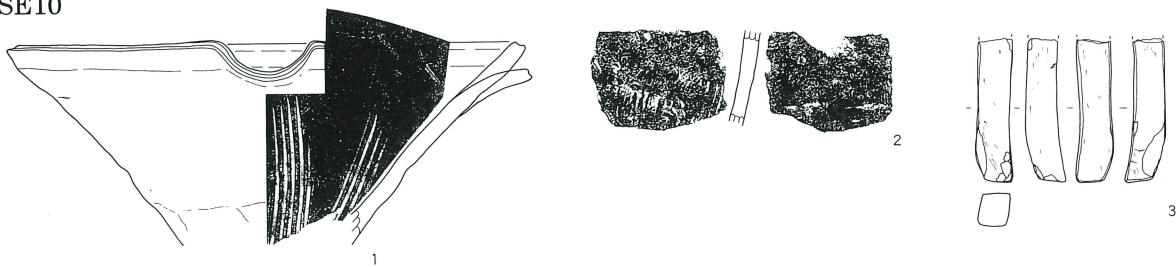
第55号井戸 (第83図)

G-6区に位置する。北側に第10号溝、南側に第24・26号住居跡が隣接する。プランは円形を呈し、長径1.60m、短径1.52mで、深さは1.19mを測る。井戸としては深度が浅いものの、この深さで湧水があり、天水の溜水用としての機能も想定される。もしくは、底部を未掘の可能性もある。遺物は出土していない。

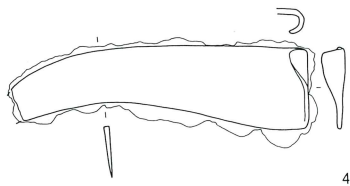
井戸跡・ピット出土遺物観察表 (第84図・第85図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	備考	写真図版
SE10										
1	すり鉢	(26.9)	(10.7)	—		普通	褐灰	破片		44-1
2	甕	—	—	—		普通	褐	破片		
3	砥石	残存長7.70m、幅1.7、厚1.7cm、重さ46.52g								

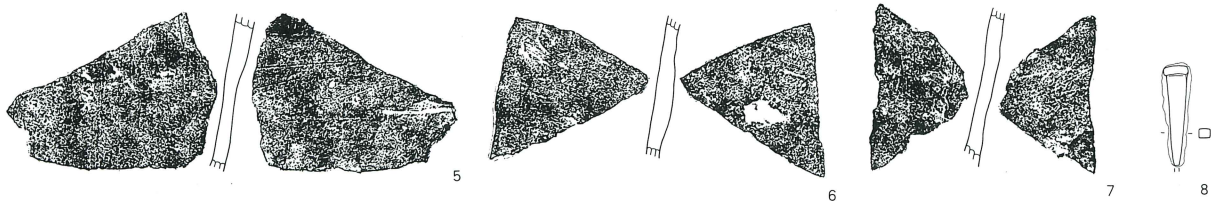
SE10



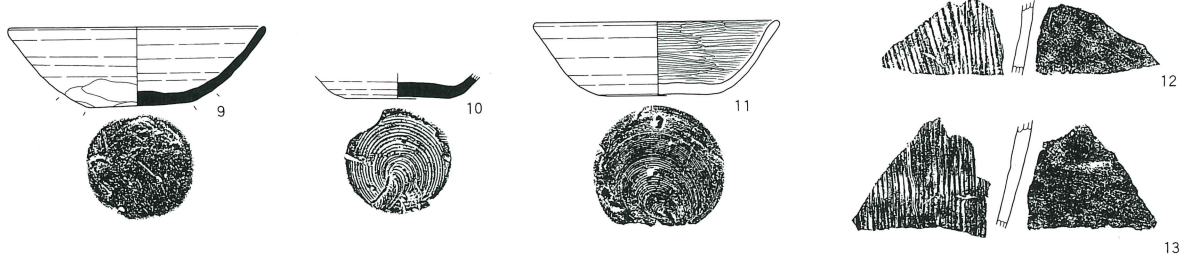
SE16



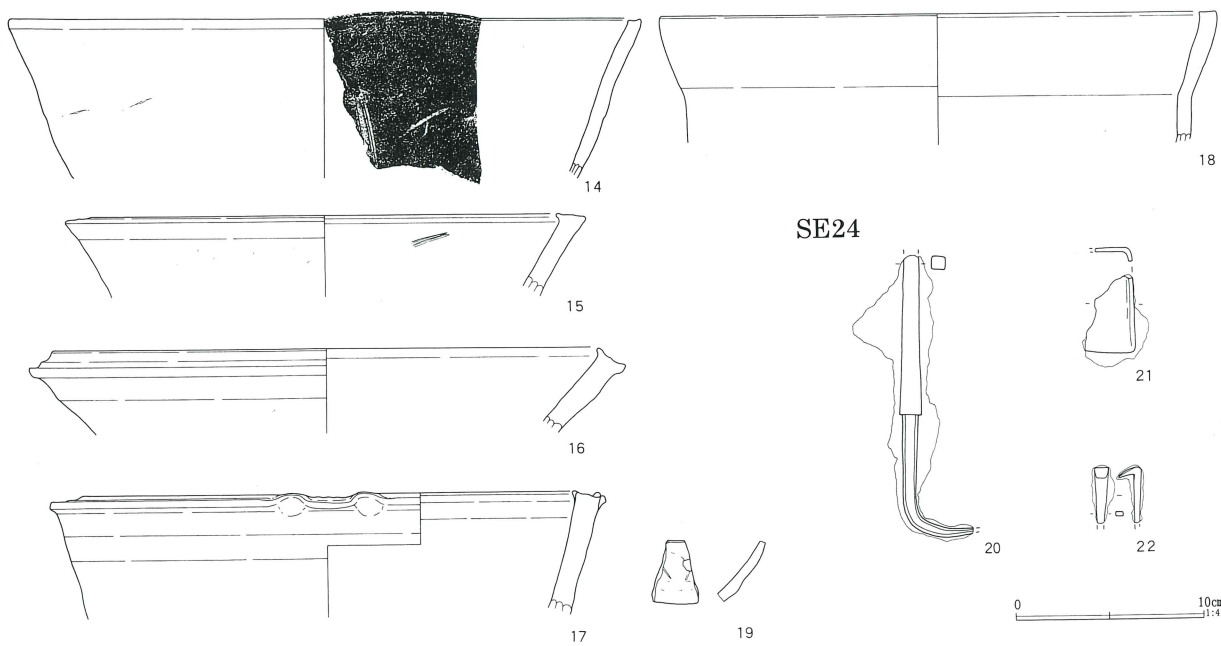
SE17



SE21

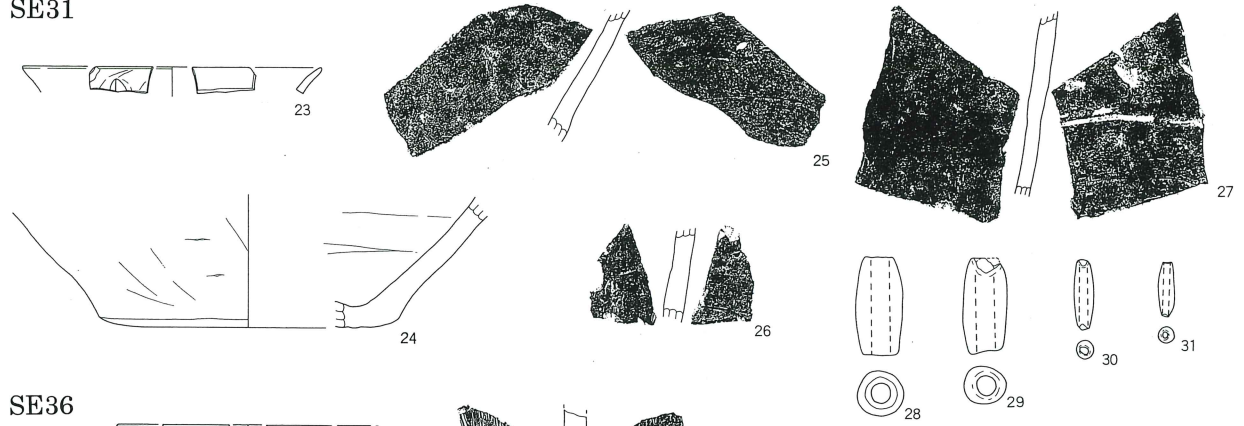


SE23

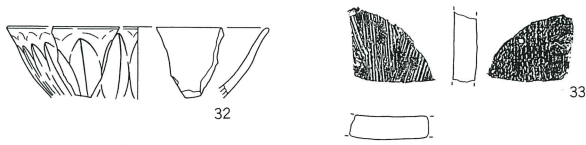


第84図 井戸出土遺物(1)

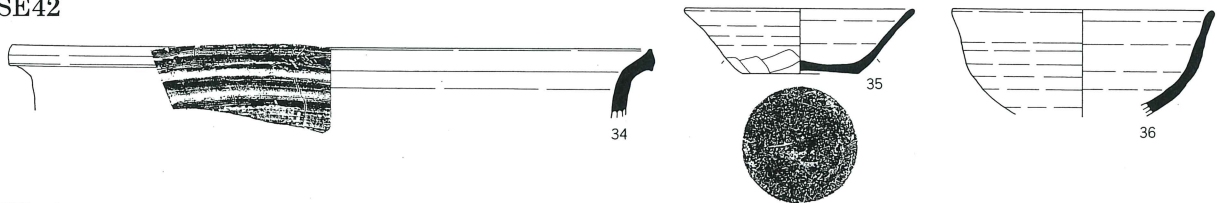
SE31



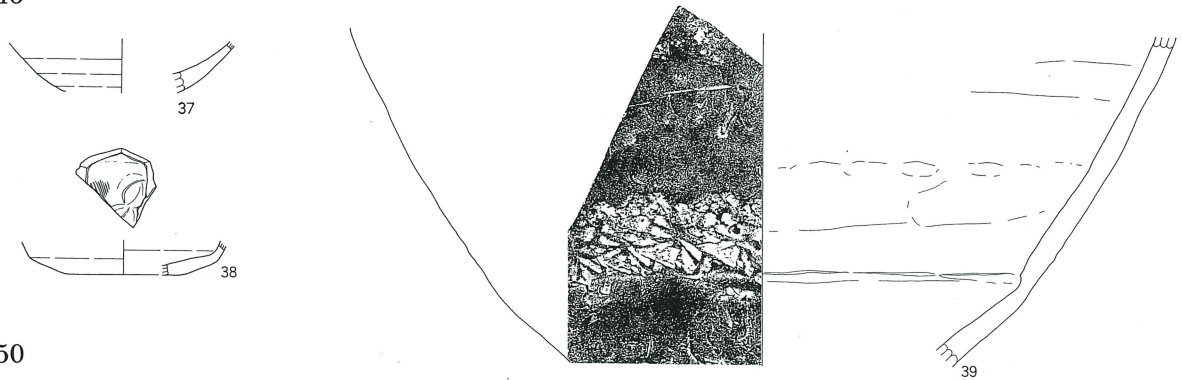
SE36



SE42



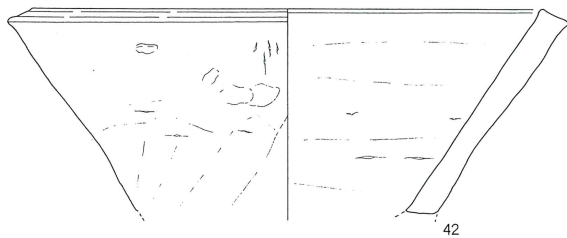
SE46



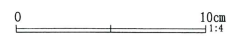
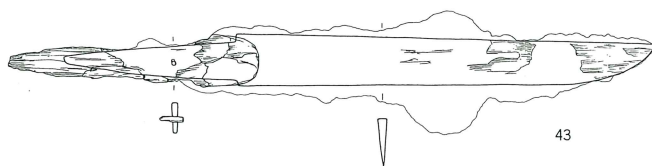
SE50



SE53



J5·P9



第85図 井戸出土遺物(2)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	備考	写真図版	
S E 16											
4	鎌	残存長16.0、幅4.4cm									
S E 17											
5	甕	—	—	—		普通	褐灰	破片	常滑産		
6	甕	—	—	—		普通	褐灰	破片	常滑産		
7	甕	—	—	—		普通	褐灰	破片	常滑産		
8	釘	頭幅1.3、残存長5.3cm									
S E 21											
9	坏	13.8	4.2	5.6		普通	灰白	45	三和窯	40-4	
10	坏	—	(1.3)	(5.6)	針	良好	青灰	70	南比企窯		
11	坏	13.1	3.9	6.5	角	良好	褐	60	下総地方 内面ミガキ	41-4	
12	甕	—	—	—	角	普通	褐灰	破片	下総地方		
13	甕	—	—	—	角	普通	褐灰	破片	下総地方		
S E 23											
14	すり鉢	(33.8)	(8.5)	—		普通	褐灰	破片		44-2	
15	鉢	(25.2)	(4.3)	—		普通	褐灰	破片			
16	鉢	(29.4)	(4.5)	—		良好	褐灰	破片		44-6	
17	鉢	(26.6)	(6.5)	—		普通	褐灰	破片			
18	鍋	(29.9)	(7.0)	—		普通	暗灰	破片			
19	椀?	—	—	—		普通	ホリノ灰	破片	青磁		
S E 24											
20	鉄製不明品	残存長15.0、幅1.1、厚0.7cm									
21	鎌?	残存長4.1、幅2.7cm									
22	釘	頭幅1.2、残存長3.0cm									
S E 31											
23	椀	(16.0)	(1.5)	—		普通	ホリノ灰	破片	青磁		
24	甕	—	(7.0)	(16.0)		普通	褐灰	20	常滑産		
25	甕	—	—	—		普通	褐灰	破片	常滑産		
26	甕	—	—	—		普通	褐灰	破片	常滑産		
27	甕	—	—	—		普通	褐灰	破片	常滑産		
28	土錘	長5.1cm、径2.4cm、孔径1.0cm、重さ24.65g						100			
29	土錘	長5.1cm、径2.3cm、孔径1.0cm、重さ18.68g						90			
30	土錘	長3.7cm、径1.0cm、孔径0.5cm、重さ2.77g						100			
31	土錘	長2.8cm、径0.8cm、孔径0.3cm、重さ1.58g						100			
S E 36											
32	椀	(14.0)	(3.8)	—		普通	ホリノ灰	破片	青磁		
33	瓦	—	—	—		普通	暗灰	破片			
S E 42											
34	甕	(34.0)	(3.7)	—		良好	灰白	破片	下総地方		
35	坏	12.3	3.4	6.2		普通	青灰	60	三和窯	40-5	
36	椀	(14.0)	(5.6)	—	針	普通	灰白	20	南比企窯		
S E 46											
37	椀	—	(2.8)	—		普通	ホリノ灰	破片	青磁 12c末		
38	椀	—	(1.8)	(5.9)		普通	ホリノ灰	破片	青磁 12c末		
39	甕	—	(17.7)	—		良好	灰白	20	渥美産 12c末~13c初	44-4	
S E 50											
40	鉢	(23.9)	(5.0)	—		普通	灰	破片			
41	甕	—	(8.7)	(19.8)		普通	褐	破片	常滑産		
S E 53											
42	鉢	(27.3)	(11.2)	—		良好	褐灰	破片		44-5	

4. 溝跡

調査区全体から、13条の溝跡が検出された。大きくは方形に区画が成される様に溝が存在し、殆どの溝の走行方向が一致する。

第1号溝跡 (第86・87・88図)

B・C-9・10、D-10・11グリッドに位置する。北側に第4・5号溝が併走する。北西から南東方向に走る溝で、断面形は浅い葉研状を呈す。第2号溝跡と重複するが、新旧関係は不明である。長さは28.3mを測る。遺物は須恵器坏、須恵器甕、中世の播鉢、陶器甕の胴部破片が出土した。

第2号溝跡 (第86・87・88図)

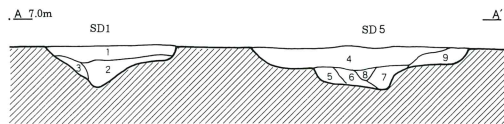
D-11・12、E-10・11・12、F-9・10・11、G-9・10、H・I-8・9グリッドに位置する。第10・11号溝が、一部重複しながらも併走し、第11・

15号住居跡、第13号溝跡と重複するが、住居跡よりも新しく、溝との新旧関係は不明である。北東から南西方向に走る浅い幅広の溝で、何度かの掘り返しが行われている。長さは69.2mを測る。遺物は須恵器坏、須恵器甕の胴部破片、中世の陶磁器、砥石が出土した。

第3号溝跡 (第86・87・88図)

F-4・5、G-4・5・6、H-5・6・7、I-6・7・8、J-7・8・9、K-9・10グリッドに位置する。第26・27号住居跡、第17号土塙と重複するが、溝の方が新しい場合が多い。北西から南東方向に走る溝で、部分的に2条に分かれているが、新旧の重複か、併走かは不明である。浅く幅広の溝で、何回か掘り返されている。長さは73.3mを測る。遺物は中世の陶磁器が出土した。

SD1・5



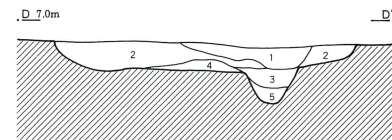
SD1

- 1 暗褐色土 灰褐色土を少量含む
- 2 暗褐色土 灰褐色土をやや多く含む
- 3 灰褐色土 暗褐色土ブロックを少量含む

SD5

- 4 暗褐色土 灰褐色土を少量含む
- 5 暗褐色土 灰褐色土をやや多く含む
- 6 灰褐色土 暗褐色土ブロックを含む
- 7 暗褐色土 灰褐色土を少量含む
- 8 暗褐色土 灰褐色土ブロックを多く含む
- 9 灰褐色土 暗褐色土ブロックを含む

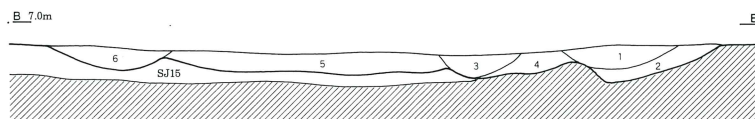
SD3



SD3

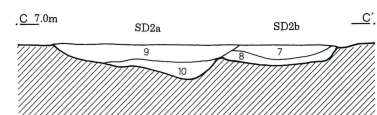
- 1 黒色土 砂を多く含む
- 2 暗褐色土 灰褐色土を含む
- 3 暗褐色土 灰褐色土をやや多く含む
- 4 暗褐色土 灰色の粘土ブロックを含む
- 5 暗褐色土 灰色の粘土ブロックを極めて多く含む

SD2



SD2

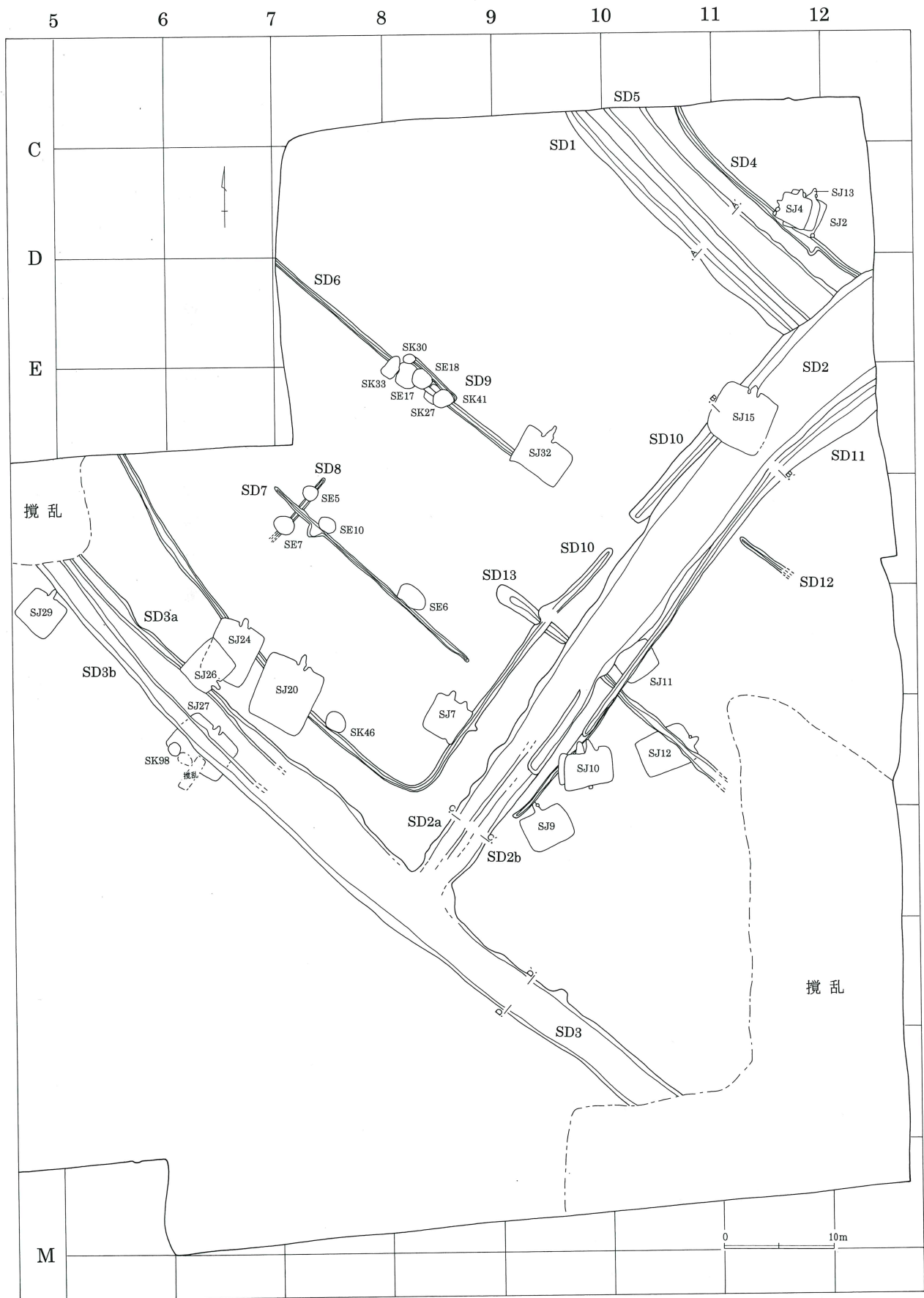
- 1 暗褐色土 灰褐色土を少量含む
- 2 暗褐色土 灰褐色土を含む、砂質
- 3 暗褐色土 砂を非常に多く含む
- 4 暗褐色土 灰褐色土を非常に多く含む
- 5 暗褐色土 灰褐色土を非常に多く含む
- 6 暗褐色土 灰褐色土、炭化物粒子をごく少量含む



- 7 暗褐色土 灰褐色土を少量含む
- 8 暗褐色土 灰褐色土を多く含む
- 9 暗褐色土 灰褐色土を少量含む
- 10 黒褐色土 灰褐色土をごく少量含む

0 2.5m 1:100

第86図 溝土層断面図



第87図 溝全体図

第4号溝跡 (第87図)

B-10、C-10・11、D-11・12グリッドに位置する。第1・5号溝と併走し、第2・4・13号住居跡、第2号溝跡と重複するが、住居跡より新しい。長さは22.4mを測る。遺物は出土していない。

第5号溝跡 (第86・87図)

B-10、C-10・11、D-11・12グリッドに位置するが、新旧関係は不明である。第1・4号溝と併走し、第2号溝跡と重複する。長さは26.5mを測る。遺物は出土していない。

第6号溝跡 (第87・88図)

D-7・8、E-8・9グリッドに位置する。第9号溝と併走し、北西から南東方向へ走る。第32号住居跡、第27・33・41号土壇、第17・18号井戸跡と重複する。長さは27.6mを測る。遺物は、近世を主体とした陶磁器が出土した。

第7号溝跡 (第87図)

F-6・7、G-7・8グリッドに位置する。第8号溝と交差するが、第6号溝と平行して走る。第6・10号井戸跡、第16・26号土壇と重複するが、新旧関係は不明である。長さは23.6mを測る。遺物は出土していない。

第8号溝跡 (第87図)

E-7、F-6・7グリッドに位置する。第7号溝跡と直交して重複し、第5・7号井戸跡と重複するが、新旧関係は不明である。長さは7.1mを測る。遺物は出土していない。

第9号溝跡 (第87図)

D・E-8グリッドに位置する。第9号溝と併走するが、非常に短い溝である。第30・41号土壇、第18号井戸跡と重複するが、新旧関係は不明である。長さは5.2mを測る。遺物は出土していない。

第10号溝跡 (第87図)

E-5・10・11、F-5・6・9・10、G-6・7・8・9、H-7・8グリッドに位置する。D-7からH-8グリッドにかけて北西から南東方向へ、第3号溝と併走し、H-8からD-12グリッドにかけて南西から北東方向へ、第2号溝と併走しながら直角方向に曲がり、途中で一部途切れている。第7・15・20・24号住居跡、第46・64号土壇、第14号井戸跡、第13号溝跡と重複する。住居跡よりは新しく、他との新旧関係は不明である。長さは80.9mを測る。遺物は出土していない。

第11号溝跡 (第87図)

E-11・12、F-10・11、G・H-9・10、I-9グリッドに位置する。第2号溝と併走して、北東から南西方向に走り、第13号溝と直交するが、新旧関係は不明である。第9・10・11号住居跡、第76号土壇と重複し、住居跡よりは新しい。長さは50.0mを測る。遺物は鉄製品が出土した。

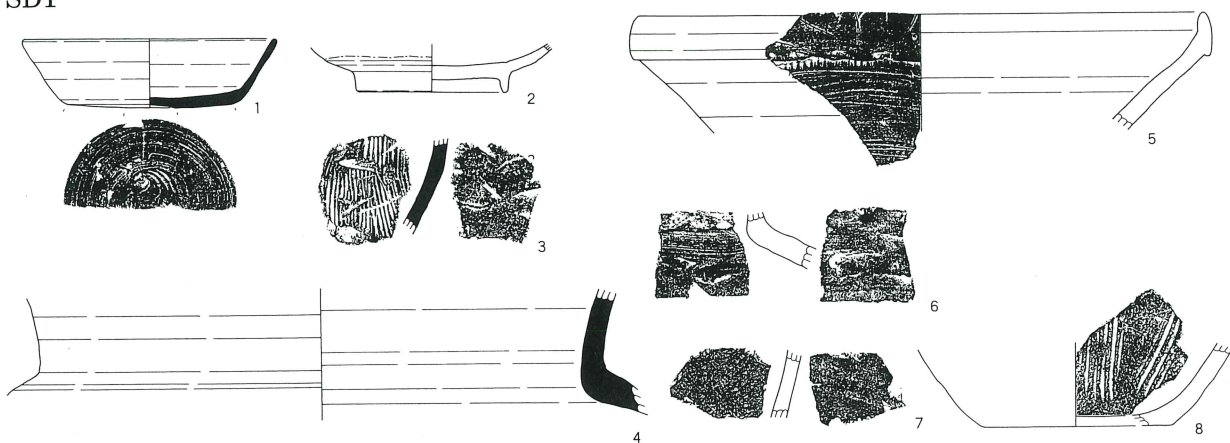
第12号溝跡 (第87図)

F-11グリッドに位置する。北西から南東方向に走る短い溝で、走行方向は他の溝と同じである。長さは5.2mを測る。遺物は出土していない。

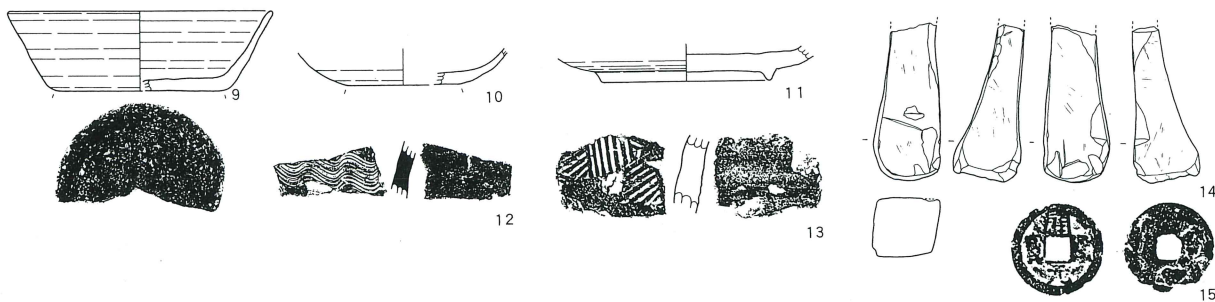
第13号溝跡 (第87・88図)

F-9、G-9・10、H-10グリッドに位置する。北西方向から南東方向に走る溝で、第2・10・11号溝跡と直交している。第12号住居跡、第14号井戸跡とも重複するが、住居跡より新しく、他の遺構との重複関係は不明である。長さは26.0mを測る。遺物は中世の甕の胴部破片が出土した。

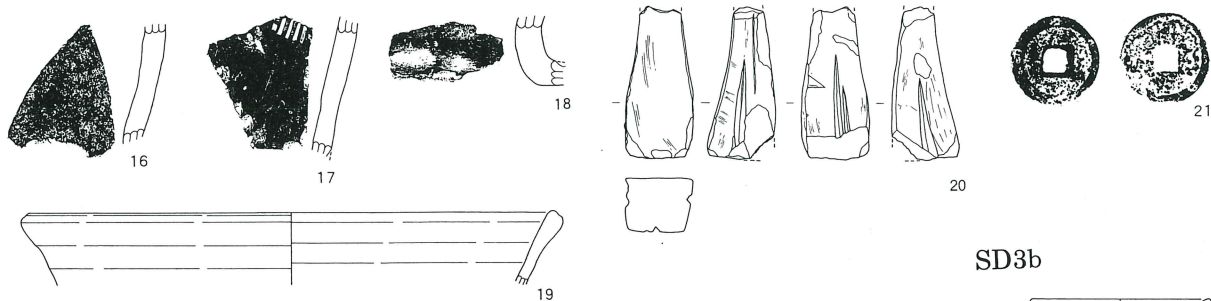
SD1



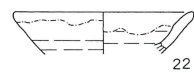
SD2



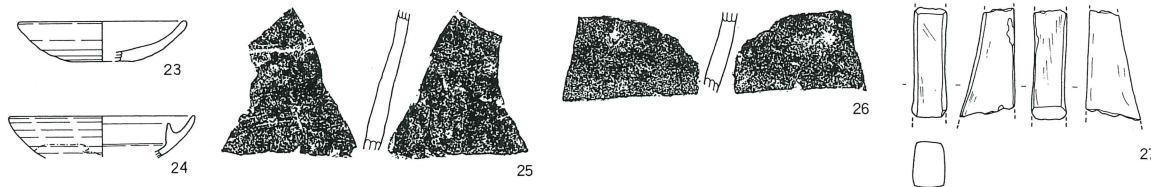
SD3a



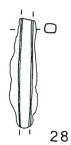
SD3b



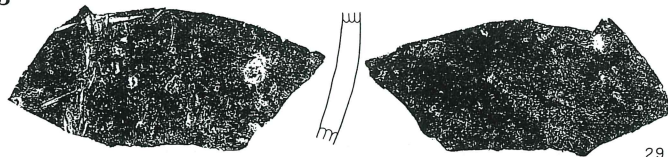
SD6



SD11



SD13



0 1 10cm

第88图 满出土遺物

溝跡出土遺物観察表 (第88図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	備考	写真図版		
S D 1												
1	坏	13.6	3.6	8.8		普通	灰白	40	常陸産	40-10		
2	高台付皿	—	(2.5)	8.1		良好	灰白	50	内面重ね焼きの痕跡			
3	甕	—	—	—	片	普通	青灰	破片	末野窯	44-3		
4	甕	—	(7.0)	—	片	普通	青灰	破片	末野窯			
5	すり鉢	(30.2)	(6.2)	—		普通	褐灰	破片	魚住産 13c			
6	甕	—	—	—		普通	灰	破片				
7	甕	—	—	—		良好	褐灰	破片				
8	すり鉢	—	(3.5)	(10.0)		不良	褐灰	破片				
S D 2												
9	坏	(14.2)	4.2	9.0	雲	不良	褐灰	40	新治窯	南比企窯 常滑産 「開元通寶」2枚重なる		
10	椀	—	(1.9)	(6.0)		良好	灰白	破片				
11	高台付皿	—	(2.0)	(9.0)		普通	灰白	30				
12	甕	—	—	—	針	普通	青灰	破片				
13	甕	—	—	—		普通	褐灰	破片				
14	砥石	残存長8.3cm、幅3.5cm、厚3.2cm、重さ107.58g										
15	古銭	銭径2.45、孔径0.65、厚0.25cm、重さ5.46g										
S D 3 a												
16	甕	—	—	—		普通	褐	破片	常滑産			
17	甕	—	—	—		普通	灰	破片				
18	甕	—	—	—		普通	灰	破片				
19	鉢	(28.0)	(3.8)	—		普通	灰白	破片				
20	砥石	残存長8.0cm、幅3.6cm、厚2.8cm、重さ115.51g										
21	古銭	銭径2.45、孔径0.65、厚さ0.15cm、重さ2.96g										
S D 3 b												
22	縁釉皿	(9.6)	(2.2)	—		普通	灰白	25	瀬戸美濃産			
S D 6												
23	灯明皿	(9.0)	2.1	(3.4)		普通	茶褐	20		常滑産 常滑産		
24	灯明受皿	(10.0)	(2.2)	—		良好	茶褐	破片				
25	甕	—	—	—		普通	褐灰	破片				
26	甕	—	—	—		普通	褐灰	破片				
27	砥石	残存長5.7cm、幅1.7cm、厚2.4cm、重さ39.46g										
S D 11												
28	鉄製不明品	残存長5.8、幅0.7cm										
S D 13												
29	甕	—	—	—		普通	明褐	破片				

5. ピット状遺構

中長区全体からは、合計261個のピット状遺構が検出された。調査時に、土壌番号等が付けられていなかった遺構に対して、ピット状遺構と認識した。従って、ピット状遺構としたものの中でも、土壌と認識されるものも含まれる可能性がある。

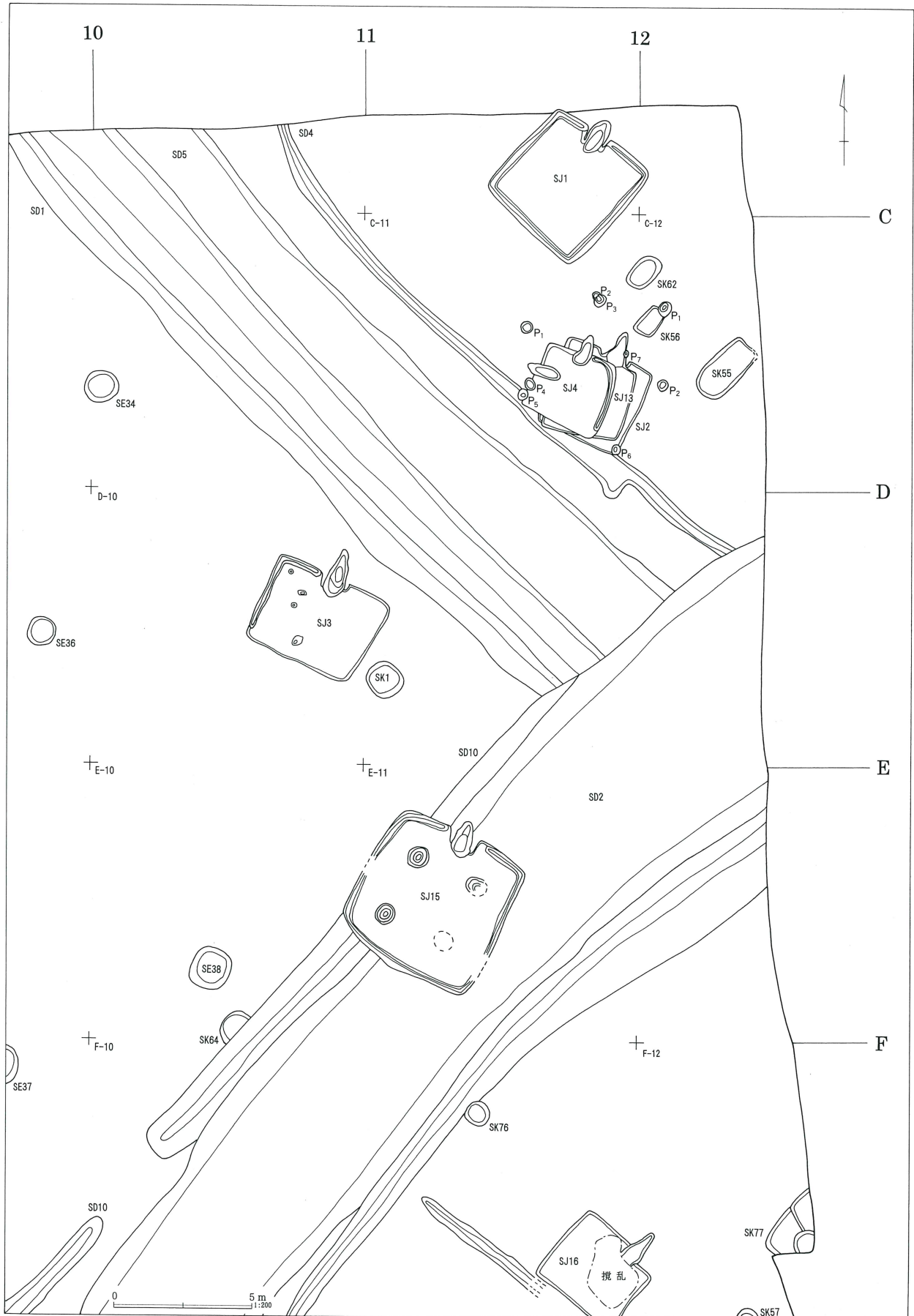
また、住居跡の年代が奈良・平安時代にまたがることから、同時期の掘立柱建物跡の存在する可能性が高いが、明瞭には認識し得なかった。

ピット状遺構は、原則的にはグリッド内で通し番号を付けて認識し、その計測値を全て表にして示した。調査区の南東部に当たる、第92図に示した部分では、小ピットが多数検出され、その並びは確認されなかったが、掘立柱建物跡のピット群である可能性が高い。

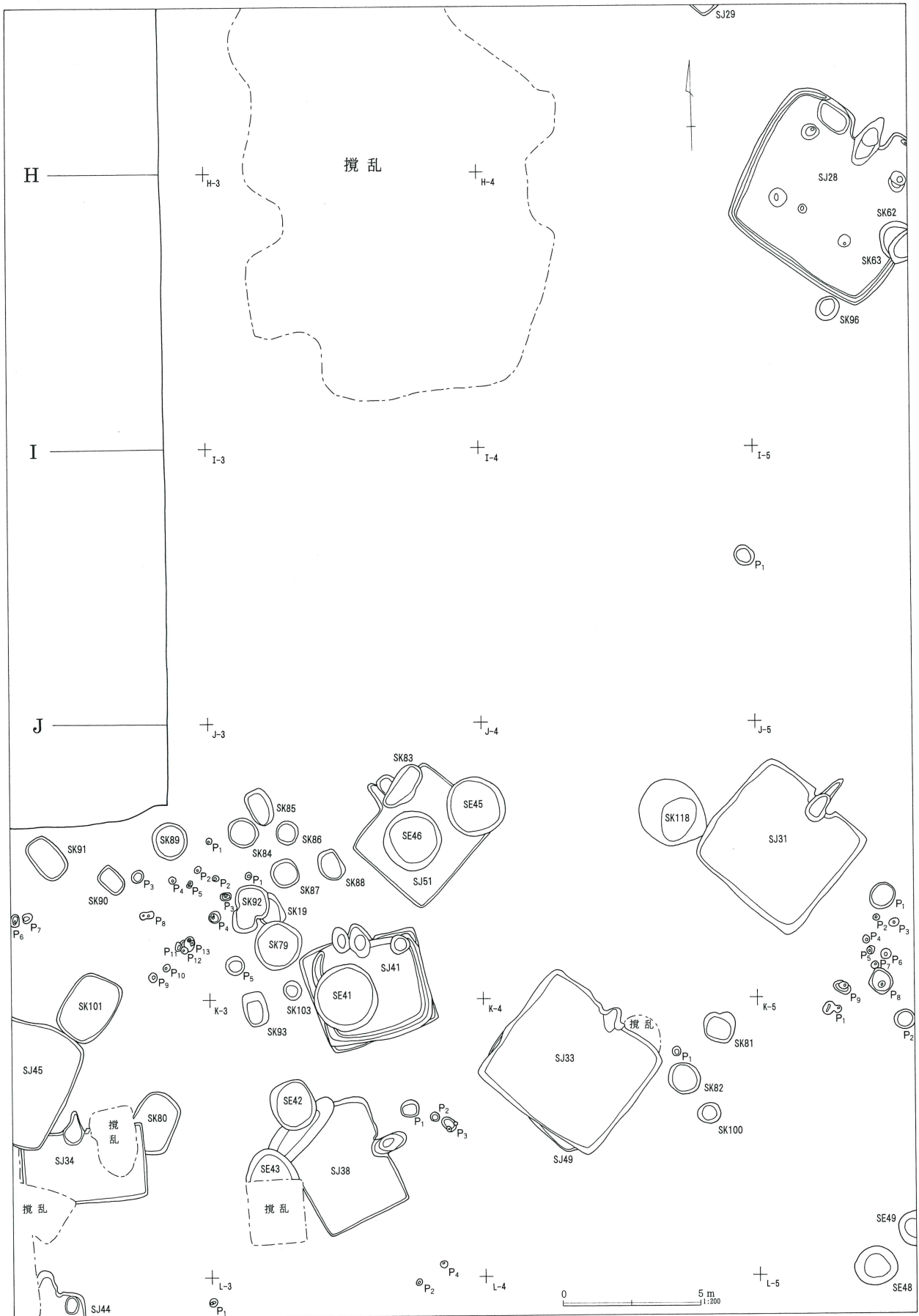
また、J 5 - P 9からは短剣(第85図43)が出土しており、墓壙と認定される。



第89図 ピット分布図(1)



第90図 ピット分布図(2)



第91図 ピット分布図 (3)



第92図 ピット分布図(4)

住居跡一覧表

番号	位置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	カマド	主軸方向
SJ1	B-11・12 C-11	4.60	4.32	0.44	北壁中央西寄り	N-40° - E
SJ2	C-11・12	3.32	3.32	0.17	北壁中央	N-26° - E
SJ3	D-10・11	4.42	3.34	0.16	北壁中央	N-26° - E
SJ4	C-11	2.91	2.73	0.40	北壁中央・西壁中央	長軸N-65° -W 短軸N-22° -E
SJ5	G-11	4.00	3.33	0.15	北壁中央	N-28° -W
SJ6	G-11	4.80	3.53	0.12	北壁中央・東壁中央	N-30° -W
SJ7	G・H-8	3.56	(3.53)	0.20	北壁2基・東1基	N-35° -E
SJ8	G-7・8	3.82	3.67	0.22	北壁中央東寄り	N-28° -E
SJ9	H・I-9	4.25	3.17	0.12	北壁中央	N-25° -W
SJ10a	H-9・10	4.36	2.71	0.23	北壁中央	N-3.5° -W
SJ10b	H-9・10	4.40	3.35	0.38	北壁中央	N-6° -W
SJ11	G-10	3.70	(2.78)	0.10	-	N-39.5° -W
SJ12	H-10	4.98	3.72	0.08	東壁中央	N-68° -E
SJ13	C-11・12?	(2.80)	2.72	0.06	-	-
SJ14	B-8	(3.00)	(1.78)	0.03	-	-
SJ15	E-10・11	5.48	5.40	0.10	北壁中央	N-25.5° -E
SJ16	F-11・12 G-11	3.38	3.00	0.23	北壁東寄り	N-42.5° -E
SJ17	G-11	3.35	3.25	0.15	-	N-37° -W
SJ18	G-12	4.67	4.20	0.26	北壁中央	N-47° -E
SJ19	G-10・11 H-11	4.33	3.62	0.32	北壁東コーナー寄り	N-38° -E
SJ20	G・H-6・7	6.05	5.62	0.30	北壁中央	N-28° -E
SJ21	H・I-10・11	3.42	2.48	0.10	東壁やや中央	N-123° -E
SJ22	F-8・9	5.00	3.80	0.08	南壁中央・東壁中央	長軸N-146.5° -E 短軸N-57° -E
SJ23	E-8 F-8・9	4.67	3.72	0.16	北壁中央東寄り	N-38.5° -W
SJ24	G-6	5.37	4.18	0.24	北壁中央	N-27° -E
SJ25	E-9 F-8・9	4.82	4.77	0.40	西壁やや中央	N-55° -W
SJ26	G-6	4.24	3.54	0.32	東壁南寄り	N-136° -E
SJ27	H-5・6	5.83	4.16	0.07	北壁中央	N-35.5° -E
SJ28	G・H-4・5	6.65	6.20	0.05	北壁中央	N-31.5° -E
SJ29	F-4 G-4・5	3.62	3.53	0.06	北壁中央西寄り	N-42° -E
SJ30	I・J-5・6	3.75	3.50	0.10	北壁中央西寄り	N-40.5° -W
SJ31	J-4・5	4.84	4.65	0.75	北壁中央	N-42° -E
SJ32	E・F-9	5.02	(3.80)	0.38	北壁中央部よりやや西寄り	N-33° -E
SJ33	J・K-4	5.20	4.91	0.46	北壁中央東寄り	N-39° -E
SJ34	K-2	4.49	2.70	0.17	北壁中央西寄り	N-2.5° -W
SJ35	K・L-5・6	3.84	3.34	0.16	A 東壁中央より南寄り B 北壁中央より東寄り	長軸N-58.5° -E 短軸N-33° -W
SJ36	K-6	3.10	3.02	0.13	北壁中央やや西寄り	N-26.5° -W
SJ37	J-5・6	3.76	3.25	0.12	東壁中央やや南寄り	N-68° -E
SJ38	K-3	(4.32)	3.31	0.08	東壁中央	N-68° -E
SJ39	L-6	(0.97)	(0.62)	0.09	-	-
SJ40	L-6	4.03	2.86	0.30	北壁中央の西寄り	N-25° -W
SJ41a	J・K-3	4.35	3.83	0.15	北壁中央	N-18° -W
SJ41b	J・K-3	3.98	3.53	0.18	北壁中央西寄り	N-15° -W
SJ42	J-6	3.58	3.50	0.38	北壁中央西寄り	N-43° -E
SJ43	K-5・6	5.16	4.44	0.09	北壁中央	N-39° -W
SJ44	K・L-2	(3.49)	(1.89)	0.14	北壁東寄り	N-1° -W
SJ45	K-2	4.38	3.94	0.30	西壁中央	N-61° -W
SJ46	L-6	3.85	3.61	0.15	北壁中央・西壁中央北寄り	長軸N-2.5° -W 短軸N-93° -W
SJ47	I・J-5・6	4.88	3.72	0.28	北壁中央	N-28° -W
SJ48	I・J-6	6.00	5.72	0.18	東壁中央	N-46° -E
SJ49	J・K-4	5.10	4.82	0.74	-	長軸N-44° -W
SJ50	L-5・6	(5.35)	3.57	0.27	北壁中央	N-33° -W
SJ51	J-3・4	4.08	3.48	0.12	北壁中央東寄り・北壁中央	N-48.5° -W
SJ52	J・K-5・6	4.52	4.24	0.08	-	N°
SJ53	E・F-8	(2.76)	(2.76)	0.07	-	-

土壌一覽表

番号	位置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
SK1	D-11	1.35	1.28	0.41
SK2	F-9	0.60	0.60	0.17
SK3	F-8	0.75	0.71	0.12
SK4	F・G-8	0.92	0.79	0.14
SK5	F・G-8	1.13	0.90	0.10
SK6	G-8・9	0.64	0.60	0.12
SK7	G-8・9	1.37	0.87	0.10
SK8	F-7	1.00	0.96	0.17
SK9	F-7	1.09	(0.87)	0.15
SK10	F-8	1.11	0.91	0.21
SK11	G・H-8	(1.20)	(0.42)	0.09
SK12	F-8	1.58	1.25	0.29
SK13	F-7	1.12	1.08	0.70
SK14	F-7	1.28	1.05	0.90
SK15	F-7	1.88	1.11	0.48
SK16	F-7	(1.32)	(0.89)	0.32
SK17	H-6	(1.11)	(0.43)	0.14
SK18	E-7	0.75	0.59	0.52
SK19	J-3	(1.22)	0.91	0.17
SK20	F-7	0.90	0.88	0.10
SK21	E-7	1.58	1.31	0.16
SK22	E-7	0.69	0.65	0.14
SK23	E-8	0.71	0.65	0.09
SK24	D-9	(1.05)	0.69	0.19
SK25	D-8	2.18	0.52	0.07
SK26	F-7	1.08	0.80	0.09
SK27	E-8	1.50	(1.26)	0.14
SK28	D-8	0.90	0.58	0.07
SK29	E-8	2.18	0.71	0.10
SK30	D-8	1.09	0.89	0.54
SK31	D-8	2.02	0.97	0.45
SK32	D-8・9	1.04	1.02	0.27
SK33	D-8・E-7・8	1.98	1.07	0.26
SK34	E・F-7	1.20	0.99	0.14
SK35	E-8	1.59	0.90	0.32
SK36	H・I-9	1.15	0.81	0.10
SK37	I-9	(0.69)	(0.34)	0.13
SK38	I-9	(0.90)	(0.66)	0.16
SK39	I-9	1.09	0.91	0.20
SK40	G-7・8	1.47	1.04	0.30
SK41	E-8	1.80	1.60	0.17
SK42	E-7	1.41	0.82	0.23
SK43	D-8	1.38	0.97	0.43
SK44	D-8	3.21	0.80	0.28
SK45	D-8・9	2.98	0.85	0.15
SK46	H-7	1.96	1.78	1.20
SK47	G・H-7	1.16	1.12	0.26
SK48	H-8	1.11	0.87	0.10
SK49	D-8・9	1.27	1.26	0.50
SK50	D-9	1.30	0.59	0.40
SK51	D・E-7	0.90	0.67	0.26
SK52	D-7	(1.62)	1.31	0.20
SK53	G-8	(0.87)	0.80	0.25

番号	位置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
SK54	D-7	0.75	0.67	0.14
SK55	C-12	2.40	1.16	0.23
SK56	C-11・12	1.13	0.62	0.08
SK57	F・G-12	1.38	0.97	0.31
SK58	I-10	1.41	0.59	0.22
SK59	G・H-12	1.43	1.11	0.24
SK60	G・H-12	1.25	1.16	0.32
SK61	D-9	0.84	0.84	0.33
SK62	H-5	(1.30)	(0.58)	0.16
SK63	H-5	1.46	0.97	0.38
SK64	E・F-10	1.34	(0.67)	0.20
SK65	I・J-10・11	1.52	1.30	0.04
SK66	I-11	(1.07)	(0.82)	0.08
SK67	H-11	2.80	0.99	0.18
SK68	I-10	1.63	1.16	0.20
SK69	J-8	0.96	0.61	0.16
SK70	J-8	0.96	0.70	0.20
SK71	G-10	1.03	0.95	0.28
SK72	G-10	1.30	1.25	0.17
SK73	G-10	0.60	0.59	0.05
SK74	G-10	0.98	0.90	0.32
SK75	G-10	0.68	0.64	0.09
SK76	F-11	0.89	0.87	0.16
SK77	F-12	(2.20)	(1.73)	0.24
SK78	J-4	2.65	2.28	1.58
SK79	J-3	1.77	1.71	0.68
SK80	K-2	(2.31)	1.59	0.13
SK81	K-4	1.10	1.03	0.23
SK82	K-4	1.16	1.11	0.31
SK83	J-3	1.83	0.88	0.25
SK84	J-3	1.05	1.04	0.14
SK85	J-3	1.31	0.87	0.23
SK86	J-3	0.78	0.76	0.15
SK87	J-3	0.98	0.98	0.26
SK88	J-3	1.09	0.87	0.18
SK89	J-2	1.33	1.28	0.30
SK90	J-2	0.99	0.68	0.16
SK91	J-2	1.64	1.08	0.17
SK92	J-3	1.73	0.95	0.23
SK93	J・K-3	1.12	0.77	0.23
SK94	E・F-5	2.11	1.57	0.32
SK95	G-6	(1.02)	(0.57)	0.17
SK96	H-5	0.92	0.82	0.20
SK97	H-5	1.45	1.25	0.38
SK98	H-5・6	1.22	1.10	0.34
SK99	I-6	1.87	1.81	0.57
SK100	K-4	0.84	0.66	0.48
SK101	J・K-2	2.60	1.77	0.40
SK102	K-3	(2.70)	1.18	0.22
SK103	J-3	0.78	0.75	0.22
SK104	I-6	2.03	0.55	0.16
SK105	J-10	1.30	0.69	0.16

井戸跡一覧表

番号	位置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
SE1	F-7	1.80	1.60	(1.66)
SE2	G-9	1.62	1.53	1.18
SE3	F-8	1.34	1.29	0.95
SE4	F-7	2.10	1.34	(1.87)
SE5	F-7	1.32	1.21	(1.60)
SE6	F・G-8	2.67	1.72	(1.35)
SE7	F-6・7	1.93	1.75	(1.42)
SE8	F・G-7	1.14	1.14	(1.03)
SE9	F-8	2.30	2.09	1.36
SE10	F-7	1.43	1.41	(1.36)
SE11	E・F-8	1.99	1.99	(1.40)
SE12	E-7	1.99	1.78	(1.57)
SE13	E-7	3.00	2.36	(1.27)
SE14	G-9	1.53	1.38	(1.33)
SE15	F-8	1.92	1.56	(1.20)
SE16	F-9	2.23	2.04	(1.10)
SE17	D・E-8	2.17	(1.90)	(0.88)
SE18	E-8	1.88	1.57	(0.88)
SE19	D-8	1.39	1.13	(0.50)
SE20	D-8・9	2.51	1.67	(0.41)
SE21	E・F-9	2.08	1.98	(2.21)
SE22	D-7	2.61	2.53	(1.40)
SE23	C・D-7	2.95	2.67	(1.30)
SE24	C-7	2.68	2.55	(1.70)
SE25	C・D-8	1.41	1.38	(1.00)
SE26	D-8	1.56	1.44	(1.40)
SE27	D-7	1.25	1.12	(1.80)
SE28	F-8・9	1.78	1.71	(1.23)

番号	位置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
SE29	C-7	2.18	2.12	(1.30)
SE30	C-7・8	1.20	1.18	(1.50)
SE31	C-8	1.15	0.97	(1.20)
SE32	D-8	1.24	1.12	(1.20)
SE33	C-8	1.31	1.21	(1.10)
SE34	C-9・10	1.32	1.31	(1.20)
SE35	D-9	1.10	0.95	(1.30)
SE36	D-9	1.02	1.00	(1.40)
SE37	F-9	1.50	1.43	(1.00)
SE38	E-10	1.90	1.86	(1.30)
SE39	J-9	1.58	1.56	(0.70)
SE40	J-6	1.91	1.88	(1.56)
SE41	J・K-3	2.37	2.36	1.62
SE42	K-3	1.80	1.65	1.43
SE43	K-3	(1.99)	(1.13)	(1.30)
SE44	L-2	(1.20)	(0.41)	(0.42)
SE45	J-3・4	2.17	2.11	(1.16)
SE46	J-3	2.14	2.02	(1.20)
SE47	J-5・6	2.47	2.41	(1.80)
SE48	K・L-5	1.54	1.43	1.64
SE49	K-5	1.31	1.28	1.21
SE50	K・L-5	2.00	1.78	2.17
SE51	F-6	2.04	1.90	(1.23)
SE52	F-6	1.60	1.52	(1.38)
SE53	F-6・7	1.73	1.71	(1.36)
SE54	G-6	1.21	1.13	1.20
SE55	G-6	1.60	1.52	1.19

ピット計測表

番号	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
C-7 P1	0.33	0.30	—
C-7 P2	0.25	0.25	—
C-7 P3	0.34	0.32	—
C-7 P4	0.22	(0.12)	—
C-7 P5	0.34	0.28	—
C-11 P1	0.42	0.39	0.13
C-11 P2	0.58	0.41	0.19
C-11 P3	0.25	0.22	0.35
C-11 P4	0.43	0.41	0.30
C-11 P5	0.41	0.36	0.28
C-11 P6	0.36	0.35	0.16
C-11 P7	0.25	0.21	0.39
C-12 P1	1.10	0.90	—
C-12 P2	0.80	0.70	—
D-7 P1	(0.26)	0.26	0.13
D-8 P1	0.69	0.35	0.30
D-8 P2	0.49	0.47	0.16
D-8 P3	0.30	0.27	0.21
D-9 P1	0.67	0.23	0.28
D-9 P2	0.30	0.26	0.31
D-9 P3	0.24	0.21	0.41

番号	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
D-9 P4	0.37	0.28	0.12
D-9 P5	0.21	0.19	0.13
E-8 P1	(0.30)	0.45	—
E-8 P2	(0.38)	0.40	—
E-8 P3	0.20	0.14	—
E-8 P4	0.26	0.25	0.21
E-8 P5	0.34	0.30	0.28
F-7 P1	0.28	0.28	0.37
F-7 P2	0.25	0.25	0.19
F-7 P3	(0.61)	(0.25)	0.30
F・G-7 P4	(0.34)	(0.19)	0.30
G・H-7 P1	(0.25)	(0.17)	0.25
G-8 P1	0.36	0.29	0.26
G-12 P1	0.21	0.21	0.11
G-12 P2	0.16	0.16	0.08
G-12 P3	0.16	0.16	0.07
H-9 P1	0.25	0.24	0.21
H-9 P2	0.24	0.23	0.13
H-9 P3	0.28	0.27	0.31
H-9 P4	0.30	0.26	0.19

番号	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
H-9 P5	0.26	0.24	0.12
H-9 P6	0.26	0.26	0.17
H-9 P7	0.28	0.25	0.23
H-9 P8	0.27	0.25	0.18
H-9 P9	0.25	0.24	0.17
H-9 P10	0.25	0.24	0.18
F-8 P1	0.34	0.30	0.16
F-8 P2	0.65	0.52	0.11
F-8 P3	(0.30)	(0.14)	0.17
F-9 P1	0.23	0.22	0.14
H-10 P1	0.33	0.29	0.18
H-10 P2	0.61	0.54	0.16
H-10 P3	0.58	0.47	0.09
H-10 P4	0.24	0.22	0.15
H-10 P5	0.40	0.25	0.47
H-10 P6	0.47	0.34	0.26
H-10 P7	0.20	0.20	0.11
H-10 P8	0.24	0.22	0.16
H-10 P9	0.47	0.35	0.22
H-10 P10	0.25	0.23	0.19
H-10 P11	0.28	0.27	0.16
H-10 P12	0.23	0.19	0.24
H-10 P13	0.26	0.23	0.21

番 号	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
H-I-10 P14	0.45	0.42	0.23
H-10 P15	0.52	(0.24)	0.22
H-10 P16	0.38	0.36	0.37
H-10 P17	0.24	0.23	0.12
H-10 P18	0.25	0.25	0.25
H-10 P19	0.26	0.23	0.21
H-10 P20	0.19	0.18	0.16
H-10 P21	0.26	0.23	0.12
H-10 P22	0.27	0.25	0.15
H-10 P23	0.25	0.23	0.14
H-10 P24	0.30	0.29	0.18
H-10 P25	0.20	0.18	0.08
H-11 P1	(0.53)	0.50	0.10
I-4・5 P1	0.72	0.64	0.23
I-9 P1	0.28	0.27	0.22
I-9 P2	0.25	0.24	0.20
I-9 P3	0.24	0.22	0.18
I-9 P4	0.31	0.30	0.48
I-9 P5	0.24	0.24	0.12
I-9 P6	0.42	0.31	0.41
I-9 P7	(0.31)	0.24	0.36
I-9 P8	(0.36)	0.31	0.19
I-9・10 P9	0.80	0.30	0.37
I-9 P10	0.24	0.23	0.16
I-9・10 P11	0.30	0.30	0.22
I-9 P12	0.43	0.38	0.20
I-9 P13	0.36	0.36	0.23
I-9 P14	0.24	0.23	0.26
I-9 P15	0.28	0.25	0.23
I-9・10 P16	0.24	0.23	0.14
I-9・10 P17	0.36	0.32	0.27
I-9 P18	0.19	0.19	0.08
I-9 P19	0.24	0.22	0.14
I-9 P20	0.21	0.20	0.07
I-9 P21	0.24	0.24	0.06
I-9 P22	0.28	0.24	0.24
I-9 P23	0.23	0.22	0.09
I-9 P24	0.23	0.23	0.13
I-9 P25	0.19	0.18	0.09
I-9 P26	0.43	0.32	0.27
I-9 P27	0.45	0.41	0.10
I-9 P28	0.28	0.28	0.23
I-9 P29	0.35	0.32	0.21
I-9 P30	0.71	0.69	0.20
I-10 P1	0.51	0.46	0.14
I-10 P2	0.24	0.21	0.22
I-10 P3	0.27	0.25	0.17
I-10 P4	0.23	0.23	0.06
I-10 P5	0.27	0.27	0.29
I-10 P6	0.31	0.27	0.25
I-10 P7	0.25	0.23	0.04
I-10 P8	0.23	0.23	0.26
I-10 P9	0.29	0.28	0.31

番 号	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
I-10 P10	0.26	0.24	0.21
I-10 P11	0.29	0.28	0.21
I-10 P12	0.41	0.28	0.28
I-10 P13	0.23	0.23	—
I-10 P14	0.38	0.28	0.23
I-10 P15	0.35	0.28	0.23
I-10 P16	0.24	0.24	0.16
I-10 P17	0.28	0.25	0.13
I-10 P18	0.59	0.57	0.04
I-10 P19	0.30	0.29	0.11
I-10・11 P20	0.28	0.28	0.16
I-10・11 P21	0.33	0.33	0.37
I-10 P22	0.39	0.34	0.05
I-10 P23	0.33	0.27	0.18
I-10 P24	0.30	0.30	0.05
I-10 P25	0.24	0.19	0.15
I-10 P26	0.26	0.26	0.13
I-10 P27	0.28	0.26	0.24
I-10 P28	0.29	0.26	0.17
I-9・10 P29	0.21	0.19	0.10
I-10 P30	0.30	0.26	0.16
I-10 P31	0.22	0.19	0.16
I-10 P32	0.25	0.22	0.26
I-10 P33	0.25	0.23	0.18
I-10 P34	0.27	0.26	0.07
I-10 P35	0.24	0.22	0.25
I-10 P36	0.91	0.72	0.14
I-10 P37	0.19	0.17	0.11
I-10 P38	0.24	0.20	0.13
I-10 P39	0.35	0.24	0.13
I-10 P40	0.27	0.25	0.22
I-10 P41	0.36	0.29	0.15
I-10 P42	0.22	0.20	0.12
I-10 P43	0.23	0.21	0.12
I-10 P44	0.21	0.20	0.08
I-10 P45	0.28	0.23	0.28
I-10 P46	0.20	0.18	0.13
I-10 P47	0.39	0.35	0.13
I-10 P48	0.25	0.21	0.12
I-10 P49	0.42	0.33	0.28
I-10 P50	0.20	0.19	0.15
I-10 P51	0.19	0.18	0.11
I-10 P52	0.42	0.33	0.36
I-10 P53	0.25	(0.18)	0.15
I-10 P54	0.33	0.21	0.24
I-10 P55	0.39	0.31	0.23
I-10 P56	0.33	0.28	0.28
I-10 P57	0.32	0.25	0.25
I-10 P58	0.21	0.21	0.18
I-10 P59	0.29	0.18	0.13
I-10 P60	0.24	0.20	0.23
I-10 P61	0.29	0.25	0.12
I-10 P62	0.21	0.18	0.07
I-10 P63	0.22	0.20	0.14
I-10 P64	0.21	0.21	0.12
I-10 P65	0.19	0.18	0.17
I-10 P66	0.26	0.21	0.23

番 号	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
I-10 P67	0.23	0.23	0.14
I-10 P68	0.25	0.24	0.21
I-10 P69	0.26	0.24	0.12
I-10 P70	0.41	0.40	0.22
I-10 P71	0.29	0.28	0.21
I-J-10 P72	0.30	0.20	0.07
I-J-10 P73	0.24	0.24	0.07
I-10 P74	0.24	0.21	0.12
I-10 P75	0.26	0.23	0.13
I-10 P76	0.20	0.20	0.15
I-10 P77	0.26	0.24	0.15
I-10 P78	0.23	0.22	0.17
I-10 P79	0.25	0.20	0.28
I-10 P80	0.23	(0.15)	0.10
I-10 P81	0.23	0.21	0.26
I-10 P82	0.33	0.24	0.23
I-10 P83	0.24	0.21	0.13
I-10 P84	0.25	0.25	0.13
I-10 P85	0.32	0.32	0.24
I-10 P86	0.28	0.27	0.27
I-10 P87	0.22	0.21	0.20
I-10 P88	0.21	0.20	0.12
I-10 P89	0.36	0.26	0.12
I-10 P90	0.43	0.40	0.33
I-10 P91	0.28	0.26	0.09
I-10 P92	0.24	0.20	0.23
I-10・11 P93	0.28	0.28	0.19
J-2・3 P1	0.25	0.21	0.20
J-2 P2	0.22	0.19	0.21
J-2 P3	0.41	0.40	0.19
J-2 P4	0.26	0.26	0.19
J-2 P5	0.22	0.19	0.19
J-2 P6	0.43	0.28	0.40
J-2 P7	0.41	0.35	0.26
J-2 P8	0.50	0.26	0.38
J-2 P9	0.30	0.28	0.28
J-2 P10	0.29	0.26	0.29
J-2 P11	0.34	0.28	0.41
J-2 P12	0.30	0.24	0.48
J-2 P13	(0.41)	0.40	0.28
J-3 P1	0.27	0.23	0.28
J-3 P2	0.21	0.17	0.14
J-3 P3	0.38	0.28	0.35
J-3 P4	0.43	0.43	0.39
J-3 P5	0.68	0.66	0.15
J-5 P1	0.91	0.88	0.15
J-5 P2	0.26	0.25	0.16
J-5 P3	0.31	0.29	0.24
J-5 P4	0.31	0.26	0.29
J-5 P5	0.28	0.28	0.25
J-5 P6	0.36	0.34	0.21
J-5 P7	0.27	0.25	0.13
J-5 P8	0.94	0.81	0.46
J-5 P9	0.56	0.45	0.33

番号	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
J-9 P1	0.35	0.25	0.21
J-10 P1	0.26	0.26	0.11
J-10 P2	0.30	0.30	0.19
J-10 P3	0.28	0.28	0.23
J-10 P4	0.26	0.24	0.15
J-10 P5	0.26	0.24	0.19
J-10 P6	0.50	0.34	0.09
J-10 P7	0.34	0.30	0.34
J-10 P8	0.32	0.30	0.07
J-10 P9	0.30	0.25	0.06
J-10 P10	0.23	0.21	0.32
J-10 P11	0.23	0.22	0.12
J-10 P12	0.24	0.24	0.10

番号	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
J-10 P13	0.24	0.22	0.10
J-10 P14	0.24	0.23	0.24
J-10 P15	0.24	0.22	0.11
I·J-10 P16	0.23	0.21	0.21
J-10 P17	0.18	0.17	0.11
J-11 P1	0.23	0.21	0.11
J-11 P2	0.28	0.19	0.04
J-11 P3	0.37	0.34	0.07
J-11 P4	0.41	0.40	0.12
J-11 P5	0.45	0.45	0.07
J-11 P6	0.48	0.41	0.11

番号	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
K-3 P1	0.68	0.60	0.11
K-3 P2	0.25	0.25	0.12
K-3 P3	0.57	0.46	0.22
K-3 P4	0.28	0.27	0.14
K-4 P1	0.29	0.28	0.30
K-5 P1	(0.60)	0.23	0.40
K-5 P2	0.72	0.68	0.10
L-2·3 P1	0.32	0.30	0.20
L-3 P2	0.24	0.23	0.25

八木崎遺跡新旧対照表

新番	旧番
S J 54	S J 53
S K 11	S K 12
S K 12	S K 13
S K 13	S K 17
S K 14	S K 18
S K 15	S K 19
S K 16	S K 25
S K 17	S K 27
S K 18	S K 30
S K 19	S K 35
S K 20	S K 36
S K 21	S K 37
S K 22	S K 38
S K 23	S K 39
S K 24	S K 40
S K 25	S K 41
S K 26	S K 42
S K 27	S K 43
S K 28	S K 44
S K 29	S K 45
S K 30	S K 46
S K 31	S K 47
S K 32	S K 48
S K 33	S K 49
S K 34	S K 50
S K 35	S K 51
S K 36	S K 52
S K 37	S K 53
S K 38	S K 54
S K 39	S K 55
S K 40	S K 56
S K 41	S K 59
S K 42	S K 60
S K 43	S K 61
S K 44	S K 63
S K 45	S K 65
S K 46	S K 67
S K 47	S K 68
S K 48	S K 69
S K 49	S K 74
S K 50	S K 75

新番	旧番
S K 51	S K 77
S K 52	S K 79
S K 53	S K 81
S K 54	S K 82
S K 55	S K 83
S K 56	S K 84
S K 57	S K 85
S K 58	S K 86
S K 59	S K 87
S K 60	S K 88
S K 61	S K 97
S K 62	S K 98
S K 63	S K 100
S K 64	S K 102
S K 65	S K 103
S K 66	S K 104
S K 67	S K 106
S K 68	S K 107
S K 69	S K 108
S K 70	S K 109
S K 71	S K 110
S K 72	S K 111
S K 73	S K 112
S K 74	S K 113
S K 75	S K 114
S K 76	S K 115
S K 77	S K 116
S K 78	S K 118
S K 79	S K 119
S K 80	S K 122
S K 81	S K 125
S K 82	S K 126
S K 83	S K 129
S K 84	S K 131
S K 85	S K 132
S K 86	S K 133
S K 87	S K 134
S K 88	S K 135
S K 89	S K 136
S K 90	S K 137
S K 91	S K 138
S K 92	S K 139

新番	旧番
S K 93	S K 140
S K 94	S K 144
S K 95	S K 150
S K 96	S K 151
S K 97	S K 152
S K 98	S K 153
S K 99	S K 154
S K 100	S K 155
S K 101	S K 156
S K 102	S K 157
S K 103	S K 158
S K 104	S K 159
S K 105	S K 160
S E 1	S K 11
S E 2	S K 14
S E 3	S K 15
S E 4	S K 16
S E 5	S K 20
S E 6	S K 21
S E 7	S K 22
S E 8	S K 23
S E 9	S K 24
S E 10	S K 26
S E 11	S K 28
S E 12	S K 29
S E 13	S K 31
S E 14	S K 32
S E 15	S K 33
S E 16	S K 34
S E 17	S K 57
S E 18	S K 58
S E 19	S K 62
S E 20	S K 64
S E 21	S K 66
S E 22	S K 70
S E 23	S K 71
S E 24	S K 72
S E 25	S K 73
S E 26	S K 76
S E 27	S K 78
S E 28	S K 80

新番	旧番
S E 29	S K 89
S E 30	S K 90
S E 31	S K 91
S E 32	S K 92
S E 33	S K 93
S E 34	S K 94
S E 35	S K 95
S E 36	S K 96
S E 37	S K 99
S E 38	S K 101
S E 39	S K 105
S E 40	S K 117
S E 41	S K 120
S E 42	S K 121
S E 43	S K 123
S E 44	S K 124
S E 45	S K 127
S E 46	S K 128
S E 47	S K 130
S E 48	S K 141
S E 49	S K 142
S E 50	S K 143
S E 51	S K 145
S E 52	S K 146
S E 53	S K 147
S E 54	S K 148
S E 55	S K 149
S D 1	S D 1
S D 2	S D 2
S D 3	S D 3
S D 3 a	S D 12
S D 3 b	S D 13
S D 4	S D 4
S D 5	—
S D 6	S D 6
S D 7	S D 7
S D 8	S D 8
S D 9	—
S D 10	S D 2 A
S D 11	S D 20
S D 12	—
S D 13	S D 5·11

V 発掘の成果と提起する諸問題

1. 八木崎遺跡の集落変遷について

今回の調査で、八木崎遺跡から53件の住居跡が検出された。しかし、重複関係や、カマドの複数存在する住居跡があること等から、実際の住居跡件数は53件を大きく上回るものと推定される。

ここでは、調査時に付加された住居跡番号を基準にして、また、出土遺物も混在するため主体的なもので住居跡の構築時期を判断して、総合的に集落変遷を検討することにする。

八木崎遺跡からは、奈良・平安時代の遺物が検出されているが、7世紀末から8世紀初頭にかけての遺物は極少数出土するに止まっている。8世紀の前半段階から9世紀代の遺構を主体とするが、10世紀初頭段階にまで入るものも存在する。

また、井戸、土壇に至っては中・近世所産の遺構が存在し、その時期の居住跡も存在するものと思われるが、明確にし得なかった。従って、8世紀前半から10世紀初頭にかけての住居跡に限定し、今回の調査区内における変遷を検討する。

第Ⅰ期 8世紀前半の集落(第94図)

第1・17・24・31・32号住居跡が相当する。住居跡の長軸・主軸を共に北東方向に採り、方形かやや細長い長方形を呈する、構築のしっかりした住居跡が多い。第17号住居跡のカマドが不明であるが、ほぼ例外なく北壁の中央部付近にカマドを構築している。一辺約5m前後の住居跡が多い。

住居跡は調査区域内に分布しているが、その間隔は約30m前後を測る。住居跡は重複もしくは拡張することが少なく、ほぼ等間隔に整然と構築されている様子が窺われる。

今回の調査区は面積が狭く、遺跡の全体像が把握される程のものではなかったが、調査区内においては微高地状の自然堤防が北東から南西方向に形成されていて、その上に住居跡が構築されている様相が

看取される。従って、自然堤防の東西方向の幅が確定されないため詳細は不明であるが、およそ、この北東方向に細長い自然堤防の形状に制約を受けながら、住居跡が構築されており、住居跡の主軸方向もこの制約に影響されて決定されているものと推察される。その意味では、本遺跡の東側に隣接する浜川戸遺跡との間には自然堤防の切れ目が存在し、やや間隔を開けた独立の遺跡とも判断されるが、一方では同一自然堤防上に立地する同一遺跡の可能性も残る。この間の状況を調べる手立てはないが、単に独立しているという意味からだけではなく、遺跡の形成時期、同時存在時期等の検討を行い、両遺跡の有機的な関連を検討考察した上で、両遺跡の評価を行う必要があるであろう。

第Ⅱ期 8世紀中葉の集落(第94図)

第15・16・28・33号住居跡が相当する。住居跡の形状、分布状況は8世紀前半代の第Ⅰ期に類似するが、第15号住居跡と第28号住居跡の間隔がやや開いている。一見集落の分節的な構造に見えるが、住居跡が少なく、散在的に分布する結果の様子と判断される。北東方向に住居跡の長軸、主軸を採り、北壁のほぼ中央部にカマドを構築する点は、第Ⅰ期と同様であり、第16号住居跡の様に規模の小さい住居跡が存在することも非常に類似している。第16号住居跡は第Ⅰ期の第17号住居跡が存在していたエリア内にあり、両者の有機的な関係が窺われる。やや大きな住居跡が存在する一方で、第17号、第16号の様な小形の住居跡が、ほぼ同じエリア内に継起的に存在する在り方は、集落構造を考える上で大変興味を持たれる現象である。

また、第Ⅱ期の住居跡は柱穴の確認されるものが多く、遺存状態が良好であることも特徴の一つになっている。



- I期(8世紀前葉)
 - II期(8世紀中葉)
 - III期(8世紀後葉)
-
- IV期(9世紀第1四半期)
 - V期(9世紀第2四半期)
 - VI期(9世紀第3四半期)
-
- VII期(9世紀第4四半期～)

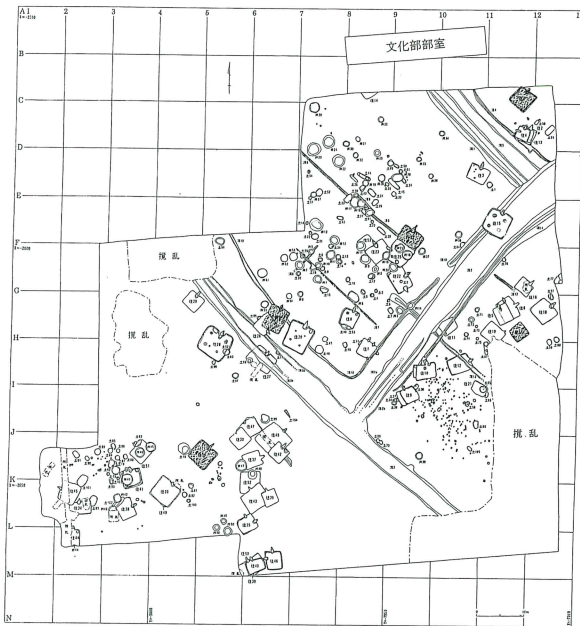
第93図 八木崎遺跡の集落変遷図

第Ⅲ期 8世紀後半の集落(第94図)

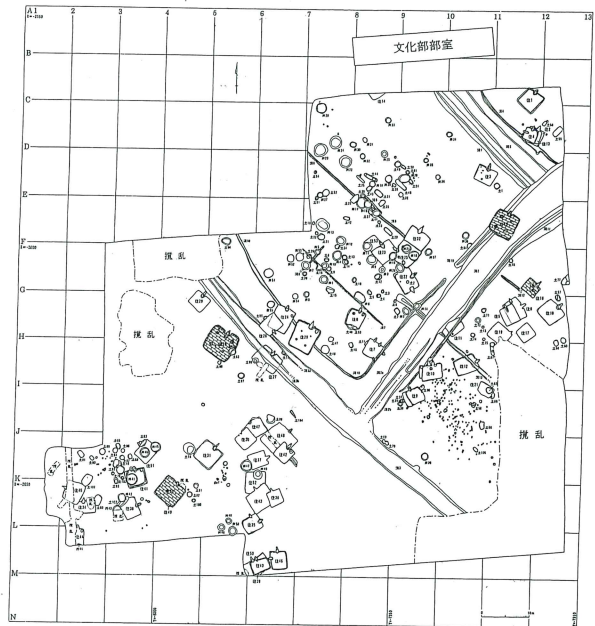
第8・18・20・29・36号住居跡が相当する。住居跡の分布は、やや中央部に集中する傾向があるが、これも第Ⅰ・Ⅱ期を通じての様相と類似するものと

把握される。第8号住居跡と第20号住居跡の間隔が近くなるが、他は散漫な分布状態を示している。やや小形の住居跡が継起的に構築されていたエリアには、通常の大さの第18号住居跡が存在し、意味的

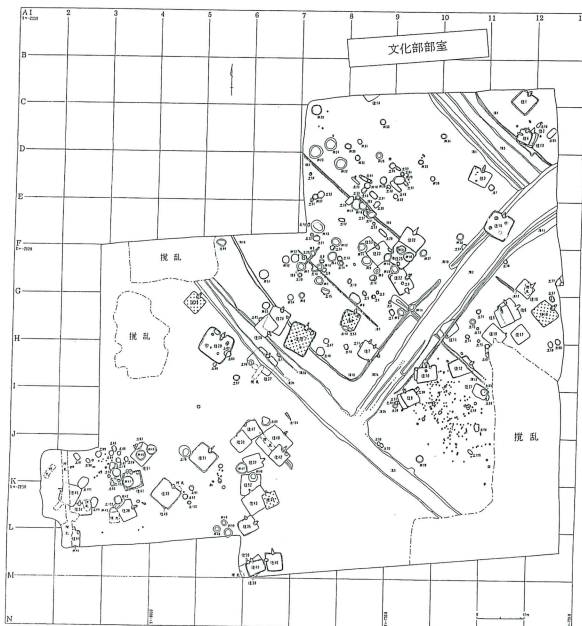
I 期 (8 世紀前葉)



II 期 (8 世紀中葉)



III 期 (8 世紀後葉)



第94図 八木崎遺跡の時期別集落変遷図 (1)

な相違があるのかは不明であるが、変化の生じた現象の一つである。

第Ⅲ期の住居跡は基本的には第Ⅱ期の構成を受け継ぎ、長軸、主軸を北東方向に設定し、カマドを北壁に構築しているが、第18号住居跡の様にやや主軸線が不揃いなものが存在する。

また、これと傾向が一致しているのか、第Ⅲ期になって初めて主軸を北西方向に設定する住居跡が現れてくる。第36号住居跡はやや小形の住居跡で、長軸、主軸とも北西方向を採用し、カマドを北壁に構築している。出土遺物は9世紀代のものも含まれているが、重複する第43号住居跡も9世紀後半代に比